

2024年9月13日（金）

臨時理事会

会議資料

## 第 1 号議案

会期中組織への移行の件

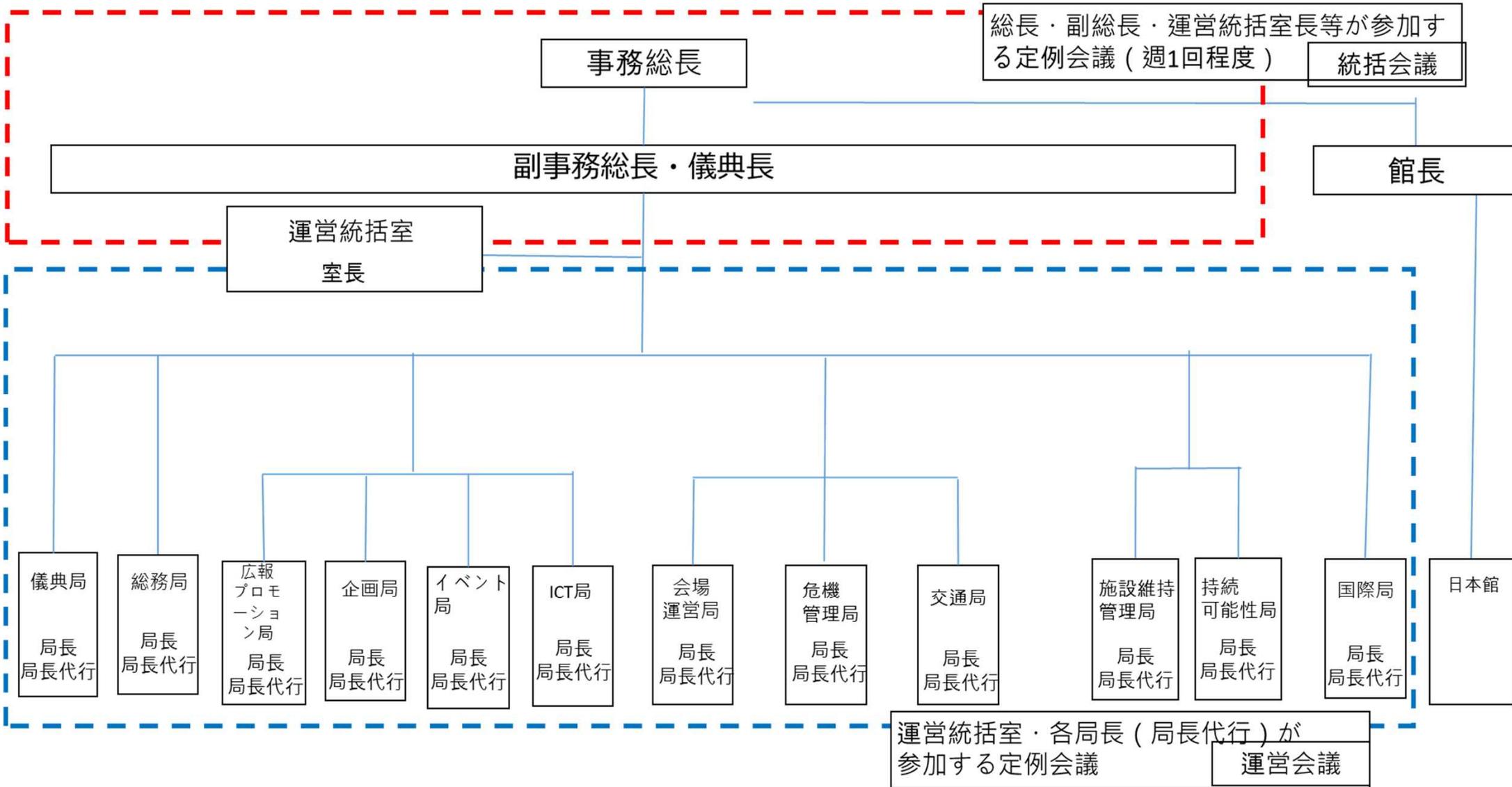
# 会期中組織への移行について

## 会期中組織体制への移行

- ・ 6月理事会での報告のとおり、万博会期中は会場運営に適した組織体制への変更を予定している。具体的には、現在の開催準備に適したピラミッド型（局・部・課を配置）の組織体制から、会場運営に適した局を単位としたフラットな組織体制へ変更する。会期中の組織体制及び組織名称について別紙のとおりとすることをご承認をいただきたい。
- ・ なお、新たな体制への改編時期は本年10月以降の年内の適切な時期を目指し、改編に必要な「事務局組織規程」「事務決裁規程」等の関係規程については、整理の上で改めてご審議いただく予定。組織体制の変更により会期中の万全かつ円滑な会場運営を目指すものである。

# 会期中組織への移行について

## 体制図 (案)



## 第2号議案

メタンガス対策の件

# メタンガス対策方針について

夢洲の万博会場に発生するメタンガス対策方針について理事会の承認を求める。

## 1. 空气中濃度等の常時測定と公表

会期中、ガス濃度測定を継続的に実施し、博覧会協会HPにて、測定値を毎日お知らせする。来場者等がわかりやすい公表内容を検討（工事期間中も、測定結果を定期的に公表）。

## 2. ハード面の安全対策

GW工区の施設は、2024年6月24日に公表した「会期中の安全対策」に基づき、①機械換気設備、②検知器、③侵入抑制、④マンホール穴開け、⑤透水性舗装、を基本として、施設特性に応じた対策を実施。

PW工区は、低濃度ガスが検知された地下鉄工事上部エリア、グリーンワールド工区近接エリアで、ガス濃度測定を重点的に実施し、その結果を踏まえて、必要な対策を実施。

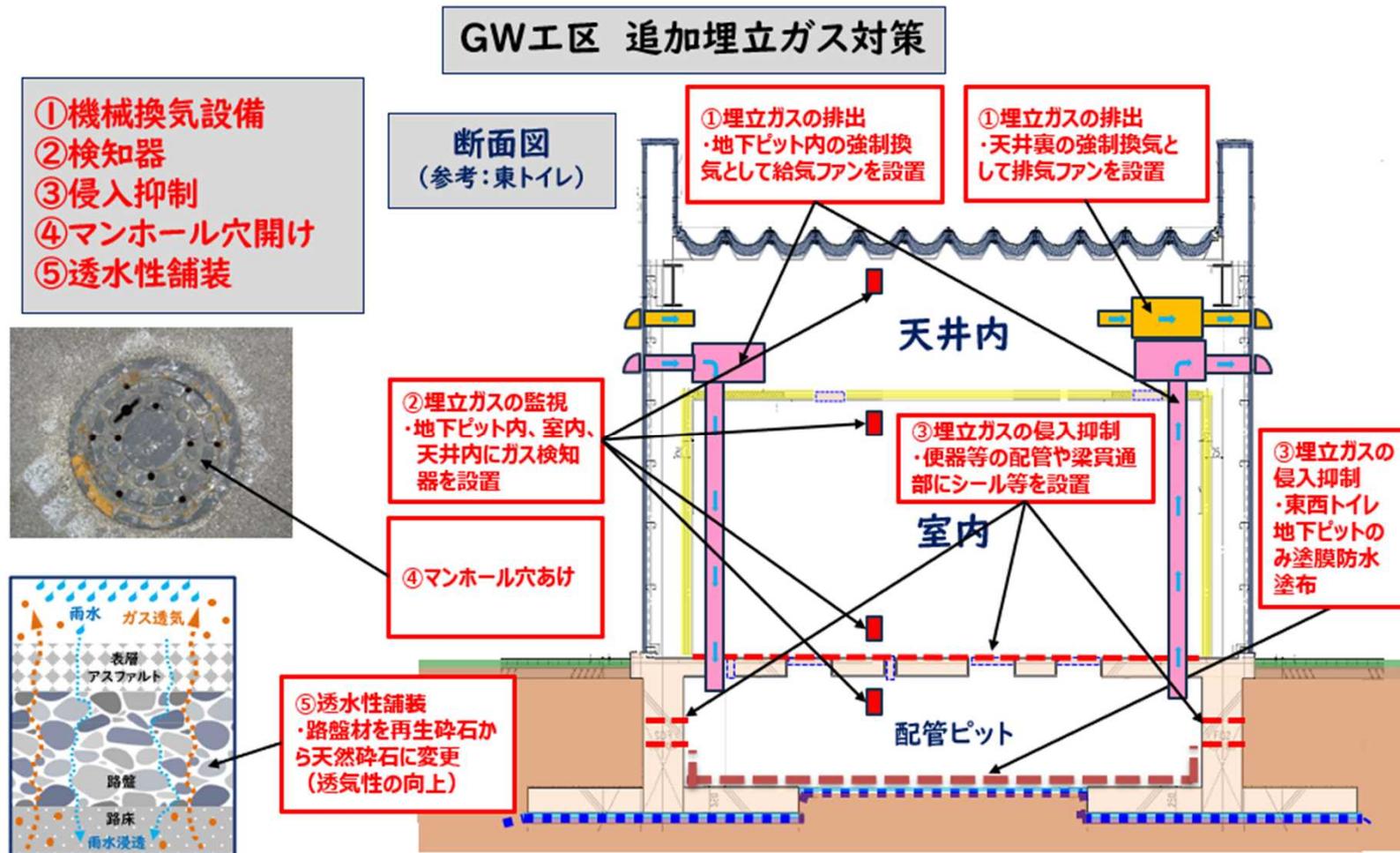
## 3. 各施設・事業におけるソフト面の対策

今後、専門家の指導の下、各施設管理者や事業実施者が、事業実施に際して措置すべき安全対策をまとめ、その確実な実施を確保していく。



# 【補足資料】ハード面の対策方針

- GW工区の施設は、2024年6月24日に公表した「会期中の安全対策」に基づき、①**機械換気設備**、②**検知器**、③**侵入抑制**、④**マンホール穴開け**、⑤**透水性舗装**、を基本とする。その際、地下ピットの有無、空間の開放度合い、施設面積等に応じて、換気設備や検知器を適切に配置するなど、施設特性に応じた対策を実施することで、メタンガス滞留リスクを抑止する建物構造にする。
- PW工区は、低濃度ガスが検知された地下鉄工事上部エリア、グリーンワールド工区近接エリアで、ガス濃度測定を重点的に実施し、その結果を踏まえて、必要な対策を実施。



# 【補足資料】ソフト面の対策方針

- 今後、専門家の指導の下、各施設管理者や事業実施者が、事業実施に際して措置すべき安全対策をマニュアル等にまとめ、その確実な実施を確保していく。

## 検討中の対策の柱

①ガス濃度測定結果の常時モニタリングと検証

②検知濃度の変化に応じた即応体制構築

③事業実施に際して措置すべき安全対策（マニュアル等）の整備

④運営スタッフの研修等による周知

# 【補足資料】GW工区における施設

協会（整備局）発注施設	
屋外イベント広場	ステージ棟
	楽屋棟
	FOH棟
	東西トイレ（2箇所）★
	エントランスゲート（2箇所）☆
営業施設	営業施設（西エントランス 西）
	営業施設（西エントランス 東）
	営業施設（GW 北）
	営業施設（GW 北東）
	営業施設（GW 東）★
	営業施設（GW 西）【トイレのみ】★
	営業施設（GW FLP）★
	お弁当広場日よけC（3箇所）☆
ゲート施設	西棟1・4
	西棟2・3★
	東棟1・2・3★
	東棟4
	西エントランス棟A
	西エントランス棟B（郵便局・宅配手荷物預かり）
	大屋根☆
	スタッフゲート☆
若手建築家対象施設	ギャラリー
	フューチャーライフヴィレッジ(FLV)
その他	モビリティエクスペリエンス格納庫

協会（整備局以外）発注施設	
第一交通ターミナル	管理運営施設棟
	待合上屋 ☆
第二交通ターミナル	管理運営施設棟
	来場者トイレ棟
	待合上屋 ☆
水上アクセス	来場者トイレ棟
未来の都市	
日除けパーゴラ（モビエク観覧用）☆	

協賛施設	
営業施設（GW西）【本体】	
物販棟（屋外イベント広場）☆	
モビリティエクスペリエンス格納庫以外（旅客施設等）	
サウナ	
サステナドーム	
バス停（風の広場）☆	
日除けテント（風の広場）☆	
管理運営施設棟（水上アクセス）	
待合施設棟（水上アクセス）	

★は地下ピットのある施設（地下ピットにも機械換気設備・検知器設置）

☆は開放施設であり、ハード対策実施無し

## 第3号議案

タイプXのC活用等、休憩所等整備の件

# タイプXのC活用等、休憩所等整備について

## 【諮問事項】

タイプXの活用について、公式参加者の出展準備の進展を踏まえた状況を報告するとともに、利活用を行うX棟や新たに生じた区画の整備を会場建設費で負担することについて了承を求めるもの。

# タイプXのC活用・休憩所活用について

1. 2024年9月13日現在、タイプXの受入れを表明した国は5か国であり、残る4棟についてはXとしての使用が見込まれない状況。
2. このため、同4棟のうち2棟はタイプC出展を希望する国の受け皿施設として、その他2棟は休憩所として協会が活用。
3. こうした活用整備に係る費用等を会場建設費で負担する。

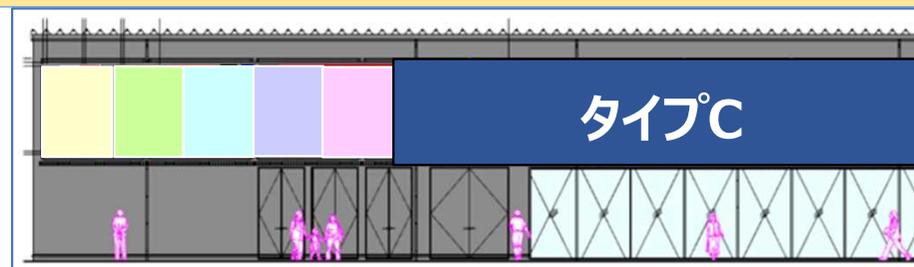
区分	No.	割当予定	面積	協会での整備予定・活用内容
X棟	1	X入居国（表明済）	約1000㎡	(X棟建築後、入居国へ引渡し)
	2	X入居国（表明済）	約900㎡	〃
	3	X入居国（表明済）	約500㎡	〃
	4	X入居国（表明済）	約500㎡	〃
	5	X入居国（表明済）	約900㎡	〃
	6	C希望国（C活用3区画）	約500㎡	タイプC活用に向けた整備・活用
	7	C希望国（C活用5区画）	約1000㎡	〃
	8	他用途活用	約300㎡	休憩所として整備・活用
	9	他用途活用	約1200㎡	イベント会場 兼 休憩所として整備・活用

# 【補足資料】タイプXのC活用・休憩所活用について

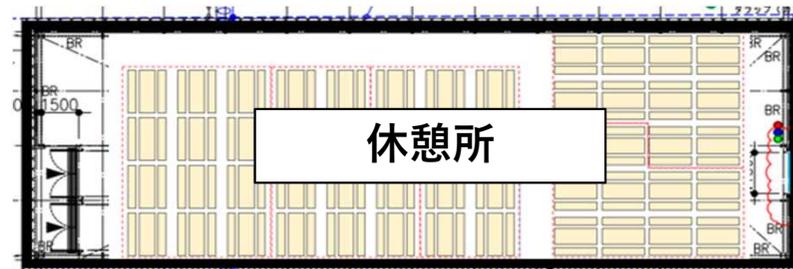
- タイプX 9棟のうち5棟は入居表明済であり完成後引渡予定。
  - 残る4棟について、2棟は「**タイプC移行国の入居受け皿**」として活用。  
(1棟はタイプAからの最終受皿としてC整備を基本とし、公式参加者等のMTG・待機スペースとしても整備。)
- 1棟は「**休憩所**」、1棟は「**イベント会場兼休憩所**」としても活用できるように整備し、資料展示のうえ「**校外学習**」としても活用。



〔X棟の外観・内観イメージ〕



外観はイメージ



イベント会場(未実施時には休憩所)



校外学習

# 休憩所等の整備について

- 公式参加者の参加形態に応じて新たに生じた区画については、人工芝舗装のうえ暑熱対策としての簡易テントや冷風設備を設置するなど、子ども向け装飾・遊び場も加味した休憩所等(附帯施設含む)や来場者用サービス・展示施設の整備を進めていく。
- 整備の全体像は未確定であるものの、当該整備費を会場建設費で負担する。

## 休憩所

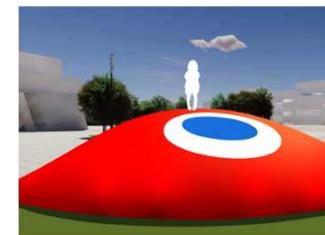


画像・イラストは、現時点のイメージ

## テーブル・椅子・暑熱対策



## 子ども向け装飾・遊び場



## 第4号議案

会場整備にかかる工事等の変更の件

# 会場整備にかかる工事等の変更

2023年9月29日の臨時理事会にて決議し、変更契約した以下の事業に係る契約変更について、理事会の承認を求める。

建築工事（業務委託・工事請負）

（単位：億円・税込）

N O	案件名称	案件概要	落札者 (契約の相手方)	契約累計 見込額 (23年9月29日時点)	累計契約見込額 10月中旬契約予定	累計見込 額の差異	差異理由 (主なもの)	規模の 目安
1	施設整備事業 (PW南東工区)	大屋根（リング）、管理施設、供給処理施設、ランドスケープ等 17棟 延べ面積 48,236㎡ 実施設計・建設工事・工事監理・撤去工事各一式	清水・東急・村本・青木あすなろ 共同企業体	271.2	●●●●●	●●●●●	・バックヤードの舗装等の施工環境改善 ・工事進捗に伴う変更（ランドスケープ工事等） ・ <b>タイプAの跡地整備</b>	SS
2	施設整備事業 (PW西工区)	大屋根（リング）、パビリオンB・C、供給処理施設、ランドスケープ等 27棟 延べ面積 50,814㎡ 実施設計・建設工事・工事監理・撤去工事各一式	竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体・株式会社昭和設計	300.3	●●●●●	●●●●●	・工事用動線等の施工環境改善 ・工事進捗に伴う変更（ランドスケープ工事等） ・ <b>タイプAの跡地整備</b>	SS
3	施設整備事業 (GW工区)	ゲート施設、営業施設、屋外イベント広場、ランドスケープ等 29棟 延べ面積 24,303㎡ 実施設計・建設工事・工事監理・撤去工事各一式	鹿島建設・飛鳥建設共同企業体	142.4	●●●●●	●●●●●	・工事進捗に伴う変更（ランドスケープ工事等） ・ <b>ガス対策工事の追加</b>	B

PW：パビリオンワールド、GW：グリーンワールド

※規模の目安は、SS：350億～300億円、S：300億～250億円、A：250億～200億円、B：200億～150億円、C：150億～100億円、D：100億～50億円、E：50億～20億円、F：20億円未満とします。

※上記案件は既存の会場建設費2,350億円に対応するものであり、新たな増額となるものではない。

なお、差異理由のうち「タイプAの跡地整備」及び「ガス対策工事の追加」は、当初予見できなかった事象への対応であり、会場建設費の工事費2,220億円の積算には含まれていないことから、執行にあたっては予備費130億円から執行する可能性があります。

## 施設整備事業 工区割図

**GW工区**

ガス対策工事の追加

工事用動線の確保  
歩行仕様→車道仕様等

新ゲート

**PW西工区**

**PW南東工区**

バックヤード

工事用動線の確保

会場配置計画  
(2021年8月31日時点)

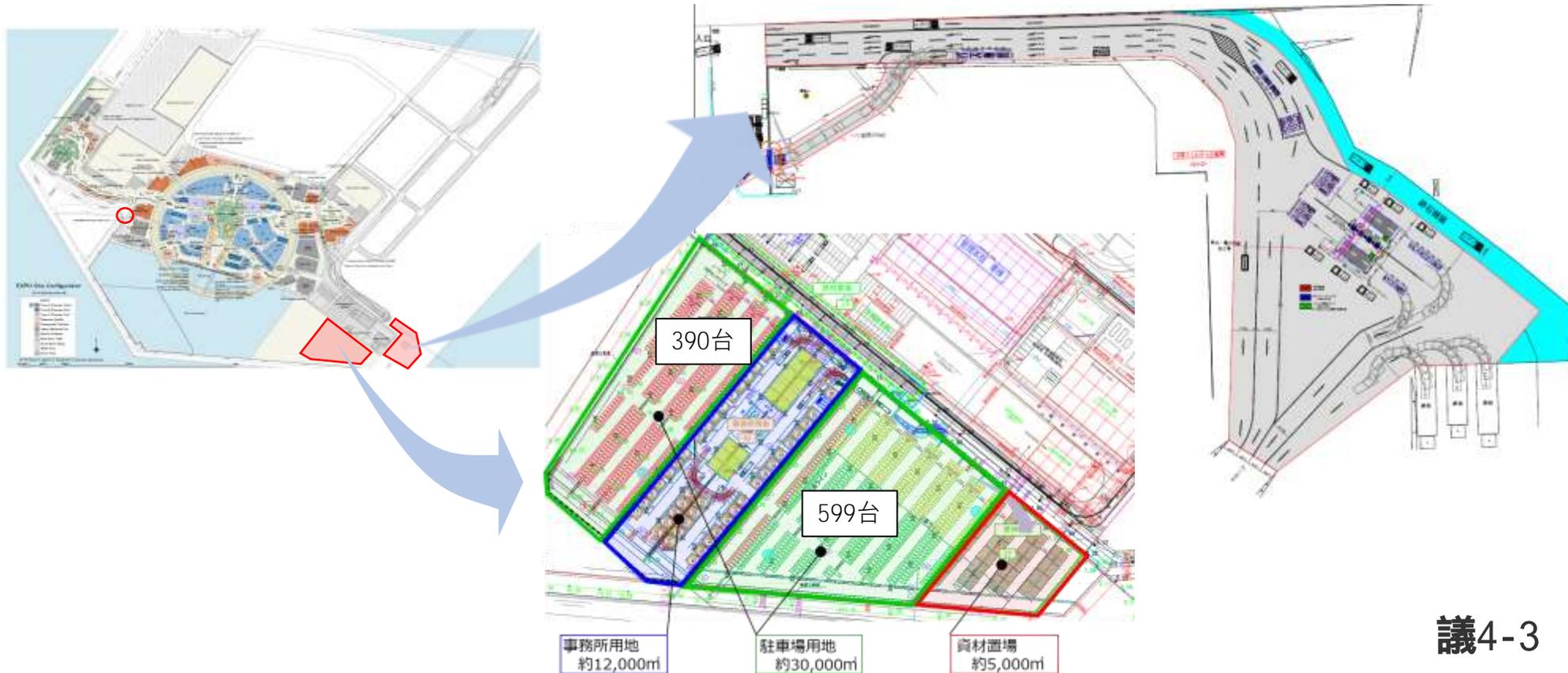
色凡例	
△	タイプA (国・国際会議)
■	タイプB (国・国際会議)
□	タイプC
○	テーマ館
■	商業施設
■	日本館、展示施設等
■	サービス/管理施設
■	林業所、トイレ
■	大規模(リング)
■	水産館
■	空地、緑地

※ 今後の調査状況により、現在の配置計画については、変更が生じうる。



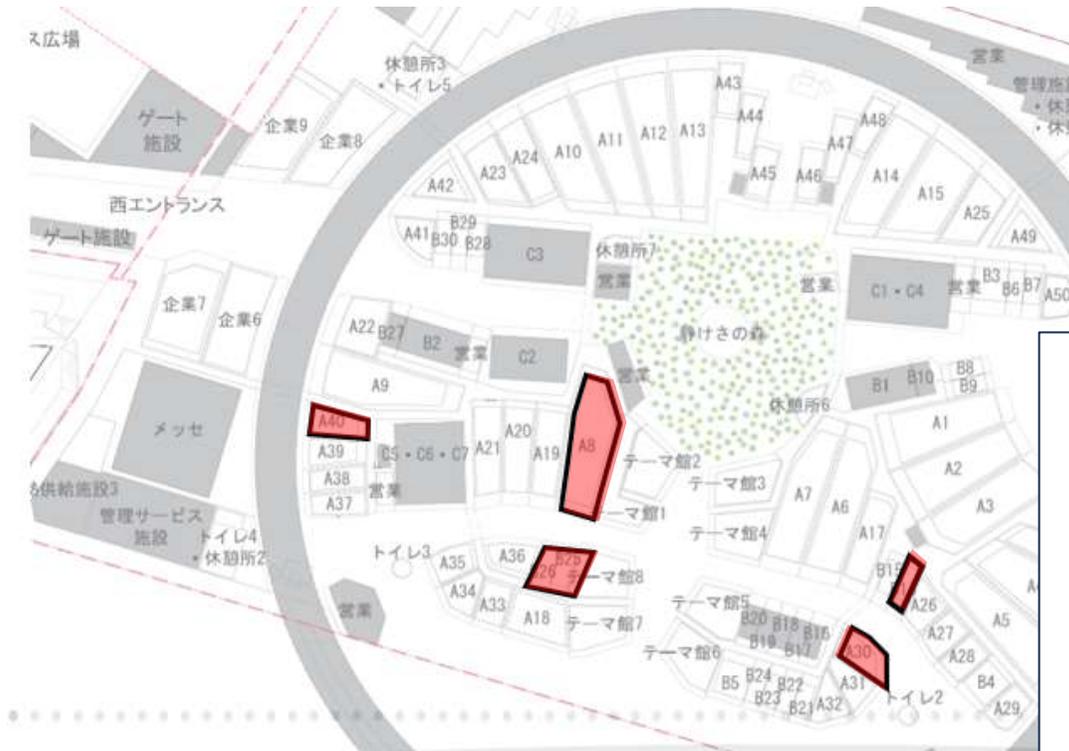
## 建設工事の円滑化について(施工環境改善)

- ・大阪港湾局保有用地(南東部エリアの約6ha敷地)を活用し、会場建設の円滑化、促進を図るため、**事務所用地、駐車場、資材置場を整備**するためのバックヤードを確保・整備する
- ・工事内容は、**バックヤードの造成及び舗装、一般道からバックヤードまでの車両動線の舗装・洗車設備等の整備**



## タイプAの跡地整備

- 参加形態の変更等による跡地の他用途活用に向けた整備



工区	区画	面積(m <sup>2</sup> )
西	A08	3,513
	A40	1,018
	B25+B26	929
南東	A30	946
	B14	547



整備イメージ

## GW工区 追加埋立ガス対策

- ①機械換気設備
- ②検知器
- ③侵入抑制
- ④マンホール穴開け
- ⑤透水性舗装

断面図  
(参考:東トイレ)

①埋立ガスの排出  
・地下ピット内の強制換気として給気ファンを設置

①埋立ガスの排出  
・天井裏の強制換気として排気ファンを設置

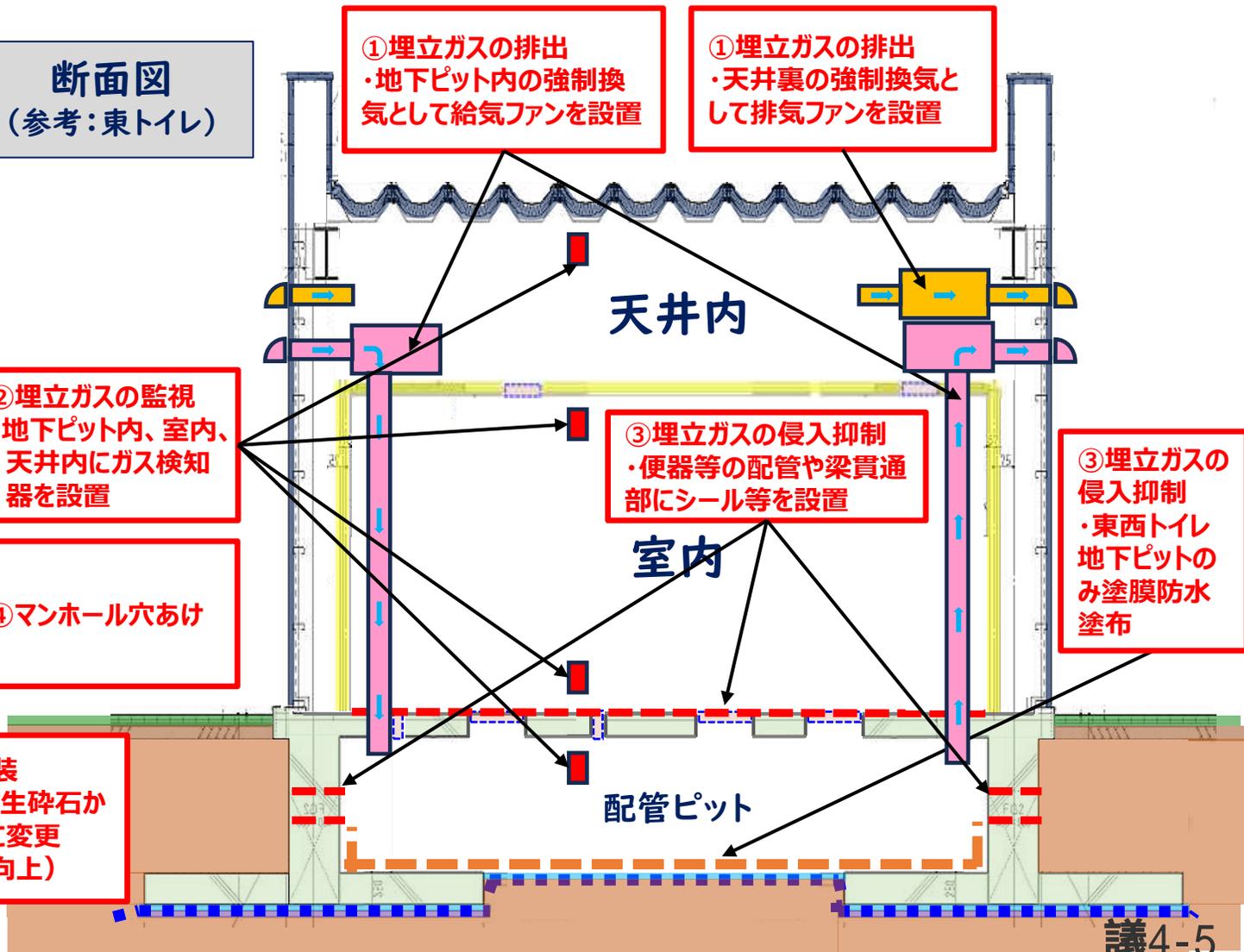
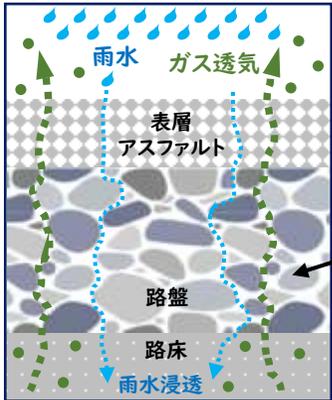
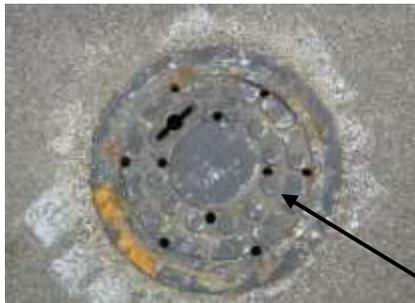
②埋立ガスの監視  
・地下ピット内、室内、  
天井内にガス検知器を設置

③埋立ガスの侵入抑制  
・便器等の配管や梁貫通部にシール等を設置

③埋立ガスの侵入抑制  
・東西トイレ地下ピットのみ塗膜防水塗布

④マンホール穴あけ

⑤透水性舗装  
・路盤材を再生砕石から天然砕石に変更  
(透気性の向上)



## 第5号議案

夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場  
外駐車場等建築物の賃貸借の契約変更の件

# 夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借の契約変更について

- 夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借の契約変更について、財務に関する事項として理事会の承認を得る。

項目	内容
案件名称	夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借の契約変更
案件概要	本案件は既契約であるが、消防機関との協議に伴う屋外消火栓設備の追加、埋設支障物を避けるためのインフラ接続ルートの変更など、詳細設計の進捗に伴い、契約変更を行う。
契約期間	2023年11月10日（契約締結日）から2026年1月末まで（変更なし）
契約方法	一般競争入札（大和リース株式会社 大阪本店）
スケジュール （予定）	理事会承認後、2024年10月までに変更契約締結。

# 夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借の契約変更について

## ○変更内容：詳細設計の進捗に伴う変更



- (1) 消防機関との協議により  
屋外消火栓設備の追加



- (2) デジタルサイネージや空調  
設備、電気設備の詳細設計  
に伴う高圧受変電設備等の  
増設 (2面→5面)

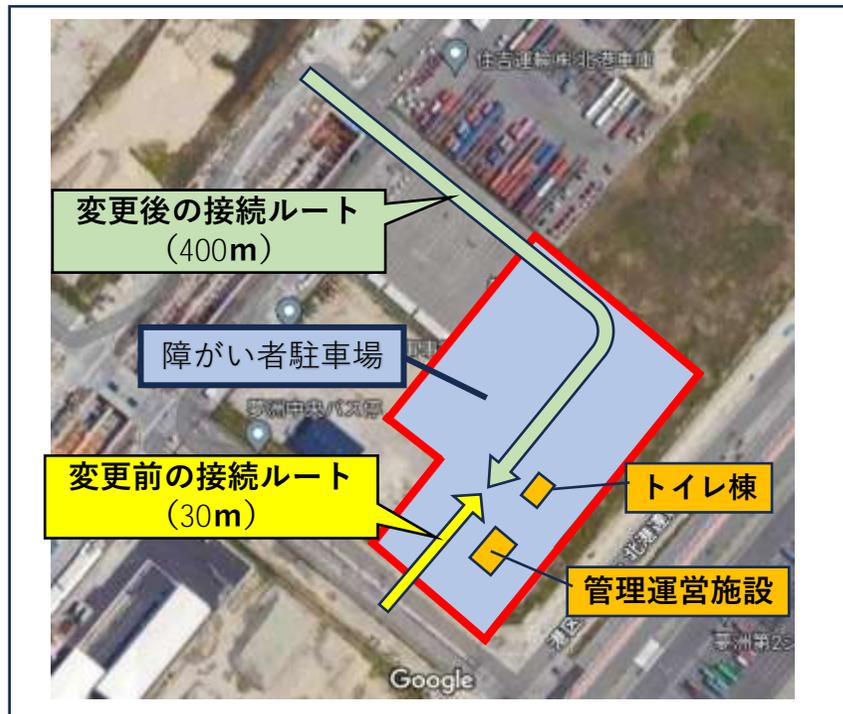


- (3) 周辺地盤調査結果等に伴う建物基礎の変更  
(鉄板敷→コンクリート基礎)

- (4) メタンガス対策 (検知器・排気ファン設置等)

# 夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借の契約変更について

- (5) 埋設支障のためインフラ接続ルートの変更 (30m→400m)  
(6) 交通アクセスユニバーサルデザインガイドライン検討会での検討結果に基づき、バリアフリートイレ便房追加、カームダウン室追加



## 第6号議案

紙チケットの来場日時予約なしでの利用条件の件

# チケット販売促進のための具体的取組み①

## (1) 電子チケット購入に係るシステム改善

(7月24日から、万博IDログインにあたっての本人確認の仕組みを簡素化)

## (2) 営業企画の実施

- ・**前売り券の特典**として、6月、8月に続いて**3回目のくじ抽選を10月に実施予定**
- ・会期内イベント主催者や会期中日本で開催されるMICE団体へのチケット購入働きかけ
- ・集客力のある施設や大規模イベントなどのチケットとの連携の検討
- ・福利厚生サービス提供企業を活用した官公庁職員等へのチケット販売誘因
- ・**インバウンド向けのチケット販売チャネルの拡大**

## (3) 広報・プロモーション (次回機運醸成委員会 (10月上旬) で詳細を議論予定)

- ・**新たなパンフレット**を8月から広く配布開始 (多言語版は9月上旬から順次配布)
- ・**電通グループと連携した本格的SNSチームが始動**。9月以降多数見込まれるパビリオンやイベントなどに関するプレスリリース (9月3日イベントスケジュールのさらなる発表、追加の個別イベント情報も順次発表中。超早割特別抽選の対象となるパビリオン・イベントも公表済み)を**SNSやHPでタイムリーに発信**
- ・**超早割 1日券販売終了前に駆け込みでチケット購入を促す広報の実施**

# チケット販売促進のための具体的取組み②

## (3) 広報・プロモーション（前項からの続き）

- ・10月上旬から、**新キービジュアル・新キャッチコピー**にて、**ポスター・サインージ・デジタル広告・テレビCM**などで積極発信
- ・**開幕半年前の10月13日にあわせて各種イベント開催**。東京では、主としてメディア向けイベントを開催し、来場日時予約開始やパビリオン・イベント紹介などを通じて話題性追求
- ・10月から来年3月にかけて、**各地でキャラバンを実施**
- ・**インバウンド**についても、**各国・地域での主要な旅行博や日本イベント等での露出を拡大**

## (4) 紙チケットの販売

- ・**新たなマーケット**（スマホに慣れない層、気軽にチケットを買いたい層、チケットを誰かにプレゼントしたい層）を掘り起こし、**Web販売の想定枚数の実現を補完**
- ・予約可能引換券の利用ルール決定後、原則10月13日から旅行会社やコンビニ等で販売予定（**具体のタイミングは追って公表**：コンビニでの来場日時指定がある引換券は、一か月分まとめて10月末から販売開始となる見込み）

## (5) チケット販売・予約に係るサポート充実

- ・大阪府市にて、9月17日から来年10月13日（予定）まで、**チケット購入・来場日時予約等の支援**を行うとともに、**パビリオンやイベント等の情報発信を行うサポートデスクを設置予定**
- ・協会においても、**スタッフ研修や配布資料・販売業者の連携**などに関する協力を行う 議6-2

## (参考) チケット販売・予約のサポート

○大阪府市にて、より多くの方に万博に来場いただくため、**万博入場チケットの購入や来場日時予約、パビリオン予約等の支援を行う**とともに、協会の広報・プロモーションと連携して、**パビリオンや催事、会場アクセス等の情報発信を行うサポートデスクを設置**し、府民・市民の利便性向上並びに機運醸成のさらなる推進につなげる

### <実施期間・場所等>

■期間：2024年9月17日～2025年10月13日（予定）

■場所：民間施設（大規模商業施設等）

及び公共施設（区役所、府出先機関等）を巡回

※イオンモール（大日・大阪ドームシティ）、キューズモール（あべの・もりのみや）等でスタート

※公共施設については10月7日以降の予定

■開設時間：午前10時～午後5時

## ○紙チケット/引換券の種類（案）

	紙チケット/引換券	販売箇所	紙サイズ	条件
(1)	来場日時指定がある QRコード付チケット ＜全券種＞	旅行会社、その他 販売業者	A4	○そのまま入場可能 ※Webで万博ID登録をすれば、パビリオン・イベント・駐車場予約、来場日時変更も可能。
(2)	来場日時指定がある 引換券 ＜通期一日券＞	コンビニエンスストア (含むチケット事業者 サイト経由)	コンビニチケット (短冊)	○当日ゲート前でQRコード付入場券と引換えが必要。 ※Webで万博ID登録をすれば、パビリオン・イベント・駐車場予約、来場日時変更も可能。
(3)	予約可能引換券  (Web予約と自由来場のハイブリッド形式)  ＜通期一日券＞	①旅行会社、 その他販売業者	A4	○購入後、Webで万博ID登録をして、来場日時予約をすることを推奨（パビリオン・イベント・駐車場予約、来場日時変更が可能）→スマホQRコード又は画面コピーで入場  ○ <u>予約なしでも、除外日時（交通機関・ゲート前が混みあう朝の時間帯や多くの来場が見込まれる日・時期：詳細を検討）</u> 以外は入場可能。当日ゲート前でQRコード付入場券と引換えが必要（予約が相当数を超えれば引換えできない場合あり）
		②コンビニエンスストア (含むチケット事業者 サイト経由)	コンビニチケット (短冊)	

※上記チケットを直前購入してもらうことで、会場での当日券販売は現時点では想定せず。

## ○予約可能引換券（＝予約なしでの入場も可）導入にあたっての考え方

### （１）基本的考え方

○買いやすさやプレゼントしやすさといった利点はあるものの、

1) 個々の来場者のパビリオン・イベント予約などの利便や引換えの列に並ぶ必要があるとの観点

2) 全体として行列を可能な限りなくし、整然・安全な会場運営を実現する観点

から引き続きWebでの来場日時予約を推奨。

○来場者や周辺住民の安全・利便のため、交通制約・ゲート前の場所制約の観点を踏まえ、予約なしでの入場は、交通機関・ゲート前が混みあう朝の時間帯や多くの来場が見込まれる日・時期は不可とすることが必要（予約が相当数を超えれば入場できない場合もあり）。下記協議会（7月19日）までに関係者で詳細検討。

→ 詳細検討を行ったが、まだ未決定の事項

### （２）導入に必要な要素

○会場の予約・混雑状況、交通機関の混雑状況などの予報や当日情報を周知する方法についての検討（博覧会協会、大阪府市、各交通機関）。

○それでも起こりうる不測の事態に備え、各交通機関において、乗り換え駅での雑踏対策・誘導、駅改札閉鎖時の対応などについて検討。

○学識経験者、行政機関、関係団体などで構成される来場者輸送対策協議会（7月19日）で、方針を説明・了解いただくことが必要。

## ○追加コスト（想定）

### ①イニシャルコスト：11.6億円

（内訳） 二重使用防止のためのシステム改造：4億円  
引換窓口増：1億円  
ゲート前誘導要員増：1.6億円  
桜島バスターミナルでの誘導要員増：1億円  
その他不測の事態に備えての誘導・警備員費：4億円

### ②コンビニ販売での販売手数料の増加：10.0億円※

→紙チケット販売が増加すると支払手数料が増加する。

※紙チケット販売枚数：200万枚と想定。実際にはコンビニ販売の枚数により増減。

## ○運営費予算について

今回新たに紙チケットを導入することになるが、運営費予算の収支を保守的に管理する観点から、運営費予算は変更しない（入場券売上収入：969億円 運営費支出総額：1160億円は変更しない）。

上記追加コストは、これまでの入札減等を活用するほか、今後の執行予定予算に節約をかけることにより捻出する。

# 予約可能引換券の来場日時予約なしでの利用条件(協会事務局案)

- 交通機関・ゲート前が特に混みあう午前11時まで、多くの来場者が見込まれるGW期間・6月以降の土日祝日・お盆以降の会期終盤は、来場日時予約を必須としたい。

＜予約可能引換券（コンビニ発券）の券面記載イメージ＞

## 2025年日本国際博覧会

- ①公式サイトで事前に来場日時予約をしてください。特に混雑が予想される以下の日は必ず予約が必要です。4月26日～5月7日、6月1日～8月8日の土日祝日、8月9日～10月13日。
- ②予約なしでも、①の期間以外の午前11時以降、ゲート前でQRコード付当日券に引換えて入場できます。ただし予約が多い場合、来場日時予約なしでの入場をお断りする場合があります。
- ③来場日時予約がない場合、事前予約サービスは受けられません。  
**来場日時予約はこちら <https://ticket.expo2025.or.jp>**

- 実際の運用としては、上記の期間であっても、**開幕後の①来場者数、②来場日時予約の実績、③来場日時予約無しでの来場実績、などを踏まえ、来場日時予約なしでの入場を可能とすることも検討。**

- 来場予約の状況**について、博覧会協会のホームページ上などで見える化するとともに、**広く情報発信をしていくこととする。**

# 来場日時予約なしでの利用条件の考え方(協会事務局案)

- 予約可能引換券は、チケット販売に寄与することが期待される半面、**予約なしで来場する人数や日時を予測することが困難**。この状況の下では、朝の混みあう時間帯に加えて、**来場者数全体が一定数を超える場合にも**、ゲート前の限られたスペースで、①予約時間別の入場待ちの列と②引換券交換を行う列とを整理し、混乱なく安全な**入場を担保することは実務上困難**。
- このため、**交通機関・ゲート前が特に混みあう午前11時まで、多くの来場者が見込まれるGW期間・6月以降の土日祝日・お盆以降の会期終盤は、来場日時予約をあらかじめ必須とすることが適切**。  
他方で、開幕後の状況を踏まえ、実務上問題ないと判断する場合には、**追加的に来場日時予約なしでの入場可能な日をアナウンスすることを検討**する。
- なお、「**予約が多い場合、来場日時予約なしでの入場をお断りする場合がある**」とチケットに記載するものの、「**伝家の宝刀**」との位置づけ。後から予約が必要な日を追加するのは、  
①協会公式サイトや駅での表示など**周知の手段が限られ、かつ、それは当日周知ともなりうるため、来場日時予約が必要であることを知らない多くの方がゲート前に来てしまい、ゲート前での大混乱が容易に生じる**。  
②（上記の記載があったとしても）頻発すれば、**予見性があまりにも低く、購入者の大きな不満につながる可能性が高い**。

## <協会事務局案>

## <大阪府市案>

### (1) 来場日時予約が必要な日時

⇒ **交通機関・ゲート前が特に混みあう午前11時まで + 多くの来場者が見込まれる日・時期**

- GW
- 6月以降の土日祝日
- お盆以降(8/9~10/13) ※シミュレーションに基づくもの

- GW
- お盆(8/9~8/17)
- 閉幕前1か月間(9/14~10/13) ※購買意欲及びシミュレーションを考慮したもの

※両案の違いは、**6/1~8/8の土日祝日、8/18~9/13の部分**。大阪府市案の場合には、この差分はチケット券面に明示されないが、**後から予約が必要な日を追加する必要性が高いと考えられる。**

### (2) 実際の運用

⇒ 「**予約が多い場合、来場日時予約なしでの入場をお断りする場合がある**」とチケットに記載(★)  
**来場予約の状況を博覧会協会のホームページ上などで見える化するとともに、広く情報発信**

○上記の記載(★)は、「伝家の宝刀」との位置づけ。

後から予約が必要な日を追加するのは、

- ①協会公式サイトや駅での表示など周知の手段が限られ、かつ、それは**当日周知ともなりうるため、来場日時予約が必要であることを知らない多くの方がゲート前に来てしまい、ゲート前での大混雑が容易に生じる。**
- ②(上記の記載(★)があったとしても)頻発すれば、**予見性があまりにも低く、購入者の大きな不満につながる可能性が高い。**

⇒上記の期間であっても、開幕後の①来場者数、

- ②来場日時予約の実績、③来場日時予約無しでの来場実績、などを踏まえ、来場日時予約なしでの入場を可能とすることも検討。

○購買意欲やわかりやすさの観点からも予約必要日の当初設定は最小限(GW・お盆は集客施設は一般的に混雑すること、閉幕1か月間は過去の博覧会も混雑していること)とする考え方。

○今回の万博では来場日時予約を行うことから、予約状況を見える化し、購入者に周知することにより、後から予約必要日を追加する場合でも、大きな混雑は生じないとの認識。

○上記の記載(★)があり、予約もできる制度であるため、仮に当日入場できないとなっても、購入者の不満は限定的との認識。

## 第7号議案

2025年日本国際博覧会ペット同伴来場実  
施見送りの件

## 2025年日本国際博覧会 ペット同伴来場実施見送りについて

2024年6月開催の理事会において決議事項として提出した、『2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）におけるペット同伴来場実施』について、再度検討した結果、実施を見送ることについて理事会の承認を求める。

- 「ペット同伴来場」については、初めての試みとなることから、有識者による検討委員の意見を踏まえ、BIEや公式参加者等と調整を行った結果、協会として実施できるとすれば日数やペット種を制限した内容と考え、それを「実施案」として、2024年6月理事会に決議事項として提出した。
- 2024年6月開催の理事会での議論において、「ペット同伴来場」そのものへの賛否が分かれるとともに、経費が高額であること、賛成される方からも同伴可能日数やペット受入の上限数が少ないことから、当初想定していた『ペットとの共生』という意義自体を達成できないのではないかとの意見があった。
- 上記状況を踏まえ、本件に関して再度検討した結果、協会としては、実施を見送ることとしたい一方で、大阪府市よりペット同伴来場について理事会で審議するよう提案があったことから、議案として提案するもの。

## <ペット同伴来場検討の経過について>

### 1. 【2023年3月末～、合計5回実施】

有識者（学識経験者、獣医師会、ペット関連企業等）で構成する検討委員会を設置し、会場運営面等における各種課題と対応策などの課題について検討

※委員について：計10名

大学教授、獣医師、獣医療学術・臨床従事者、ペット関連事業者、催事会場運営事業者等

### 2. 【2023年7月末時点】 検討委員会での議論概要

●各国の文化等の違いによりペット同伴に対する考え方が異なること、会場にはペットアレルギーの来場者やペットが苦手な来場者もいること等の課題を踏まえる必要あり。

(ペット種について)

●ペットへの肉体的・心理的負担などの観点から、同伴できるペットの種類は「犬」が基本であるが、調査の結果等を踏まえて決定する。

(同伴可能期間について⇒ペットの肉体的・心理的負担、混雑等を総合的に勘案)

●ペット同伴来場可能期間は5月～6月を基本。

●6月については夜間（17時以降）のみ同伴来場を検討。

(会場内来場可能エリア)

●会場内の屋外エリア（具体的な入場エリアは別途検討）

●屋内エリアは基本的に来場不可とし、各館の判断により来場可否を決定する

## <ペット同伴来場検討の経過について>

3. 【2023年11月15日】 IPM2023秋にて検討委員会での検討状況について報告  
協会の説明に対し、全体として異議はでなかったが、一部の国（A国）から「ペットのストレスを十分に考えられているのか」という懸念の声があった。
4. 【2023年11月27日】 BIE総会にて石毛総長とケルケンツェス事務局長、B国と面談
  - ケルケンツェス事務局長から、実施の判断については開催国の判断に任せるが、IPM2023秋での各国の反応を受け、反対する国々へ配慮し、丁寧に説明するようにしてほしいと意見あり。
  - B国から、万博へのペット同伴来場に反対の国があると思うが、Pet Weekなど短くすれば（多様性の万博で）許容できると意見があった。
5. 【2023年12月14日】 2023年12月理事会にてペット同伴来場検討の件を報告
6. 【2024年1～3月】  
BIE、公式参加者等の意見を踏まえ、検討委員とペット同伴来場ルール案（2024年6月理事会報告内容）を検討・策定。
  - 同伴可能期間を（平日限定の） 合計10日間
  - 受入上限を1日あたり100匹 とする。

## <ペット同伴来場検討の経過について>

7. 【2024年4月10日】 BIEケルケンツェス事務局長へペット同伴来場のルール案について説明  
⇒ 「パビリオンにペット同伴来場を強制するものでなければ問題ない」と発言
8. 【2024年5月14日】 公式参加者へペット同伴来場のルール案について説明（各国の反応）  
⇒ ○A国 「同伴可能期間外の自国のナショナルデーでペット同伴可能としてほしい」  
○B国 「ペットもしくは人がけがした場合の責任やルールを破った場合の対応を  
しっかり決めておくべき」 ⇒ 当方からの回答を了解。  
なお、C国からも「ナショナルデーにおいてペット同伴の内容を組みこみたい」という  
意見など、反対の国かから受け入れに肯定的な意見。
9. 【2024年5月23日、24日】  
事前行動確認調査を（万博会場と似た条件下）天保山エリアにて実施  
⇒ 犬と猫を対象に調査を実施した結果、犬については特段の問題なく同伴可能であるが、  
猫については「怯え」の行動形態と表情が観察され、同伴来場は妥当ではないという  
判断となった。
10. 【2024年6月27日】 IPM2024夏にてペット同伴来場のルール素案について報告  
⇒ 異議なし

## <全体概要> ※検討委員会等の意見を踏まえた案

### ■同伴来場可能期間

○5月12日（月）～16日（金）、26日（月）～30日（金）の合計10日間

⇒暑い時期、混雑する時期を避けた上で、「ペットアレルギー、ペットが苦手の人」を考慮し、「平日のみ」及び「1週間の間隔を空けた」設定としている。

### ■同伴来場可能ペット種

○公共交通機関持ち込み可能（サイズ）の「犬」

⇒・3辺の最大の和が120センチメートル以内のケージに入ることが可能

・ケージ等と動物を合わせた重さが10キログラム以内（参考：JRのペット持ち込みルール）

### ■受入上限

○100匹／日（18歳以上の大人1名・1匹のみ同伴可）

### ■会場内来場可能エリア

○来場可能エリアは基本的に「会場内全域」の屋外エリア

○来場不可エリア

・飲食施設等屋内施設やアリーナ、団体休憩所等

・各パビリオン（来場可能と各パビリオンの管理者が判断した施設を除く）

### ■必要経費

○約8,300万円

## <ルール詳細案>

### ■入場料金

○来場者の入場券料金のみとし、ペットに関する入場料金は徴収しない。

### ■事前確認事項について

○性格及び健康状態などは遵守事項（下記例）を自己申告とし、事前予約時に提出を必須とする

<遵守事項例>

- ・ワクチン接種が済んでいること、不妊去勢措置を行っていること、健康であること、
- ・幼齢でないこと（生後1年以上）、高齢でないこと（四肢や視覚等の状態が著しく衰えていない）

<提出書類例>

同意書、ワクチン接種証明書、保険加入証明書、マイクロチップ装着証明書

### ■同伴来場者（ペットの飼い主）の適性

○飼い主自らが、動物の愛護及び管理の重要性と必要性について理解をしたうえで、適正な取り扱いや行動をすることが重要であることから、ペット同伴来場を行うことができる 飼い主については、一定の選択制限や学習の機会を設ける。

⇒事前予約時に必要なマナー・モラルに関する動画の視聴及びテスト受講を必須とする。

### ■会場内移動

○移動時にバギーの義務化（会場での無料レンタル）

※バギー内において、リードもしくはハーネス着用を必須とする（逸走防止のため）

○ペット用おむつ、マナーベルト着用の義務付け（会場入り口で無料配布）

## ■同伴来場方法

### ○来場方法（移動手段）

- ・公共交通機関（電車、バス）、ケージ・リュック型カバン等を用いることとする。

### ○事前予約（「入場券の購入」を前提条件とする）

- ・ペット同伴来場を行うために、事前予約を必須とする。
- ・事前予約時に遵守事項等のチェックや必要書類の提出を行う。
- ・具体的な事前予約方法については検討中。

## ■会場内施設（具体的な場所は今後検討）

### ○ペット休憩所、会場内ペット預かり所、獣医師常駐所

- ・トレーラーハウスを活用、バギーから降ろすことのできる（※）エリアとする。
- （※）逸走防止のため、リードもしくはハーネス着用を必須とする。

## ■救急医療体制

### ○獣医師の確保、簡易な対応ができる設備、

### ○緊急時における会場外動物病院との連携体制の確保

## 報告事項 1

運営費及び会場建設費の執行状況の件

# 運営費の執行状況について

# 運営費の執行状況について（2024年7月末）

（単位：億円）

執行項目	契約済(2024年7月末)			今後の予定 ※1		総合計
	金額	前回報告以降の主な内容	前回比 (2024年6月末)	直近の発注予定額 (2024年8~10月)	主な内容	
<b>会場管理費</b>	<b>227</b>		<b>4</b>			
会場運営管理・来客対応費	96	カーボンニュートラルガス調達業務、国旗製作及び運営業務 ほか	3	91	会場内清掃業務、入場券システム改修（紙チケット対応）、ゲート前チケット案内所業務（紙チケット対応）、2025年度非化石電気の調達業務、バーチャル万博運営事務局業務、サイバーセキュリティ等運用業務、備蓄品・防災関連資機材費、医療スタッフ（救護隊）、屋外家具の発注、迎賓館運営業務、賓客車両運転手業務委託、QRコード認証機器端末調達、会場内スタッフ用携帯通信端末提供及び運用・保守業務、スタッフユニフォーム製作(看護師・医療・清掃スタッフ) ほか	201
ICT関連費	131	関係者向けポータルサイト事務局業務、情報通信インフラ整備支援業務 ほか	1			
<b>事業運営費</b>	<b>78</b>		<b>4</b>			
共創事業費	17	サステナドーム実施制作・運営管理業務 ほか	1	26	開会式及び主催者催事に係る実施計画・管理運営業務、催事開催にかかる制作協力業務、催事施設備品調達、エネルギー見える化システム導入・運用・保守業務、サステナドーム実施制作・運営管理業務、公式参加者の内装監理支援業務 ほか	51
テーマ事業費	40	—	—			
催事費	14	開会式・主催者催事に係る実施計画作成業務、イベント管理システム構築・運用保守業務 ほか	3			
住宅・公式参加国関係費	7	OSSに係る執務室事務所用什器調達 ほか	0			
<b>営業関係費</b>	<b>37</b>		<b>4</b>			
広報宣伝費	12	メディア用ネットワーク構築・運用・保守業務、香港ブックフェア運営業務 ほか	1	21	チケット販売促進等のための広報・プロモーション事業、入場券システムコンタクトセンター、メディアセンター実施計画・運営業務、広報ツールの印刷及び配送、開幕直前期（半年前）イベント実施運営、メディアプラン業務 ほか	37
入場券関係費	25	OOH等による入場チケット広報・プロモーション業務、メディアリレーションコーディネーター業務 ほか	3			
<b>輸送管理費</b>	<b>125</b>		<b>2</b>			
		夢洲第1交通ターミナル運行情報サイネージ等管理システムサービス提供業務（変更契約）、輸送対策協議会開催 ほか		5	船シャトルバス運行業務、P&R駐車場事務什器費、廃棄物収集・運搬業務、道路交通マネジメント効果検証 ほか	54
<b>管理関係費</b>	<b>150</b>		<b>3</b>			
		職員手当・旅費、オフィス賃料 ほか		8	職員手当・旅費、オフィス賃料 ほか	49
<b>合計</b>	<b>617</b>		<b>17</b>	<b>151</b>		<b>392</b>

執行額累計

**768**

※1 今後の予定の内訳については現時点での計画額であり、今後執行過程において変わらうもの

※2 一部、内訳端数調整有

執行率(7月末)

**53.2%**

執行率(10月末)

**66.2%**

# 10億円以上の新規契約案件一覧 (2024年7月分)

(単位：円)

案件名	案件概要	契約日	契約額(税込み)
該当なし			

# 運営費執行管理会議資料 (2024年8月8日開催分)

# 【開催報告】 運営費執行管理会議第3回について

●日時：令和6年8月8日（木） 11：00～12：00

●場所：Teamsオンライン

●議事：

- ・運営費の執行状況について、2024年6月末までの契約実績額及び今後の予定として直近の発注予定額（7～9月分）を報告した。【資料2、3】
- ・24年6月理事会にて説明した紙チケットの具体的設計（追加コスト含む）について、改めて説明を行った。【資料4】
- ・入場券の販売状況について報告を行った。【資料5】
- ・委員からの主なご意見は以下のとおり。
  - \* 予約なし来場不可の日程は極力少なくしたほうがいい。
  - \* 教育旅行に加え、日本に700以上大学があるので、もっと広報をしていくべきではないか。
  - \* 露出は多いが国内でもまだ万博開催が知られていない。ネット媒体を含めて広告をしてほしい。
  - \* 予算縮減のために行う取り組みについても説明することで万博事業への理解が促進されるのではないか。

# 運営費の執行状況について（2024年6月末）

資料2

（単位：億円）

執行項目	契約済(2024年6月末)			今後の予定 ※1			総合計
	金額	前回報告以降の主な内容	前回比 (2024年4月末)	直近の発注予定額 (2024年7~9月)	主な内容	予定額 (2024年10月~)	
<b>会場管理費</b>	<b>223</b>		<b>31</b>				
会場運営管理・来客対応費	93	廃棄物管理業務、賓客接遇業務、賠償責任保険、財産（火災）保険、医療救護施設運営業務、ユニフォーム制作納品業務 ほか	29	79	入場券システム改修（紙チケット対応）、ゲート前チケット案内所業務（紙チケット対応）、2025年度非化石電気の調達業務、会場内清掃業務、バーチャル万博運営事務局業務、サイバーセキュリティ運用業務、備蓄品・防災関連資機材費、屋外家具の発注、迎賓館運営業務、国旗製作及び運用業務、賓客車両運転手業務委託、QRコード認証機器端末調達、会場内スタッフ用携帯通信端末提供及び運用・保守業務、スタッフユニフォーム製作（看護師・医療・清掃スタッフ） ほか	217	519
ICT関連費	130	関係者向けサービス・基盤の運用・保守業務及び追加開発業務（変更契約）、外部人材の派遣契約 ほか	2				
<b>事業運営費</b>	<b>74</b>		<b>2</b>				
共創事業費	16	万博をきっかけとしたESDについての計画・教材作成・運営業務、EXPO交流会運営 ほか	1	25	開会式及び主催者催事に係る実施計画・管理運営業務、催事開催にかかる制作協力業務、エネルギー見える化システム導入・運用・保守業務、サステナドーム実施制作・運営管理業務、公式参加者の内装監理支援業務 ほか	56	155
テーマ事業費	40	—	—				
催事費	11	催事企画プロデューサー補佐（参加催事、編成、広報など）業務 ほか	0				
住宅・公式参加国関係費	7	公式参加者の展示・運営・広報支援業務、OSSに係る事務所用什器の調達 ほか	1				
<b>営業関係費</b>	<b>33</b>		<b>5</b>				
広報宣伝費	11	大阪・関西万博メディアセンター内マスターコントロールルーム実施計画策定及び運営業務、ミャクミャクブランド強化に向けた着ぐるみ活用促進業務、公式記録映像撮影・編集業務 ほか	3	17	チケット販売促進等のための広報・プロモーション事業、入場券システムコンタクトセンター、メディアセンター実施計画・運営業務、広報ツールの印刷及び配送、開幕直前期（半年前）イベント実施運営 ほか	45	95
入場券関係費	22	チケット購入者対象くじ実施運営・PR、くじ施策にかかるミャクベ！（景品）の調達 ほか	2				
<b>輸送管理費</b>	<b>123</b>		<b>3</b>				
		舞洲・桜島地区会場外清掃委託業務 ほか		6	夢洲第1交通ターミナル運行情報サイネージ等管理システムサービス提供業務（変更契約）、船シャトルバス運行業務、P&R駐車場事務什器費 ほか	55	184
<b>管理関係費</b>	<b>147</b>		<b>27</b>				
		2023年度決算に係る消費税の納付、職員手当・旅費、オフィス賃料 ほか		12	職員手当・旅費、オフィス賃料 ほか	48	207
<b>合計</b>	<b>600</b>		<b>68</b>	<b>139</b>		<b>421</b>	<b>1,160</b>

執行額累計

**739**

※1 今後の予定の内訳については現時点での計画額であり、今後執行過程において変わりのもの

※2 一部、内訳端数調整有

執行率(6月末) **51.7%**

執行率(9月末)

**63.7%**

# 10億円以上の新規契約案件一覧（2024年4月～2024年6月分）

資料3

（単位：円）

案件名	案件概要	契約日	契約額(税込み)
2025年日本国際博覧会 廃棄物管理業務委託	会期前、会期中、会期後にいたる廃棄物（建設・解体工事から発生する廃棄物を除く）の処理をはじめとした管理業務を行う	2024/6/14	1,784,883,071

## ○予約可能引換券（＝予約なしでの入場も可）導入にあたっての考え方

### （1）基本的考え方

○買いやすさやプレゼントしやすさといった利点はあるものの、

- 1) 個々の来場者のパビリオン・イベント予約などの利便や引換えの列に並ぶ必要があるとの観点
- 2) 全体として行列を可能な限りなくし、整然・安全な会場運営を実現する観点

から引き続きWebでの来場日時予約を推奨。

○来場者や周辺住民の安全・利便のため、交通制約・ゲート前の場所制約の観点を踏まえ、予約なしでの入場は、交通機関・ゲート前が混みあう朝の時間帯や多くの来場が見込まれる日・時期は不可とすることが必要（予約が相当数を超えれば入場できない場合もあり）。下記協議会（7月19日）までに関係者で詳細検討。

### （2）導入に必要な要素

○会場の予約・混雑状況、交通機関の混雑状況などの予報や当日情報を周知する方法についての検討（博览会協会、大阪府市、各交通機関）。

○それでも起こりうる不測の事態に備え、各交通機関において、乗り換え駅での雑踏対策・誘導、駅改札閉鎖時の対応などについて検討。

○学識経験者、行政機関、関係団体などで構成される来場者輸送対策協議会（7月19日）で、方針を説明・了解いただくことが必要。

### ○追加コスト（想定）

#### ①イニシャルコスト：11.6億円

（内訳） 二重使用防止のためのシステム改造：4億円  
引換窓口増：1億円  
ゲート前誘導要員増：1.6億円  
桜島バスターミナルでの誘導要員増：1億円  
その他不測の事態に備えての誘導・警備員費：4億円

#### ②コンビニ販売での販売手数料の増加：10.0億円※

→紙チケット販売が増加すると支払手数料が増加する。

※紙チケット販売枚数：200万枚と想定。実際にはコンビニ販売の枚数により増減。

### ○運営費予算について

今回新たに紙チケットを導入することになるが、運営費予算の収支を保守的に管理する観点から、運営費予算は変更しない（入場券売上収入：969億円 運営費支出総額：1160億円は変更しない）。

上記追加コストは、これまでの入札減等を活用するほか、今後の執行予定予算に節約をかけることにより捻出する。

## 入場チケットの販売状況について

2023年11月30日から発売した入場チケットの販売状況（発券実績ベース、累計販売枚数）について、お知らせします。

### 2024年7月31日現在 販売状況(発券実績ベース、累計販売枚数)

開幕券	33,809	枚
前期券	49,782	枚
超早割一日券	3,746,452	枚
特別割引券	6,729	枚
通期パス	7,273	枚
夏パス	20,452	枚
前期学校団体割引券	220	枚
合計	3,864,717	枚

# 会場建設費の執行状況について

# 会場建設費の執行状況について（2024年8月末）

（単位：億円）

執行項目	契約済			今後の予定		合計
	金額	主な内容	前回比 (2024年5月末)	小計	主な内容	
<b>大工区</b>	1,097		+61	192	・会場安全対策等の軽微変更工事 ・会場附帯施設整備 ・施設等維持補修 ・リユース対応 ・会場舗装等撤去工事 他	1,289
PW北東工区	319		+2			
PW南東工区	275		+22			
PW西工区	311	・大屋根（リング）	+11			
GW工区	142	・パビリオンB、C	+0			
静けさの森工区等	29	・管理施設、ゲート施設等の整備	+5			
会場附帯施設等整備	5	・附帯整備（各種サイン・舗装等）	+5			
会場施設等維持補修業務	16		+16			
<b>主要施設</b>	277		+6	14	・各施設の安全対策等の軽微変更工事	291
大催事場	91		0			
小催事場	47	・各施設整備	0			
迎賓館	38		0			
テーマ館	53		+4			
若手建築家施設	48	・サテライトスタジオ、休憩所等(20棟)	+2			
<b>土木工区</b>	108	・園路基盤整備、水道引込 ・雨水管、污水管、給水管、 熱供給管、電氣管路、通信管路	+1	26	・管路等撤去工事 他	134
<b>インフラ設備</b> (電気・熱供給、通信、警備設備 等)	233	・電気(引込含)・熱供給・通信設備 ・水質改善設備 ・警備設備等	+7	30	・各施設等の附帯設備整備 ・各工事工程に伴う変更対応 他	263
<b>交通施設</b>	148	・会場外駐車場等整備、付帯設備 ・桜島駅乗降場整備 ・万博アクセスルート整備	+8	31	・会場外交通施設、 施設関係設備、周辺整備 他	179
<b>環境評価、委託関係</b>	58	・基本設計業務 ・環境影響評価業務 ・プロジェクトマネジメント、コストマネジメント業務	+0	6	・現契約案件の継続追加業務 他 (プロジェクトマネジメント、コストマネジメント等)	64
<b>合計</b>	<b>1,921</b>		<b>+83</b>	<b>299</b>		<b>2,220</b>
					<b>予備費</b>	<b>130</b>
					<b>総計</b>	<b>2,350</b>

※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。

※一部、内訳端数調整有

■2,220億円の執行率：86.5%

# (参考) 前回からの進捗内容

- 前回(2024年5月末)からの執行状況 +83億円について

1. 工事工程に合わせた変更契約：約46億円

(※追加に際し、資材等を実勢単価で積算又はコストマネジメントを活用し、物価高も反映済)

2. 計画通り発注を行った新規工事等の契約締結：約37億円

※いずれも2,350億円を積算した際に含まれていた内容であるため、会場建設費の新たな増額となるものではない。

## 1. 工事工程に合わせた変更契約：約46億円

### (1-1) 大工区 (PW北東工区) 【約2億円】

(単位：円)

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
PW北東工区 (工事請負)	工事進捗に伴う雨水排水対応等における仕様の軽微な変更に係る工事請負及び解体撤去工事の契約変更を行ったもの。	2024/6/27	29,650,023,700	29,851,446,900	201,423,200
PW北東工区 (解体撤去)			1,458,593,400	1,466,316,500	7,723,100
合 計					209,146,300

# (参考) 前回からの進捗内容

## (1-2) 大工区 (PW南東工区) 【約22億円】

(単位:円)

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
PW南東工区 (工事請負)	施工環境改善の一環として、工事用道路拡幅、作業員駐車場整備工事を追加するとともに、工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/6/24	23,568,661,922	23,663,829,200	95,167,278
	ランドスケープ工事 (一部) を追加、工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/7/31	23,663,829,200	25,706,736,000	2,042,906,800
合 計					2,138,074,078

## (1-3) 大工区 (西工区) 【約11億円】

(単位:円)

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
PW西工区 (工事請負)	植栽等のランドスケープ工事 (一部) 追加に係る契約変更を行ったもの。	2024/6/7	27,344,779,000	28,405,179,000	1,060,400,000

## (2) 主要施設 (若手建築家施設) 【約0.1億円】

(単位:円)

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
トイレ6 (工事請負)	実施設計完了に伴い安全対策等の仕様の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/6/10	178,585,000	188,188,000	9,603,000

## (3) 土木工区 【約1億円】

(単位:円)

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
会場基盤整備工事 (その1)	会場土地造成工事について、盛土数量の増加等に伴い契約変更を行ったもの。	2024/6/12	1,501,067,700	1,588,801,500	87,733,800
会場基盤整備工事 (その4)	会場配置計画の深度化による各種インフラ管路の経路及び供給量の見直しに伴い契約変更を行ったもの。	2024/8/6	2,102,483,900	2,162,674,800	60,190,900
合 計					147,924,700

# (参考) 前回からの進捗内容

## (4) インフラ設備 【約3億円】

(単位：円)

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
警備カメラ等ネットワーク構築及び放送スピーカー設置等工事（工事請負）	実施設計完了に伴い設備柱等の数量変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/6/4	1,158,839,440	1,123,100,000	▲ 35,739,440
情報通信インフラ整備業務（構築工事）	各施設の計画深度化による光支線数等の設計変更及び会場工事工程の変更に係る整備工期の延伸に伴い、契約変更を行ったもの。	2024/7/31	2,708,747,426	2,951,534,905	242,787,479
電気供給施設運用等委託業務	電力需要増加による高圧系統増強対応するとともに、工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/8/30	8,811,884,400	8,937,858,046	125,973,646
合 計					333,021,685

## (5) 交通施設 【約7億円】

(単位：円)

案件名称	変更概要	変更契約日	変更前金額 (①)	変更後金額 (②)	変更金額 (②-①)
夢洲地区交通ターミナル等整備工事	施設計画深度化による整備対象の設計変更等に伴い、契約変更を行ったもの。	2024/7/16	2,490,950,000	2,716,087,000	225,137,000
夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借	施設計画深度化による整備対象の設計変更等及び工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/7/29	1,468,500,000	1,855,370,000	386,870,000
堺地区会場外駐車場建築物の賃貸借	工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/7/29	501,600,000	544,995,000	43,395,000
尼崎地区会場外駐車場等建築物の賃貸借	工事進捗に伴う仕様等の軽微な変更に係る契約変更を行ったもの。	2024/7/29	208,780,000	219,824,000	11,044,000
夢洲障がい者駐車場用地にかかる賃貸借にかかる覚書	夢洲身障者駐車場を整備に必要な用地の貸借範囲を追加したもの。	2024/8/30	106,519,850	106,758,725	238,875
合 計					666,684,875

# (参考) 前回からの進捗内容

## 2. 計画通り新規発注を行った工事等の契約締結：約37億円

### (1-1) 大工区（静けさの森工区等） 【約5億円】

(単位：円)

案件名称	案件概要	契約日	契約額
施設整備事業サイン工事	万博会場の案内サインや施設記名サイン等の設置を行う工事	2024/8/1	362,721,344
施設整備事業つながりの海外周フェンス設置工事	万博会場のつながりの海南側外周にフェンス設置を行う工事	2024/8/19	79,284,700
海外PV 建設促進にかかる入退場管理業務（概算契約）	各パビリオン工事の促進を目的とした休日・夜間に万博会場に進入する工事用ゲート等の入退場管理業務	2024/8/20	88,637,978
合 計			530,644,022

### (1-2) 大工区（会場附帯施設等整備） 【約5億円】

(単位：円)

案件名称	案件概要	契約日	契約額
格納庫設置に係るコストマネジメント業務	空飛ぶクルマ事業における格納庫設置に係るコストマネジメント業務	2024/6/4	8,745,000
格納庫設置に係る実施設計	空飛ぶクルマ事業における格納庫設置に係る実施設計業務	2024/7/1	19,444,700
会場内デジタルサイネージ設置・配信システム構築等業務（デジタルサイネージコンテンツ配信・表示システム導入及びデジタルサイネージコンテンツ生成システム導入）	デジタルサイネージの設置に係る配信コンテンツの管理システムの構築等業務	2024/7/1	79,640,000
ゲート前後・バックヤードサイン制作・設置等業務	入退場の案内・誘導等に必要となるゲート前後・バックヤードサインの設計・制作・設置業務	2024/7/19	207,900,000
タイプC共同館(国際機関共同館・CS2館)共用部等整備業務	タイプC共同館2館共用部における整備業務	2024/8/14	133,475,100
合 計			449,204,800

# (参考) 前回からの進捗内容

## (1-3) 大工区 (会場施設等維持補修業務) 【約16億円】

(単位:円)

案件名称	案件概要	契約日	契約額
会場施設等維持補修業務	会場施設等の安全管理・機能維持・補修業務	2024/6/5	1,166,989,120
大屋根リング屋上緑化維持管理等業務	大屋根屋上緑化の維持管理業務	2024/7/29	429,000,000
合 計			1,595,989,120

## (2-1) 主要施設 (テーマ館) 【約4億円】

(単位:円)

案件名称	案件概要	契約日	契約額
テーマ館「いのちを高める」中島P (付属工事)	テーマ館「いのちを高める」中島P 延床面積約1,634㎡ 建設工事一式 (外構、一部の内装)	2024/7/31	329,670,000
テーマ館「いのちを高める」中島P (付属工事) 工事監理業務	建設工事監理業務	2024/8/1	7,957,400
合 計			337,627,400

## (2-2) 主要施設 (若手建築家施設) 【約2億円】

(単位:円)

案件名称	案件概要	契約日	契約額
トイレ5工事	トイレ 延べ面積 約246㎡ 建設工事・撤去工事 各一式	2024/6/20	169,092,000
工事監理 (ポップアップステージ (南))	建設工事監理業務	2024/6/18	4,000,000
工事監理 (ギャラリー)	建設工事監理業務	2024/7/2	6,429,000
工事監理 (トイレ5)	建設工事監理業務	2024/8/7	3,369,400
工事監理 (トイレ7)	建設工事監理業務	2024/8/30	3,439,888
合 計			186,330,288

※若手建築家20施設に係る整備は、上記により全件契約済

# (参考) 前回からの進捗内容

## (3) 土木工区 【約0.1億円】

(単位：円)

案件名称	案件概要	執行日	契約額
夢洲観光外周道路補修の実施に関する協定	会場整備に伴う盛土工事にて、隣接する観光外周道路へ影響が生じたため、大阪港湾局と共同で補修を行うもの	2024/8/28	12,684,100

## (4) インフラ設備 【約4億円】

(単位：円)

案件名称	案件概要	契約日	契約額
メディア用光回線敷設および中継ボックス・中継車盤整備業務	万博会場内でのメディア用光ケーブルの敷設及び中継ボックスおよび中継車盤等の設置・撤去業務	2024/5/30	85,470,000
防犯・入退管理設備工事	各施設（パビリオン等）に防犯設備等を設置する工事	2024/6/3	81,393,950
供給処理施設（南東）に係る携帯電話基地局用設備整備工事	携帯電話基地局用の電源及び通信配線ルートの整備工事	2024/6/7	641,784
大阪・関西万博メディアセンター内マスターコントロールルーム実施計画策定及び運営業務（整備業務）	国内外の放送メディアが会場内でのイベントやパビリオンの報道等の放送用インフラ設備（マスターコントロールルーム）の整備・撤去業務	2024/6/7	216,104,032
静けさの森北西営業施設インフラ等設計業務	営業施設で使用する水、電気等を分配供給するためのインフラ整備に係る設計業務	2024/6/12	3,080,000
大阪・関西万博メディア用ネットワーク（整備業務）	万博会場内のメディア用ネットワークを構築・撤去業務	2024/7/10	14,611,442
合 計			401,301,208

# (参考) 前回からの進捗内容

## (5) 交通施設 【約1億円】

(単位：円)

案件名称	案件概要	契約日	契約額
会場外駐車場周辺道路等改良工事	周辺道路等の一方通行化路線及び転回場整備・復旧、案内標識設置・管理・復旧、弁天町駅バスターミナル整備・管理・復旧 各一式	2024/8/8	152,504,000

## (6) 委託関係 【約0.03億円】

(単位：円)

案件名称	案件概要	契約日	契約額
大催事場（設計変更）外2件コストマネジメント業務	大催事場、宮田館、静けさの森工区の建設工事設計変更に係る工事費のコストマネジメント業務	2024/8/29	2,717,000

# 協会発注施設の工事進捗状況

## ○大工区の進捗状況

R6. 7 末現在

名 称		進捗率
大工区 (PW 3 工区及びGW工区)		65%
	PW北東工区(大屋根650m、Bパビリオン 2 棟、Cパビリオン 1 棟ほか)	70%
	PW南東工区(大屋根740m、Bパビリオン 1 棟ほか)	69%
	PW西工区(大屋根730m、Bパビリオン 2 棟、Cパビリオン 3 棟ほか)	72%
	GW工区 (屋外イベント広場、西ゲートほか)	51%
	※大屋根リング (木造建築部分が完成 8/21)	100%

※進捗率は、「工事費用 (出来高) / 総工事費用」で算出。  
ただし、大屋根リングは、「建て方着工長さ/リング長」で算出。

# (参考) 協会発注施設の工事進捗状況

## ○個別の施設の進捗状況

R6.7末現在

	施設名称	進捗状況	工事着手時期
催事施設	大催事場	鉄骨建方完了、内外装工事中	R5.12
	小催事場	本体：鉄骨建方完了・帯屋根、プレハブ棟：上屋建方	R5.10
	迎賓館	鉄骨建方完了、屋根工事中、防水工事中、水盤工事中	R6.1
テーマ館	宮田館	本体鉄骨建方完了、事務所内装工事中	R5.12
	※石黒館	屋根工事完了、内装工事中、外構工事中	R5.9
	※中島館	屋根（創造の木）工事完了、内装工事中、外構工事中	R5.10
	落合館	展示棟：ボクセルフレーム工事中 プレハブ棟：内装工事完了	R6.1
	福岡館	展示棟：膜屋根ケーブル取付、管理棟：内装・設備	R5.11
	河森館	鉄骨建方工事完了、防水工事完了、内装工事中	R6.1
	河瀬館	1階躯体工事完了、木造建方工事中	R6.1
	小山館	北側建方完了、南側鉄骨建方工事中	R6.1
施設給	電気供給施設	高圧地中幹線完了、各施設へ順次送電工事中	R5.6
	熱供給施設	熱源設備据付完了、配管工事中、電気工事中	R5.3
土木	基盤整備	基盤整備工事について概ね完了	R4.10
	静けさの森	植樹予定本数1,500本のうち約750本植樹済	R5.10

※石黒館、中島館は現物協賛

# (参考) 現場状況 1年半前 会場全体 (南西から市内中心方向)

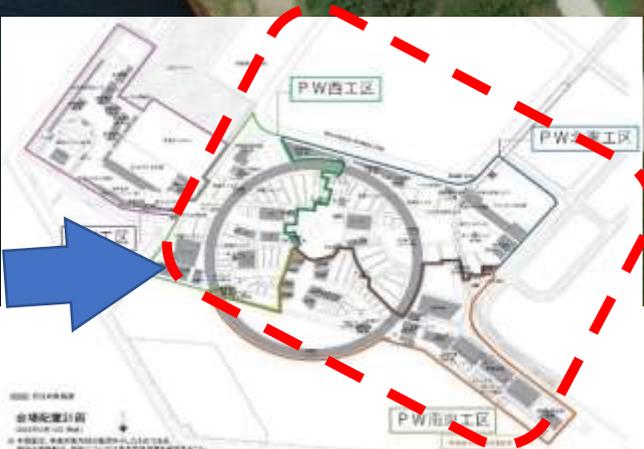
撮影日 2022/10/4



地下鉄  
夢洲駅

大阪府咲洲庁舎

土木工事  
(着手直後)



# (参考) 現場状況 現在

会場全体 (南西から市内中心方向)

撮影日 2024/8/20

大阪府咲洲庁舎



地下鉄  
夢洲駅

タイプB・C

静けさの森

ガス  
飯田×阪公大

シグネチャー  
(8館)

ブルーオーシャン

吉本

タイプB・C

大屋根 (リング)

ガンダム

EXPOメッセ

パソナ

供給処理施設  
・サービス施設



# (参考) 現場状況 現在

会場全体 (南東工区 東→西)

撮影日 2024/8/20



住友  
電力

関西  
大阪ヘルスケア

地下鉄  
夢洲駅



EXPO  
ナショナルデーホール  
迎賓館  
EXPOホール

ウーマンズ  
日本館

三菱  
パナソニック

管理本部

環状トンネル



# (参考) 宮田館、石黒館、中島館、落合館

宮田館

撮影日 2024/8/20



石黒館



撮影日 2024/9/2

中島館



撮影日 2024/8/21

落合館



撮影日 2024/8/29

# (参考) 福岡館、河森館、小山館、河瀬館

福岡館

撮影日 2024/9/3



河森館

撮影日 2024/9/3



小山館

撮影日 2024/9/3



河瀬館

対話シアター棟

撮影日 2024/9/4



森の集会所



エントランス棟



## 報告事項 2

会長、事務総長及び副事務総長の職務の執行状況の件

2024年9月13日  
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

会長 十倉 雅和  
事務総長 石毛 博行  
副事務総長 小野 平八郎  
副事務総長 高科 淳  
副事務総長 東川 直正  
副事務総長 田中 清剛  
副事務総長 櫛 真夏

## 職務執行状況報告書

この報告書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項及び定款第22条第3項の規定に基づく代表理事及び代表理事以外の業務執行理事の自己の職務の執行の状況に関する報告であり、報告事項は下記のとおりです。

### 記

1. 事業活動の概況  
2024年度事業活動概況報告書（第1回）のとおり
2. 事業及び経理上生じた重要事項  
該当なし
3. 重要な組織の活動状況  
該当なし
4. 理事会の決議事項のうち特に重要な事項の経過  
該当なし

以上

# 2024年度事業活動概況報告書 (第1回)

自 2024年4月 1日  
至 2024年8月31日

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会  
2024年度 事業活動概況報告書（第1回）  
（2024年4月1日から2024年8月31日まで）

## 1 博覧会開催に向けた万全な準備

### （1）シグネチャープロジェクトの具体化

ア プロデューサーと協働してテーマ館の建築・展示の施工ならびにイベントの実施計画を完成させ、会期中の運営に向けた体制整備・スタッフトレーニングを実施する。

4月13日および7月8日にプロデューサー会議を実施した。

また、4月19日よりシグネチャーパビリオンのアテンダント募集を開始した。

さらに、6月26日の国際参加者会議2024年夏（IPM 2024 Summer）においてテーマ事業プロデューサーのセッションを実施し、テーマ事業と公式参加者の連携を呼び掛けた。

イ ますますの万博の機運醸成を図るため、テーマ事業の進捗をウェブやイベントで発信する等、テーマ事業の効果的なPR活動を展開する。

4月13日の開幕1年前イベントにおいて、テーマ事業プロデューサーのトークセッションを実施した。

また、7月8日のプロデューサー会議において、テーマ事業プロデューサーの大屋根リングでの写真撮影を実施し、広報活動に活用した。

### （2）未来社会ショーケース事業の具体化

#### ア スマートモビリティ万博

会場内外における人荷の輸送・移動等における未来技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業を準備する。

会場アクセス船を担う事業者（岩谷産業株式会社）との協賛契約締結に係る調整を進めた。

また、外周バス事業を担う予定の大阪市高速電気軌道株式会社・関西電力株式会社・株式会社大林組・株式会社ダイヘンと協賛契約締結の協議を進めた。

さらに、関係者モビリティについて、4月26日に株式会社アキボウと協賛契約書を締結した。

#### イ デジタル万博

来場者体験の高度化や会場運営の効率化に資するデジタル技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業を準備する。

来場者体験の高度化や会場運営の効率化に資するデジタル技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業の具体化を図っている。

#### ウ バーチャル万博

世界中から参加できるインクルーシブな万博の実現に向け、企業・団体等との連携を強化し、バーチャルコンテンツの制作を進める。

バーチャル万博の実現に向け、IPM 2024 Summer などにてバーチャルパビリオン展示制作に向けた周知やサポートを行い、出展者によるコンテンツ制作を推進するとともに、バーチャル催事の募集と内定通知を行った。

また、EXPO共創事業については、新たに4月10日に東日本旅客鉄道株式会社、5月24日にPeatixJapan株式会社と協賛契約を締結した。

#### エ アート万博

会場の景観や歩径路などを、先進エンタテインメント技術の実証・実装する催事の場と捉え、引き続き企業・団体等との連携を強化し、事業を準備する。

##### 【ウォータープラザ水上ショー】

協賛者であるサントリーホールディングス株式会社、ダイキン工業株式会社と実施に向けた設置物、実施内容、運営計画等について協議・調整を行った。

また、7月8日に、起工式とメディア説明会を実施し、ショーの概要を発表した。

##### 【静けさの森インスタレーション】

協賛者であるアサヒグループジャパン株式会社と実施内容等について協議・調整を行った。

また、インスタレーションの推進・実施委託事業者を決定し、実施に向けたアーティスト調整、インフラ整備・調整を行った。

##### 【プロジェクションマッピング事業、パブリックアート事業】

事業の推進にあたり協賛候補事業者と、設置場所、内容等、契約締結に向けた調整を行った。

#### オ グリーン万博

万博運営および経済活動全般における環境負荷低減技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業を準備する。

環境負荷低減技術の実証・実装にあたり、具体的な取り組みについて検討し、協賛契約を締結した事業者の他に、エア・ウォーター株式会社、積水化学工業株式会社、九州大学及び名古屋大学と協賛契約に向けた協議・調整を行った。

また、会場内で発生する廃棄物の削減対策の一つとして、建物、建材・設備、什器・備品のリユースを促進するためにWebサイトを利用したリユースマッチングサイトの構

築を株式会社 JEMS ほか 9 社と、難再生古紙の再資源化に向けては、コアレックス信栄株式会社と契約を締結した。

さらに、協賛が決定した事業については、公益財団法人地球環境産業技術研究機構 (RITE) 及び大阪ガス株式会社と具体的な設計・施工に向けた調整及び検討を行い、順次取り組みを開始した。

加えて、エネルギーマネジメントについては、導入予定のパビリオンについて詳細調整を行った。

その他、小中高生向けの展示と体験型プログラム、資源循環・脱炭素等に関する会場内ツアーについては、6月1日に事業名称を「ジュニア SDGs キャンプ」に決定し、個別プログラムの制作について公式参加者等関係者との調整を行った。

#### カ フューチャーライフ万博

会場内「フューチャーライフヴィレッジ」での取組を具体化するとともに、来場者が未来の都市や未来の食・ヘルスケア等を体感できる先進技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携を強化し、事業を準備する。

##### 【未来の都市】

運営・広報プロモーションの委託事業者として公募選定した大日本印刷株式会社及び株式会社コングレの共同企業体と4月16日に契約締結した。

また、共通展示に係る展示工事、付属工事、一部外構工事及び撤去工事共通展示の施工の一般競争入札を6月25日公告、7月18日開札した。

さらに、メディア関係者向けのパビリオン展示内容発表会を7月17日に大阪にて実施した。

##### 【フューチャーライフエクスペリエンス】

企画・展示運営業務委託事業者の FLE 推進共同企業体（大日本印刷株式会社・日本コンベンションサービス株式会社）と4月2日に2024年度委託契約を締結した。

2023年度から引き続き常設展示（協賛者）及び期間展示・ステージ（会場参加者）の募集を実施。会場参加者の内定者へは4月7日から順次 FLV ポータル（本申込手続きを行うサイト）への案内を開始した。

なお、参加費用の入金が確認できた参加者名については8月28日に第1弾として協会 HP で公表した。

#### (3) 催事計画の具体的推進

ア 催事基本計画に基づき、万博に相応しい催事の企画内容を決定の上、その推進体制を構築し、実施に向けた準備を行う。

万博にふさわしい多彩な催事を検討することを目的に設置した「大阪・関西万博催事検討会議」の第5回会議を4月9日に開催し、イベントの内定発出や編成状況、一般参

加催事の選考状況、今後のスケジュールについて各委員からご意見をいただいた。

イ ナショナルデー及びスペシャルデーなどをイベントガイドラインに基づき、公式参加者（国・地域・国際機関）を募集し、それを推進する。

ナショナルデー及びスペシャルデー、公式参加者自主催事の追加申込について、順次内定を発出した。6月25日・26日に開催された IPM 2024 Summer において、開閉会式、ナショナルデー・スペシャルデー（儀典含む）、自主催事についての説明と質疑応答を行った。

また、開会式を2025年4月12日に執り行う事を発表した。

ウ 開会式実施計画の策定及び実施準備を行う。

開会式は万博のテーマや行催事の思想が集約された象徴的なイベントであることから、プロポーザル方式により事業者を公募し、5月31日に事業者を決定するとともに、開会式実施本部会議を立ち上げ、事業者とともに実施計画策定に向けた協議・調整を行った。

エ 閉会式基本計画及び実施計画策定に向けた準備を行う。

閉会式は開会式とともに万博の象徴的なイベントであることから、実施内容や方法、今後のスケジュール等について検討を行った。

オ 催事編成カレンダーの策定

4月9日にイベント情報（第1弾）として、102か国・地域、4国際機関のナショナルデー、スペシャルデー開催日を公表した。

また、6月20日には第2弾新たに公表の承諾を得られた31か国のナショナルデーを公表した。

加えて、ジャパNDERの開催日（2025年7月3日）を公表した。また、編成に余裕があるポップアップステージ、EXPO アリーナ、新たなイベントスペースについて、5月31日から一般参加催事の第2次募集を開始した。

（4）テーマウィークの推進

ア 協会主催のテーマウィークプログラム「アジェンダ 2025」の実施に向けた準備を行う。

5月24日にアジェンダ 2025 主催プログラム概要を、テーマウィーク全体協賛者のプレス公表にあわせ、パネルディスカッション形式で発表した。

また、6月25日に開催した IPM 2024 Summer において、公式参加者のテーマウィーク事業に対する理解を深めるとともに、各パビリオンでテーマウィークプログラムを企画実施するモチベーションを高めてもらうため、「プレテーマウィーク」を実施した。

さらに、アジェンダ 2025 主催プログラムのモデレーター、パネリストの検討し、招聘の準備をすすめた。

イ テーマウィークの全体事務局を設置し、主催者に加え、公式参加者、政府・自治体、共創事業参加者、出展企業などのテーマウィークプログラムも集約し発信する。

6月13日に、テーマウィーク事務局の公募・選定をすすめ、事務局を設置し、それ以降、テーマウィークの実施に向け、事務局に各種分科会を設置し、広報やテーマウィークスタジオなどに係る準備を開始した。

また、7月1日に、公式参加者（トラック1）のテーマウィークプログラムエントリー受付、審査を開始するとともに、公表にむけたプログラム情報の集約を開始し、その他のトラックについても、順次各トラックの事業所管部局を通じてエントリー受付、審査を開始した。

ウ 全国からテーマウィークの会場外関連プログラムとして参加できる「テーマウィークコネクト」の集約を進め発信する。

テーマウィークコネクトの受付・審査を継続実施し、多くの企業・団体等との問い合わせ対応を行った。

また、5月16日に、内閣官房及び経済産業省とも、テーマウィークコネクト参加の促進について意見交換を実施し連携を呼びかけた。

## （5）会場整備

### ア 会場施設の建築工事完了

タイプB及びタイプCパビリオン計9棟について、7月2日までに工事が完了し、管理本部（西棟・中央棟）についても、6月19日に工事が完了した。

また、大屋根リングは柱、梁等の基本構造が8月21日に完成した。

さらに、各工区のランドスケープ工事については会場全体の状況に合わせて随時工事着手した。静けさの森工区は中央部の植樹が6月7日に完了し、周辺部の植樹に向け造成等に着手した。

加えて、若手建築家設計施設（休憩所・トイレ等）20件については6月20日までに全ての工事請負契約を締結し、順次工事を進めた。

### イ 仮設インフラ工事の完了

会場基盤整備（園路基盤整備、雨水管・污水管等設置）は完了し、7月17日に水道の仮使用（施設検査や散水等に用途に限定）を開始した。

電気は3月25日に万博会場内の特高変電所・高圧電力ケーブルの充電が完了し、5月以降から順次、準備が整った施設から送電を開始した。

#### ウ 環境影響評価書・事後調査計画書に基づく事後調査の継続実施

公表済みの事後調査計画書に基づき、会場予定地及びその周辺、舞洲万博P & R駐車場予定地の鳥類の飛来状況を調査した。また、4月に会場予定地からの建設作業騒音、6月に舞洲万博P & R駐車場予定地からの建設作業騒音・振動を測定した。

#### エ 会場内施設等の維持管理に関する発注、維持管理業務の開始

会場建設費で整備した施設や設備について会期中及び会期前後で必要となる維持管理（巡回、点検、植栽管理等）を行うため、6月5日に業務委託契約を締結した。7月から完成引渡しを受けたタイプB及びタイプCパビリオン等の巡視点検、通信用接続ますの排水作業、会場内施設の確認作業を開始した。

大屋根リングの屋上緑化について会期中の維持管理、植替作業を行うため、7月29日に業務委託契約を締結した。

#### (6) 来場者輸送対策の実施

ア 来場者輸送対策協議会にて、施設管理者や交通事業者等とともに輸送計画を具体化し、その推進を図る。

7月19日に第6回協議会を開催し、具体方針（第3版）における課題等の検討を進め、「大阪・関西万博来場者輸送具体方針（アクションプラン）第4版」を策定した。

また、個別の課題検討のために各種の会議体を設置し、検討を進めた。

#### <来場者輸送対策協議会の関係検討会等>

4月22日に、2023年に設置した「大阪・関西万博 水上交通対策検討会」（第2回）を開催、6月6日に同検討会（第3回）を開催し、万博開催時における、安全な運航確保のための運航方法の検討、浮棧橋及びその周辺における安全対策等について取りまとめを行った。また、会期中の運航に必要な調整を行い、水上航路を活用した大阪・関西万博会場への安心・安全な来場者輸送を実現することを目的に、6月28日から7月11日にかけて「大阪・関西万博夢洲北岸浮棧橋 第3次募集」を実施した結果、計15者の浮棧橋使用意向があった。

4月23日に、2023年に設置した「大阪・関西万博 夢洲会場タクシー運用ルール検討会」（第3回）を開催し、タクシー、ハイヤー等を円滑に利用するための運用ルールの検討等を行った。

4月25日に、大阪府・大阪市とともに、日帰り教育旅行で訪れる来場者の「安全」・「安心」な移動環境等の実現を目指し、日帰り教育旅行の輸送について、関係機関により必要な検討と調整を行うため、「大阪・関西万博 日帰り教育旅行の輸送に関する検討会」（第1回）、8月7日に同検討会（第2回）を開催した。

5月30日に、2月に設置した「大阪・関西万博 大型荷物持ち込み対策検討会」（第

2回)を開催し、公共交通機関への大型荷物持ち込み増加に対し、安全で円滑な移動の確保に向けた検討を行った。また、ターミナル周辺等において博覧会協会が手荷物一時預かり施設(配送機能含む)の整備を行うとともに、当該施設にて業務を行うにあたり、民間事業者等の知識やノウハウ等を活用し、より効果的・効率的に実施するため、7月10日から8月2日にかけて「2025年日本国際博覧会 大型荷物等一時預かり及び配送業務委託」に係る事業者の募集を実施した。

イ 来場者輸送具体方針に基づき、2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議において、関係機関と共に一般交通への時差出勤等の働きかけにかかる周知を図るとともに、試行を実施する。

5月23日に第8回幹事会、7月31日に第9回幹事会、8月26日に「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」(第3回)を開催し、9月30日から10月4日に実施する万博TDMトライアル計画を公表した。

また、2月に開始した「万博TDMパートナー」の企業募集について、1万社・事業所の登録を目標とし、6月には府市と連携し、会場周辺や大阪メトロ中央線周辺の重点エリアの各事業所へのチラシ配布及びオンライン説明会の開催、7月・8月には区広報誌に掲載し、説明会を開催した。

ウ 交通ターミナル等の工事を完了するとともに、運営に向けた準備を進める。

夢洲交通ターミナルや夢洲障がい者用駐車場及び舞洲・堺・尼崎の各万博P&R駐車場に係る整備工事並びに建築物等の賃貸借について、詳細設計や現地測量を進め、順次着工した。

また、夢洲交通ターミナル等の雑踏警備に伴う警備計画の策定及び警備実施業務について、オペレーション計画の策定を進めた。

さらに、舞洲や尼崎及び堺万博P&R駐車場と夢洲第1交通ターミナルを結ぶP&Rシャトルバスの運行計画の策定を進めた。

7月19日に、「万博P&R利用料金」と「夢洲北岸浮棧橋利用料金」について決定・公表を行った。

## (7) 企業・団体等の参加計画

ア 企業・団体等は、ともにテーマの実現を目指すパートナーであり、これまでの万博よりも幅広い参加ができるよう、多様な参加メニューを用意することでより多くの参加を促す。

幅広い協賛の獲得に向け、大企業のみならず、中小企業及びスタートアップ企業等の参加促進を主眼に置きながら、万博の会場整備および運営に必要な施設・物品・サービス等の協賛募集を実施した。(3月28日から5月30日:第3回会場整備参加/第6回

運営参加)

6月1日までに新たに協賛が決定した56者について、協会ホームページ上で社名公表を行った。これにより、会場整備参加・運営参加の協賛者は、計230者となった。

イ 民間パビリオン出展参加者とともに、魅力あふれるパビリオンを実現する。

出展者会議を継続的に毎月開催し、パビリオン出展者への展示・運営等の支援を行った。

ウ 催事特典など参加メニューに応じた個別特典を用意し、より多くの参加を促す。

協賛プロモート活動を進めるにあたり、各催事場やスタジオ施設、ユニフォームなどに表示する名称表示ルールを設計を行った。

また、催事協賛プロモート活動の強化を目的に、催事施設内での名称表示設置個所やサイズ、館内アナウンス、協賛企業PRコーナーの設置などの個別特典を具体的に設計した。

エ キャッシュレス決済及びEXPO 2025 デジタルウォレットサービスを効率的、効果的に運営する。

「EXPO2025 デジタルウォレット」の事業連携サービスでは、(一社)大阪外食産業協会、関西商工会議所連合会、大阪商工会議所、大阪市博物館機構、関西大学、全日本空輸株式会社(ANA)、日本電気株式会社(NEC)、奈良県橿原市等との万博機運醸成につながる様々なコラボイベントを実施した。

また、5月23日に日本電気株式会社(NEC)と顔認証による会場内決済、6月19日にキャッシュレス推進協議会との連携に関する発表会を実施した。

さらに、6月25日に開催したIPM 2024 Summerにおいてキャッシュレス決済に係る対応事項、「EXPO2025 デジタルウォレット」に係る協力依頼事項、更新情報の説明を行った。

加えて、7月1日に「EXPO2025 デジタルウォレット」の機能追加リリース、記者向けリリース発表会および協会HPでの公表を行うことと併せ、その内容について、Web3のスタートカンファレンス「IVS2024 KYOTO」にて企業向けのPRを行った。

開幕1年前記念プレゼントキャンペーン、入場券部と連携した抽選「ミャクミャクぼん！」などプロモーションを実施した。

「EXPO2025 デジタルウォレット」の魅力を高め、ウォレット利用者の万博参加へのモチベーションアップ、来場誘因を企図して、会場内の休憩スペースとして、また特別な体験・サービスの提供を行う「EXPO2025 デジタルウォレットパーク」の設置(2025年3月竣工)を検討した。

オ 協会公式クラウドファンディングを実施し、万博への参加意識を高める。

実施に向けて具体的な検討・整理を進める中で、協会の会計上受け入れられないこと、寄付を受ける場合の事前確認がシステム上難しいことなどが判明したため、検討を中止することとした。

#### (8) 持続可能性管理システム (ESMS) の構築と運用

ア 持続可能性方針を踏まえ、個別の取組・指標及び万博全体の指標について検討・整理し、持続可能な万博運営に係る取組を具体化して、ESMS を構築・運用し、ISO20121 の認証を取得する。

持続可能性方針を踏まえ、持続可能な万博運営に係る個別の取組を具体化して ISO20121 に準拠した ESMS を構築し、4月から運用を開始した。

なお、ステークホルダーへの定期的な報告を行うため、持続可能性有識者委員会での検討を踏まえ、4月26日に「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画」(第2版)を公表した。

さらに、6月から7月にかけて、運用中の ESMS に対する第三者機関による ISO20121 の認証審査を受けた。

加えて、持続可能性有識者委員会での人権に関する取組の検討を受け、博覧会事業に携わるすべての人の人権を尊重するため、4月23日に「公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 人権方針」を策定し、6月13日には第1回人権ワーキンググループを開催し、人権デュー・デリジェンス(事業が及ぼす人権への負の影響と対応)について検討を行った。

イ 物品やサービスの調達プロセスにおける持続可能性への配慮を図るため、持続可能性に関する基準や担保方法を定めた調達コードを運用する。

2月21日に開催した第10回持続可能な調達ワーキンググループにおける「能登半島地震の復興への配慮や協会の人権方針との関連について記載すべき」との委員意見を受け、それらを反映した改定案について同ワーキンググループ及び持続可能性有識者委員会の委員に意見聴取を行い、5月22日に「持続可能性に配慮した調達コード(第3版)」を策定、公表した。

これまで調達コードに関する通報受付対応(グリーンバンス・メカニズム)については、大阪・関西万博総合コンタクトセンターを窓口として受け付けることとしていたが、7月3日に専用の通報受付窓口を新たに開設し、プレスリリースを行った。

#### (9) 万博 ICT システム及び万博通信インフラの整備

ア 万博 ICT-PF システムを安定的に運用する。また、データ利活用に向けて機能強化を行う。

チケット販売の促進策の一環として、7月24日に、電子チケット購入に係るシステ

ム改善（本人確認の仕組みの簡素化）を実施した。

イ 会場内の情報通信インフラ構築を完了し、会期に向けて会場内ネットワークおよびデータセンターの保守運用を円滑に実施する。

光ケーブルのパビリオン引き込み時期について、民間パビリオンとの調整を実施した。

また、データ利活用に関する7システムにつきネットワーク接続(閉域)を実施した。

ウ 会場内での無線機利用に必要な手続き等を規定する万博会場内無線機利用にかかるガイドライン（運用編）を策定し、会場内の電波利用環境保護のための体制を確立する。

4月24日に会場内無線設備の管理及び周波数利用管理等業務について、事業者と契約を締結した。

5月27日に公式参加国に対して特別規則第10号に基づき「万博会場内無線機利用に係るガイドライン(運用編)」を発出し、IPM 2024 Summer 等で周知した。

#### (10) 万博におけるサイバーセキュリティ対策

ア 会期中の各システムの安定運用に向けたサイバーセキュリティオペレーション体制の構築および協会内外との連携強化を実施する。

情報セキュリティの運用及び管理を委託事業者とともに実施した。

#### (11) データ利活用に向けた取り組み

ア 2023年度に制定したデータ利活用ガイドラインに基づき、出展者等からの申請受付、データ連携基盤との接続を進める。

順次、出展者からのデータ利活用申請受付及びデータ連携基盤と各種システムへの接続を実施した。

#### (12) 来場者サービス・会場管理の具体化

ア 来場者サービスやサービス施設、サービス提供体制の検討・実施

来場者サービス実施計画を策定するため、会場サービス計画、ユニバーサルサービス計画、情報提供サービス計画、会場運営体制計画についての要件を整理し、6月28日に委託事業者より計画書を受領した。

来場者サービス実施運営のため、4月13日から6月30日まで EXPO サービスクルー（仮称）の募集を実施した。その結果、募集人数600人強に対し、16,828名の応募があった。7月から二次選考を進め、採用活動を実施した。

会場サービス計画の要件を整理し、案内所等の各サービス施設の運用について検討した。

#### イ 情報提供サービスの検討・実施

4月より情報提供サービス計画について要件を整理し、調整を行った。

5月から6月の間、会場内デジタルサイネージのプロポーザル選定委員会を行い、7月1日に TOPPAN 株式会社と契約を締結するとともに、基礎工事について整備局と調整を行った。また、7月に基礎システム要件定義を進め、8月までに筐体デザインの調整を行った。

さらに、5月から7月にゲート前後・バックヤードサインについて、TOPPAN 株式会社と7月24日に契約を締結し、7月から8月にかけて、サイン表示面について関係部局と調整した。

#### ウ ユニバーサルサービスの検討・実施

5月からユニバーサル関連マップ「ユニバーサルマップ」「センサリーマップ」「触知図」についての検討を行った。

また、ユニバーサルマップ及びセンサリーマップについては、協会HPなどでの事前のデータ掲載、及び現地でのプリントアウトにて配布を検討しており、触知図については、各団体などへの寄贈を想定した事前閲覧、及び視覚障がい者などに向けた事前閲覧に関し、情報発信の方法や必要性を検討した。

#### エ ボランティアの募集・運営

1月26日から4月30日までボランティアの募集を実施した。

その結果、募集人数約1万人に対し、34,190人の応募があったこと等を踏まえ、登録人数を14,000人とし、抽選の上、6月28日から順次、面談を実施した。

なお、大阪府・大阪市が運営し、博覧会協会と連携しながら募集広報等を実施した大阪まちボランティアについては、同じく募集人数約1万人に対し、21,444人の応募があり、登録人数を16,000人とした。

#### オ ペット同伴の検討

6月27日に、ペット同伴来場実施に関して理事会へ議案提出したが、決議持越しとなった。

#### カ アクレディテーションの検討・実施

5月27日「関係者入場証(AD証)ガイドライン」を関係者向けに発出するとともに、博覧会協会職員及び関係者向けの説明会を随時開催し、AD証の申請手続き等について、周知を開始した。

また、10月(予定)の「AD証登録システム」のリリースに向けて、詳細なシステム設計・各種テストを実施するとともに、AD証の受渡しを行う「メインADセンター」の

レイアウト工事、什器搬入等の開設準備を実施した。

#### キ 清掃・廃棄物処理等、会場管理の検討・実施

4月から、会期中の適正かつ円滑な運営に向けて廃棄物管理業務委託業者及び清掃業務委託業者と各業務の実施計画の検討を開始した。

#### ク 営業施設の配置や事業収支の検討・実施、事業者の募集

6月3日から7月2日まで順次、営業参加一次公募で決定した事業者7者と参加契約を締結した。また、5月24日に二次公募の営業参加候補者を決定し、出店に向けて協議を開始した。さらに、6月28日に「大規模小売店舗立地法」に基づいた大阪市への届出を行い、8月19日に住民向け説明会を実施した。

#### ケ 場内輸送の検討・実施

会場内・外周バス事業について、協賛者（関西電力株式会社・大阪市高速電気軌道株式会社・株式会社ダイヘン・株式会社大林組）と協賛契約書締結に向け、継続協議を実施した。

また、来場者向けパーソナルモビリティについて、機体メーカーと協賛に向け継続協議を実施するとともに、万博会場内での同機体の運用について検討を実施した。

さらに、関係者モビリティについて、4月10日に株式会社たまゆら、4月26日に株式会社アキボウ、6月18日にGarage Bosco 合同会社と協賛契約書を締結した。

#### コ 物流に関する検討・実施

車両入場に関するガイドラインの発出に向けた調整を進めた。

また、貨物の取扱いに関するガイドラインについて、5月22日に倉庫料金表を追補版として発出した。

さらに、協会が運営する倉庫について、7月から日本港運協会等との事前協議を開始した。

### (13) 危機管理体制の構築・実施

#### ア 会場警備対策

4月以降、協会警備隊を委託した事業者と毎週定例会議を開催し、具体的な警備要領について検討を重ね、7月1日より、協会警備隊による会期前I期警備を開始した。

また、来場者ゲートのセキュリティ機器のほか、警備資器材等の調達を進めた。

さらに、7月31日には第6回警備分科会を、8月27日には、第7回安全対策協議会を開催し、警備実施計画等について協議した。

## イ 災害対策

7月26日に、第6回防災分科会を、8月27日に第7回安全対策協議会を開催し、防災実施計画等について協議するとともに、博覧会の閉場基準や要配慮者対応について、協会の取り組み状況を説明した。

また、備蓄品や一時滞在施設を確保するために、府市等関係機関と協議、調整を進めた。

## ウ 医療救護対策

5月14日・8月6日に、第4回・第5回運営検討分科会を開催し、医療救護対策実施計画及び医療救護マニュアル等について協議した。

また、医療人材の確保策や医療救護施設の運営方法について、協議会の構成員・関係機関等との意見交換を継続的に実施しながら、適正な医療救護体制構築に向けた調整を行った。

## エ 会場衛生対策

会場衛生実施計画及び衛生及び保健にかかるガイドライン（追補版）の策定に向けた準備を進めた。

また、6月4日に、風しんの追加的対策について、協会内の対象職員（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性）に対して周知を行った。

## オ 事業リスク対策

一般規則及び特別規則に基づき、協会が加入しなければならない強制保険契約について5月9日から公募を開始した。

なお、公平・公正かつ適法な選定とするため、選定委員4名による選定委員会を設置し、6月17日に最優秀事業者等を決定・公表し、7月から協会および各参加者の保険加入手続や事故発生時の対応手順等について、引受保険会社・取扱代理店との協議を開始した。

## (14) 迎賓・接遇体制の構築・実施

### ア 賓客接遇の検討

2023年度に策定した賓客接遇基本計画に続き、10月を目途に賓客接遇実施計画（案）を策定するため、協会内並びに国・府市関係機関との連携、調整を実施した。

また、賓客接遇業務の委託事業者と5月23日に契約を締結した。

### イ 迎賓館運営

国内外の賓客を接遇する迎賓館運営業務の委託事業者を6月28日に公募し、8月9

日に事業者を決定した。

#### ウ 日本館との連携

4月から日本館業務のさらなる連携強化のため、協会と国及び委託事業者で構成する定例会議を隔週で開催した。

#### エ 賓客の警護体制

10月を目途に賓客接遇実施計画(案)を策定するため、大阪府警との調整を実施した。

また、海外からの首脳クラスの賓客対応として、6月25日から26日に開催したIPM 2024 Summerにて、各国に現在の進捗状況などを説明した。

### (15) 机上リハーサル/テストランの実施

#### ア 机上リハーサルの実施

平時の来場者の動きを想定したものを8月7日に、スタッフの動きの想定を8月21日にそれぞれ実施した。

#### イ テストランの実施に係る計画の策定

公式参加者に対し、テストランを2025年4月4日～6日に実施することをIPM 2024 Summerで報告した。

また、テストラン運営補助等業務委託の企画提案について7月24日から公募を開始した。

### (16) 公式記録作成への取組

#### ア 公式記録(書籍・映像)基本方針の策定

協会内での業務記録を各部局より収集し、その保管を6月から開始した。

#### イ 公式撮影業務委託の準備・募集

主要なイベント、発表会、説明会等の公式映像、公式写真の撮影を行った。

#### ウ レガシーの記載

万博が何を残すのか(レガシー)について、2023年度に実施した有識者ヒアリングや関係者との議論を踏まえ、2025年日本国際博覧会の意義を世の中に伝えるため、会期後に公式記録に位置づけることを目標とし、項目整理の検討を行っている。

### (17) 会期後の財産処分のための体制整備

#### ア リユース・リサイクルのあり方検討

財産処分に係る経産省等との協議を継続実施するとともに、資産譲渡のルール作成、譲渡先決定プロセス検討、財産処分要綱制定準備を進めた。

また、リユースマッチングプラットフォーム構築・運営のための運営協賛企業との契約を順次締結し、7月19日にプレスリリースを行った。

さらに、リユースに係るシステム構築・資産評価・輸送保管等の検討・構築を進め、8月6日に施設等リユースのためのWEBサイトを開設した。

加えて、大屋根リング木材の構造材利用について、専門家を交えた検討会を実施するとともに、国土交通省とも協議を行い、6月28日に都道府県関係部局宛てにCLT等再利用に関する文書を発出いただいた。

そのほか、施設リユースに関し、協会関係部署との調整検討、IPM 2024 Summer や出展者会議でのパビリオンリユースを勧奨するとともに、需要家との面談を実施した。

## 2 博覧会の機運醸成と入場券販売拡大に向けた取組

### (1) 戦略的PRの実施

#### ア 機運醸成委員会の取組

第3回機運醸成委員会を4月4日に開催し、第1期PR重点期間(2023年10月～12月)の機運醸成活動を総括して、課題の抽出等を行うとともに、今後の広報・プロモーションの方針や主要な取組みを取りまとめた「機運醸成行動計画 ver.2」を策定した。

また、4月下旬に第2期PR重点期間(9月～11月)等における広報発信コンテンツ等の作成に向けて、公募プロポーザルを実施した。

#### イ 協会IP(ロゴマークやキャラクター等)を活用したライセンス事業の展開

会場外オフィシャルストア(9店舗、累計15店舗)、ポップアップストア(5カ所)を新規展開した。また、公式ライセンス商品の契約・製造・販売を促進した。

さらに、OMDコラボ商品の交渉・製造・販売等のライセンス事業展開を行った。

(参考)

[新規会場外オフィシャルストア関連]

※会場外オフィシャルポップアップストア(期間限定店舗)

4/12(福岡)「ジュンク堂書店福岡店」、4/13(大阪)「高島屋大阪店」「大阪南港ATC店」

4/20「心齋橋PARCO店」、4/26(札幌)「MARUZEN&ジュンク堂書店札幌店」

※4/4～8/28<大丸東京店>、※4/13～5/27<JR京都駅店>、※4/26～5/8<京都ポルタ店>

※5/3～5/8<ルクアイーレ店:by ベイクルーズ>、※5/22～6/4<アルデ新大阪店>

6/14(大阪)「ジュンク堂書店難波店」

7/12(沖縄)「ジュンク堂書店那覇店」、7/19(広島)「丸善広島店」、

7/27(兵庫)「ジュンク堂書店三ノ宮駅前店」

〔新規コラボ商品関連〕

- 4/12 毎日放送「らいよんちゃん」コラボ新発売
- 4/13 滋賀県「ひこにゃん&わるにゃんこ将軍」コラボ新発売
- 5/3 BAYCREW`S「JOURNALSTANDARD 等 10 ブランド」コラボ新発売
- 5/19 アメフト「関西学院大学 FIGHTERS」コラボ新発売
- 5/23 ミズノ「ミズノオープン」「ゴルフグッズ」コラボ新発売
- 6/17 熊本県「くまモン」コラボ商品展開 発表 (10/13 発売予定)
- 6/20 吉本興業「吉本新喜劇×ミヤクミヤク万博 PR」コラボ ミヤク声出し商品新発売
- 7/5 プロ野球「阪神タイガース」コラボ商品 新発売
- 7/12 サンリオ「キティほかサンリオキャラクターズ」コラボ商品 新発売
- 7/28 読売テレビ「シノビー」コラボ商品 新発売

ウ アンバサダー、スペシャルサポーターを活用した機運醸成活動の実施

開幕1年前イベントや IPM 2024 Summer の会場でアンバサダー（山中伸弥氏）からのメッセージを放映するとともに、アンバサダー全員に開幕1年前、開幕300日前のSNS投稿やリポストを依頼した。

また、スペシャルサポーターを拡充（NMB48、くまモン、伊原六花氏）し、開幕1年前イベント他協会主催イベント等に出演いただき、万博PRに協力いただいた。

エ 公式テーマソングの認知・利用拡大

使用申請は1,028件（7月16日現在）。楽譜の申し込みは295件（7月16日現在）。

オーケストラや合唱、ピアノ用やコード譜面を協会HPにて無償提供を開始し、盆踊りでの活用を推進した。

また、テーマソングおよび各種楽譜の活用周知のためのチラシを作成・配布した。

オ ラッピング車両などによる万博PRの拡大

4月13日の開幕1年前に合わせて、JR各社による新幹線、南海電鉄特急ラピートなど、新たな万博ラッピング列車が運行を開始した。

また、6月からJALの機体ラッピング2号機が国際線に就航した。

カ 万博教育旅行誘致に関し、国・自治体と連携を図りつつ、取り組む。

7月17日・22日、8月5日・6日の4日間、文部科学省の協力を得て、教育現場向けの説明会を内閣官房・経済産業省と共催にて実施した。

キ 観光関係団体・事業者等と連携した国内外でのプロモーション活動に取り組む。

7月30日に「万博を契機とした観光推進ネットワーク会議」本会議を実施した。

また、同会議の2つのワーキングについて、6月28日に「海外の統一的なプロモーション」、6月27日に「万博と連携した地域での取組の推進」を実施し、取組状況について共有するとともに、今後の方針、連携の取組案などの検討を行った。

## (2) 機運醸成のための各種プログラム、イベントの実施

### ア TEAM EXPO 2025 プログラムの推進

共創チャレンジや共創パートナーの登録者、「TEAM EXPO 2025」プログラムに関心のある方の交流を図るため、5月28日に第4回「TEAM EXPO 2025 MEETING」を大阪で開催した。

さらに、7月30日には関西以外では初めてとなる共創イベント「TEAM EXPO 2025 MEETING in TOKYO」を東京で開催した。「TEAM EXPO 2025」プログラムに参加する数多くの団体が参加し、大阪・関西万博への機運醸成と参加者同士の共創活動を行った。

「TEAM EXPO 2025」プログラムへの登録数

- ・共創パートナーが390団体（7月31日時点）
- ・共創チャレンジが1,995件（7月31日時点）

### イ 自治体等と連携した機運醸成活動の実施

全国知事会万博推進本部（5月17日、8月1日）や各ブロック知事会への出席、各県知事表敬訪問、経済団体、マスコミへの訪問、経済団体等での講演などの機会を活用し、機運醸成の取組への協力や地域における万博活用をよびかけた。7月26日には、万博首長連合の首長らの万博会場リング視察・勉強会・親睦会への対応を実施した。

### ウ 開幕1年前イベントなどの実施

開幕1年前の4月13日に「大阪・関西万博 開幕1年前イベント～ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。～」を東京で開催した。

併せて、関係者に各地で1年前関連イベントやSNS発信等を実施していただいた。

また、開幕半年前にあたる10月13日前後のイベントの実施に向けて6月26日から7月17日まで事業者を公募した。

### エ ジュニア EXPO2025 教育プログラムの推進等、教育機関と連携した若年層への啓発の促進

2023年度より約1か月早い4月22日に「ジュニア EXPO 2025 教育プログラム」の専用ホームページを開設し、日本国内の小・中学校やインターナショナルスクール、海外の在外教育施設からの募集を開始した。

また、昨年度と同様に、文部科学省の協力を得て、全国の都道府県教育委員会等に対

して同プログラムへの積極的な参加を促した。

### (3) 入場券・パビリオン予約に関する取組

#### ア 販売体制の構築・充実

販売事業者向けとしては、販売事業者契約を各旅行代理店等と締結し、販売体制の充実に努めた。

協会直販としては、主要経済団体および関西広域連合傘下の自治体と連携を取りながら、企業への購入依頼等の取組を進めた。

#### イ 販売戦略の遂行

4月30日に、前売チケット購入者対象くじ実施運営・PR業務に係る公募の最優秀提案事業者と契約を締結し、前売りチケット購入者に、抽選で豪華景品が当たるプレゼント企画を開始した。

#### ウ パビリオン予約制度内容の決定

パビリオン予約制度ガイドライン Ver1.0に「予約の管理、抽選申込の仕組み、予約制度への参加申込等」について書き加えた同ガイドライン Ver2.0を6月14日に発出した。

#### エ パビリオン出展関係者、公式参加者との調整

公式参加者に対し、5月16日、6月6日の国際ミーティング（オンライン）及び6月25日のIPM 2024 Summerにおいて、パビリオン予約制度の説明と予約制度に参画いただくよう要望を行った。

その他、個別に問い合わせがあった公式参加者や非公式参加者等とも都度打ち合わせを実施し、パビリオン予約制度への参画増への支援も行った。

### (4) 広報活動の実施

#### ア 各種メディアを活用した広報の実施

公式参加者コンセプト発表等を中心に国内外へ情報発信を行った。また、英語版プレスリリースによる発信を強化し、在日海外メディアへの情報提供を強化した。

(参考)

##### ・情報発信を実施した事業

開幕1年前イベント（4月13日）、ドローンショー（5月15日）、大屋根リングライトアップ取材会（5月16日）、IPM 2024 Summer（6月25、26日）、万博工事見学ツアー（6月30日）、ミャクポンダンス発表イベント（7月17日）

#### イ メディアセンター、サテライトスタジオ及び会場内放送設備の準備・開設

会期中のメディアによる情報発信に向けて、メディアセンター内のマスターコントロールルーム、インターネット回線、会場全体の中継用設備、光回線の敷設等においては公募を実施し、事業者を決定した。

また、ライブ情報カメラの整備、メディアセンター運営事業者の選定についても最優秀事業者を決定した。

さらに、テレビの中継などで使用するサテライトスタジオにおいては、利用候補者との契約手続きを進めた。

#### ウ 公式 Web サイト、公式 SNS 等での多言語展開による国内外への情報発信

公式 SNS では、公式キャラクターミャクミャクの活動や主要な広報発表、参加国のパビリオン、イベント告知、活動報告、各種動画の公開などの情報を投稿し、フォロワー数の増を図った。

開幕 1 年前のタイミングで「くるぞ、万博。1 Years to Go」のグラフィックを協会 WEB サイトに取り入れ、ステークホルダー・協会職員への SNS 投稿協力依頼、1 年前イベントの告知等、機運醸成に向けた発信を強化した。

公式 Web サイトでは、入場チケットの販売に寄与するために、「ミャクミャクぽん！」「超早割一日券」のランディングページを制作、また「WORK」カテゴリーを新設し、万博で働きたいと考えている方への情報を拡充する等の取り組みを実施した。

#### エ 海外広報・プロモーションの促進

① 海外イベントにおいて万博 PR を実施した。

また、②公式参加者と連携した国内開催の対外発信イベント“Dialogue Series: Expo 2025 - Empowering Youth”を実施した。

さらに、③国内開催の国際イベントにおいても万博の PR を実施した。

加えて、海外メディアツアーを IPM 2024 Summer のタイミングで併せて実施した（6 月 27 日、26 日 11 社）。

（参考）

① 5 月 2 日 フランス OECD 日仏観光イベント・6 月 5 日～8 日 上海カーボンニュートラル博覧会・7 月 1 日～14 日 フランス JAPAN EXPO・7 月 12 日～15 日 台湾タッチジャパン旅行博・7 月 17 日～23 日 香港ブックフェア。②4 月 13 日「グローバルトークイベント～SDGs について考えよう～」、5 月 31 日「万博教室 in 近畿大学」③6 月 7 日 日本トルコ協会総会・6 月 12 日 英国市場協議会総会・7 月 10 日日本アラブ経済フォーラム

### 3 公式参加者への対応と支援

(1) 公式参加者への対応

ア 万博の実施に向け、博覧会国際事務局（BIE）と連絡・調整を行う。

4月23日に博覧会国際事務局（BIE）の執行委員会、同26日に情報コミュニケーション委員会がフランス・パリにおいて開催され、6月18日には総会がオンラインで開催された。これらの会議において、協会は万博開催の準備状況に関するプレゼンテーションを行い、各国・地域に対して準備の加速を呼びかけた（執行委員会は櫛副事務総長、総会は石毛事務総長が発表）。

また、4月、6月及び8月のBIEケルケンツェス事務局長の訪日機会を活用し、同氏と十倉会長、石毛事務総長等との間で意見交換を行った。

イ 昨年度に引き続き International Participants Meeting(国際参加者会議)を開催し、最新情報の提供や質疑応答を通じ、公式参加者の理解促進、出展準備の加速を図る。

6月25日・26日に奈良県コンベンションセンターにおいて「国際参加者会議 2024年夏（IPM 2024 Summer）」を開催した。

本会議には約160か国・地域、国際機関の国際博覧会責任者が出席し、万博準備の重点が建築から運営にシフトする中で、公式参加者がパビリオンをいかに運営していくかといった具体的な情報共有や意見交換のためのセッションが行われた。

あわせて、出展タイプに応じた分科会も開催し、内装展示や運営等に関するより実践的なガイダンスを提供した。

また、公式参加者に独自のテーマウィークプログラム等を積極的に企画・実施してもらうためのヒントとなることを目的に、特別セッションも実施した。

ウ 公式参加者宿舎の申込受付・決定、宿舎管理・運営に係る準備を行い、2025年3月[一部2024年12月]からの円滑な宿舎入居を支援する。

3月末に発出した公式参加者宿舎ガイドラインに基づき、同宿舎への申込を4月22日から5月17日まで受け付けた。5月末に割当結果を通知し、同結果の受領確認を経て、7月末に契約書を発送した。

また、締め切り後も引き続き申込を受け付けるとともに、7月には宿舎の入居資格を拡大し、8月末までに拡大分を含む割当結果を通知した。

エ 公式参加者支援のためのワンストップショップ（OSS）のさらなる機能強化を図るとともに、2025年1月にはOSSセンターを夢洲会場内に設け、公式参加者に寄り添った形での運営支援を実施する。

4月のケルケンツェス事務局長来日時に、OSSの機能と体制の拡充要請あり。これを受けて、分野ごとの機能を整理したうえで、関係機関等へ協力を要請し、建築、レストラン営業、物流等26分野に関する相談を公式参加者から一元的に受け付け、申請手

続き等をサポートする体制を構築した。

6月18日、BIE総会にて石毛総長から上記体制によるOSSの開設を公式アナウンスするとともに、同日、OSSガイドブックをリリース。6月24日、咲州庁舎47階にOSSをオープン。IPM 2024 Summer 前後の6月24日、27日、28日にOSSで個別相談会を開催し、計1,784件の相談対応を行った。

## (2) 途上国支援プログラムの準備・実施

ア 政府と予算協議を行いつつ、政府の委託等で関連事業を実施する機関（JICA等）とも連携し、支援内容の具体的プログラムの企画・調整を進め、公式参加者に対し情報提供を行う。また、途上国支援プログラムの対象となる公式参加者パビリオン等の展示内装工事や運営の準備作業を担う事業者を選定し、支援事業を実施する。

2月に発出した途上国支援プログラムに関するガイドブックに基づき、公式参加者（途上国）から各支援項目に関する申請フォームを受理し、支援に向けた準備を行った。

支援を実施する受託事業者（途上国支援対象タイプC共同館の展示内外装施工及び運営準備業務、途上国支援対象国のPR施策業務、途上国支援対象国出展館の展示施工等業務）を提案公募で選定し、具体的な支援業務に着手した。

また、IPM 2024 Summerに参加する途上国に対する招聘事業を実施した。

## (3) 展示・内装工事支援

ア 公式参加者パビリオンの展示・内装工事がスムーズに行われるよう支援する。

公式参加者と展示内装事業者との円滑な契約促進の支援を目的にした展示内装プロジェクトチームの活動を昨年度より継続。入札参加や関心表明につなげる取り組みとして、公式参加者から展示内装サプライヤーへのオンライン情報提供会を5月23日、6月18日に実施した。

また、6月27日にはIPM 2024 Summerでの来日期間をとらえて、公式参加者と展示内装サプライヤーとの個別相談会を33件実施した。

さらに、並行して、展示内装サプライヤー向け説明会を4月25日、5月31日に開催し、パビリオン展示の概況や会場の整備状況などの情報を提供した。

加えて、途上国支援を実施する受託事業者（途上国支援対象共同館の展示内外装施工業務、途上国支援対象国出展館の展示施工等業務）を提案公募で選定し、具体的な支援業務に着手した。

## 4 事務局体制の整備・強化と財政基盤の確立

### (1) 事務局体制の整備・強化

ア 効率的・効果的な事務局体制の整備・強化、国・経済界・自治体などからの業務に応じた専門人材の確保等

国・経済界・自治体等に対して専門人材等の派遣要請を行った結果、4月1日時点で769名体制、8月31日時点で804名体制に増員し、事務局体制の強化を行った。人員の配置については、万博の会期も見据えた効果的・効率的な配置を検討した。

#### イ 会期中運営体制の構築

万博会期中184日間、開場時間中の運営を維持する体制として、部、課を廃止、局長レベルで責任をもって判断する体制への移行を目指すことを理事会にて報告した。

具体的には「局長」と同等権限をもつ「局長代行」を配置し、2交代制勤務への対応を可能とする。組織をフラット化し、迅速な対応が可能な体制とする。

#### ウ コンプライアンスの強化及び徹底

4月26日にコンプライアンス委員会を開催し、協会内のコンプライアンスの徹底を確認した。

また、コンプライアンスの「理解の定着・深化」→「実施・検証」→「改善」のサイクルを回し、協会職員に一層の理解を求めため、以下の取組を進めた。

- ・4月16日にコンプライアンス通信第4号（職員の責務等について）を発行した。
- ・8月5日にコンプライアンス通信第5号（夏季のコンプライアンス上の注意事項について）を発行した。
- ・4月30日にコンプライアンスの手引きを発行した。
- ・7月23日に文書管理の手引きを発行した。
- ・5月20日にコンプライアンス研修①（みなし公務員）を実施した。
- ・5月31日にコンプライアンス研修②（情報の取り扱い）を実施した。
- ・6月17日にコンプライアンス研修③（利害関係者）を実施した。
- ・6月24日にコンプライアンス研修④（入札談合防止）を実施した。
- ・7月11日にコンプライアンス研修⑤（契約事務の留意事項）を実施した。
- ・7月29日にコンプライアンス研修⑥（暴排）を実施した。
- ・8月5日にコンプライアンス研修⑦（コンプライアンス違反を起こさないために）を実施した。

さらに、より深い習熟を希望した国際局に対し、5月24日に同局向けのコンプライアンス研修を行った。

#### (2) 財政計画の策定と予算の効率化・効果的な執行

##### ア 博覧会基本計画に沿った資金の調達

##### イ 予算執行段階における事業実施方法の検証、コスト削減

万博の準備のため、入場券売上等を原資に実施する運営費事業に関し、協会役員を構成員とする運営費執行管理会議をこれまでに3回開催した（第一回3月5日、第二回5

月1日、第三回8月8日)。

さらに経済産業省において設置された2025年大阪・関西万博予算執行監視委員会において博覧会協会における予算執行管理について引き続き説明を行った(第三回5月27日、第四回7月29日)。

そのほか、調達プロセスのチェック体制を強化し、最適な調達手法の選択等、効率的かつ効果的な調達を行う環境を整備し、企業協賛や各種補助金等、新たな収入確保策にも取り組んだ。

#### ウ 収納債権管理体制の構築

5月22日に収納・債権管理業務に係る業務委託先を競争入札により選定し、業務体制構築に向けて受託者と協力して準備を進めた。

また、5月21日に、ユーティリティ(電気、上下水、冷水)の供給約款を制定するとともに、ユーティリティ使用開始に必要な手続等については、協会内及び公式・非公式参加者への周知・説明等を順次実施した。

### (3) 財政基盤強化に向けた具体的な資金調達

#### ア 寄附金の募集・拡充に向けた取り組み

寄附を検討している企業、個人等に対し寄附の依頼を継続して実施した。

#### イ 補助金等各種資金の活用

大阪・関西万博協賛競輪を17開催(川崎競輪場、高知競輪場、西武園競輪場、いわき平競輪場、武雄競輪場、前橋競輪場、奈良競輪場、函館競輪場、岸和田競輪場、久留米競輪場、取手競輪場、小松島競輪場、福井競輪場、松戸競輪場、平塚競輪場、小田原競輪場、富山競輪場)いただき、機運醸成にご協力いただいた。

## 5 社員総会・理事会の開催

### (1) 理事会(2024年4月1日)

開催方法: 決議省略の方法による

#### 審議事項

- ・ 理事選任・報酬額の決定について、臨時社員総会を開催することなく書面決議の方法により付議する件
- ・ 副事務総長・業務執行理事の選定の件
- ・ 副事務総長の職務権限規程の改定の件
- ・ 会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件

#### 出席等

提案書に対し、理事34名全員の書面による同意及び監事2名全員の書面によ

る確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(2) 社員総会（2024年4月1日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・ 理事1名選任の件
- ・ 副事務総長（東川 直正）の報酬額の決定の件

出席等

提案書に対し、社員11名全員の書面による同意の意思表示を得た日をもって、社員総会の決議があったものとみなされた。

(3) 理事会（2024年6月5日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・ 2023年度決算に係る計算書類等の承認の件
- ・ 定時社員総会の開催に関する件

出席等

提案書に対し、理事33名全員の書面による同意及び監事2名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(4) 社員総会（2024年6月27日）

開催方法：NCB会館「松の間」を開催場所として、Web会議システム（利用サービス名：Zoom）の併用による会議

審議事項

- ・ 理事の選任の件
- ・ 2023年度決算に係る計算書類の承認の件

報告事項

- ・ 2023年度の事業報告の件
- ・ 2024年度の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の報告の件

出席等

議決権行使書面提出者（書面表決者）4名、Web表決者名1名、出席者6名の社員11名全員

(5) 理事会（2024年6月27日）

開催方法：NCB会館「松の間」を開催場所として、Web会議システム（利用サ

ービス名：Zoom) の併用による会議

審議事項

- ・副会長及び業務執行理事・副事務総長の選定の件
- ・会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件
- ・事業報告等に係る提出書類の提出承認の件
- ・会計監査人の報酬額決定の件
- ・2025年度電気調達の件
- ・2025年日本国際博覧会 ペット同伴来場実施の件
- ・舞洲会場外（パーク&ライド）駐車場シャトルバス運行業務委託の変更の件
- ・会場整備にかかる工事等の変更の件
- ・タイプX・空地の活用の件
- ・チケット販売の促進策の件

報告事項

- ・運営費及び会場建設費の執行状況の件
- ・会期中組織の件
- ・2023年度寄附金受領の件
- ・大阪・関西万博の機運醸成に関する件
- ・「公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 人権方針」策定の件
- ・イベントの現状の件
- ・博覧会会場内の交通の件
- ・災害対策の検討状況の件
- ・万博P&R利用料金の件
- ・夢洲北岸浮棧橋の利用料の件
- ・褒賞制度に関する特別規則第14号制定の件
- ・海外パビリオンの状況の件
- ・大屋根リングのリユースの実施の件

出席等

理事現在数	34名	定足数	18名	出席理事数	25名
監事現在数	2名	出席監事数	2名		

(6) 理事会（2024年6月28日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 事務局組織規程の一部改定の件
- ・副事務総長の職務権限規程の改定の件

出席等

提案書に対し、理事34名全員の書面による同意及び監事2名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

## 6 役員就退任

- ・ 2024年 4月 1日 理事及び副事務総長就任（東川 直正氏）
- ・ 2024年 5月 16日 理事及び副会長退任（角元 敬治氏）
- ・ 2024年 6月 27日 理事及び副会長就任（宮部 義幸氏）

## 7 事務局体制

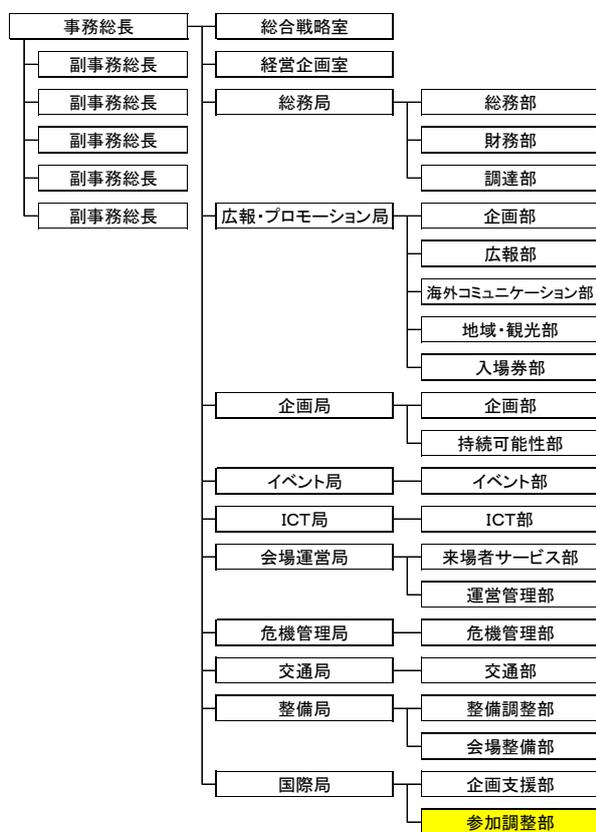
### (1) 職員数の推移

- ・ 2024年4月 1日 職員769名に増員
- ・ 2024年8月31日 職員804名に増員

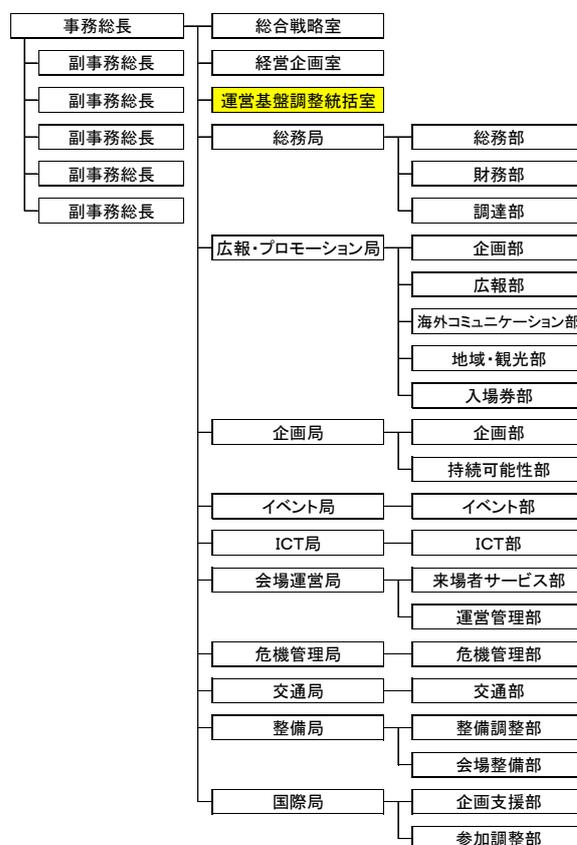
### (2) 事務局組織の変遷

- ・ 2024年4月1日 国際部を企画支援部と参加調整部の2部に分割
- ・ 2024年7月1日 運営基盤調整統括室を新設

【4月1日時点組織図】



【8月31日時点組織図】



## 8 主な契約案件

- (1) 令和5年度補正大阪・関西万博安全確保事業(変更契約)

- ・ 契約の相手方 経済産業省
- ・ 契約金額 19,908,907,999円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 2,501,035,193円(税込)
- ・ 契約日 2024年3月26日
- ・ 契約期間 2024年1月22日～2026年1月30日

(2) 令和5年度補正大阪・関西万博政府開催準備事業(途上国出展支援事業)

- ・ 契約の相手方 経済産業省
- ・ 契約金額 6,596,126,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年3月27日
- ・ 契約期間 2024年3月27日～2025年3月31日

(3) 令和5年度補正大阪・関西万博日本政府出展事業

- ・ 契約の相手方 経済産業省
- ・ 契約金額 7,947,897,410円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(4) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業(PW 北東工区) A48 パビリオン(建設工事)

- ・ 契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA 共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
- ・ 契約金額 414,810,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2024年10月31日

(5) 2025年日本国際博覧会万博会場交通ターミナル・駐車場等運営監視システムサービス提供業務

- ・ 契約の相手方 アイテック阪急阪神株式会社
- ・ 契約金額 508,263,800円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年12月31日

(6) 舞洲万博 P&R 駐車場用地(A)の土地転貸借契約

- ・ 契約の相手方 美津濃株式会社
- ・ 契約金額 233,212,379円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2026年3月31日

(7) 万博専用アクセスルートとして活用する建設中の淀川左岸線(2期)区間の整備に関する基本協定書

- ・ 契約の相手方 大阪市建設局長
- ・ 契約金額 2,900,000,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～本整備の清算手続きが完了する日まで

(8) 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 ESMS 構築支援業務(その4)

- ・ 契約の相手方 EY 新日本監査法人
- ・ 契約金額 110,000,000円(税込)

- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年4月30日

(9) テーマ事業「いのちを育む」総合監理業務（河森P）2024年度

- ・ 契約の相手方 株式会社 Vector Vision
- ・ 契約金額 386,267,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(10) テーマ事業「いのちをつむぐ」総合監理業務（小山P）2024年度

- ・ 契約の相手方 株式会社 オレンジ・アンド・パートナーズ
- ・ 契約金額 121,540,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(11) テーマ事業「いのちを拓げる」総合監理業務（石黒P）2024年度

- ・ 契約の相手方 石黒 浩
- ・ 契約金額 448,976,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(12) テーマ事業「いのちを高める」総合監理業務（中島P）2024年度

- ・ 契約の相手方 株式会社 steAm
- ・ 契約金額 201,096,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(13) テーマ事業「いのちを響き合わせる」総合監理業務（宮田P）2024年度

- ・ 契約の相手方 一般社団法人 better Co-being
- ・ 契約金額 267,484,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(14) 令和6年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」広報・催事・バーチャルパビリオン企画制作等業務

- ・ 契約の相手方 大日本印刷株式会社
- ・ 契約金額 612,533,567円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(15) 令和6年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」コミュニケーション企画制作等業務

- ・ 契約の相手方 株式会社日本デザインセンター
- ・ 契約金額 147,180,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(16) 令和6年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」施設整備事業（バイオガス発電

プラント設計・施工等

- ・ 契約の相手方 日立造船株式会社
- ・ 契約金額 324,799,200円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(17) 令和6年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」展示実施設計・運営実施計画等業務

- ・ 契約の相手方 日本館展示等コンソーシアム
- ・ 契約金額 6,005,288,916円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(18) 令和6年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」建築設計と一体的に行う建築展示支援・調整等業務

- ・ 契約の相手方 株式会社日建設計大阪オフィス
- ・ 契約金額 162,162,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(19) Webサイトの制作・運用及びシステム構築・保守業務(概算契約)

- ・ 契約の相手方 株式会社電通
- ・ 契約金額 199,507,018円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(20) テーマ事業「いのちを磨く」総合監理業務(落合P)2024年度

- ・ 契約の相手方 一般社団法人計算機と自然
- ・ 契約金額 834,675,600円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月4日
- ・ 契約期間 2024年4月4日～2025年3月31日

(21) 2025年日本国際博覧会万博ICT-PFサービス提供業務委託(変更契約)

- ・ 契約の相手方 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
- ・ 契約金額 3,182,012,421円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 354,354,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月4日
- ・ 契約期間 2022年11月22日～2025年12月31日

(22) 会場全体ランドスケープ等意図伝達業務(基本設計その4)

- ・ 契約の相手方 日建設計大阪オフィス
- ・ 契約金額 164,406,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月9日
- ・ 契約期間 2024年4月9日～2025年3月22日

(23) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 テーマ館「いのちを響き合わせる」宮田P(建設工事)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大林組・総合設備コンサルタントグループ

- ・ 契約金額 1, 596, 620, 886円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 125, 308, 030円 (税込)
- ・ 契約日 2024年4月10日
- ・ 契約期間 2023年11月30日～2024年10月31日

(24) 2025年日本国際博覧会 プロジェクトマネジメント支援業務 (その5)

- ・ 契約の相手方 山下 PMC・阪急コンストラクション・マネジメント株式会社共同企業体
- ・ 契約金額 429, 110, 000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年4月10日
- ・ 契約期間 2024年4月10日～2025年3月21日

(25) 2025年日本国際博覧会万博交通情報システム検討及びサービス提供業務 (システム開発・改修) (変更契約)

- ・ 契約の相手方 株式会社日立製作所 関西支社
- ・ 契約金額 919, 573, 600円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 259, 160, 000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年4月12日
- ・ 契約期間 2023年10月20日～2025年12月31日

(26) 2025年日本国際博覧会万博交通情報システム検討及びサービス提供業務 (経常型) (変更契約)

- ・ 契約の相手方 株式会社日立製作所 関西支社
- ・ 契約金額 233, 508, 000円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 158, 367, 000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年4月12日
- ・ 契約期間 2023年10月20日～2025年12月31日

(27) 2025年日本国際博覧会 未来社会ショーケース事業 フューチャーライフ万博「未来の都市」運営及び広報・プロモーション業務

- ・ 契約の相手方 未来の都市推進共同企業体
- ・ 契約金額 950, 038, 760円 (税込)
- ・ 契約日 2024年4月16日
- ・ 契約期間 2024年4月16日～2025年11月28日

(28) 2025年日本国際博覧会施設整備事業 (PW西工区) A 23 パビリオン (建設工事)

- ・ 契約の相手方 竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体・株式会社昭和設計
- ・ 契約金額 510, 070, 000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年4月19日
- ・ 契約期間 2024年4月19日～2024年12月31日

(29) 2025年日本国際博覧会 無線利用調整業務 (その2)

- ・ 契約の相手方 株式会社NHK テクノロジーズ
- ・ 契約金額 241, 450, 000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年4月24日
- ・ 契約期間 2024年4月24日～2025年10月31日

(30) 2025年日本国際博覧会 夢洲地区会場外清掃委託業務

- ・ 契約の相手方 2025年日本国際博覧会 夢洲地区会場外清掃共同企業体

- ・ 契約金額 129,547,000円 (税込)
  - ・ 契約日 2024年4月25日
  - ・ 契約期間 2024年4月25日～2025年11月30日
- (31) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 GW工区 (建設工事) (変更契約)
- ・ 契約の相手方 鹿島建設・飛鳥建設共同企業体
  - ・ 契約金額 13,391,859,414円 (税込)
  - ・ 変更金額 (増額) 461,977,090円 (税込)
  - ・ 契約日 2024年4月30日
  - ・ 契約期間 2023年7月31日～2025年2月28日
- (32) 2025年日本国際博覧会前売チケット購入者対象くじ実施運営・PR業務委託
- ・ 契約の相手方 Jコミ・NTA共同企業体
  - ・ 契約金額 109,860,000円 (税込)
  - ・ 契約日 2024年4月30日
  - ・ 契約期間 2024年4月30日～2024年12月31日
- (33) 夢洲障がい者用駐車場用地の一時使用土地転貸借契約
- ・ 契約の相手方 株式会社大林組
  - ・ 契約金額 106,519,850円 (税込)
  - ・ 契約日 2024年4月30日
  - ・ 契約期間 2024年4月30日～2025年3月31日
- (34) 2025年日本国際博覧会 医療救護施設運営業務
- ・ 契約の相手方 株式会社メディカル・コンシェルジュ
  - ・ 契約金額 211,336,678円 (税込)
  - ・ 契約日 2024年5月7日
  - ・ 契約期間 2024年5月7日～2026年1月23日
- (35) 2025年日本国際博覧会 EVバス充電器設置等業務その2 (充電器設備設置、高圧受変電設備設置及び配線等敷設)
- ・ 契約の相手方 スズカ電工株式会社
  - ・ 契約金額 304,022,400円 (税込)
  - ・ 契約日 2024年5月10日
  - ・ 契約期間 2024年5月10日～2026年3月31日
- (36) 「2025年日本国際博覧会 施設整備事業 (PW南東工区)」A17・B16パビリオン (建設工事)
- ・ 契約の相手方 清水・東急・村本・青木あすなろ共同企業体
  - ・ 契約金額 457,666,000円 (税込)
  - ・ 契約日 2024年5月13日
  - ・ 契約期間 2024年5月13日～2024年10月31日
- (37) 物品購買「屋外ファニチャーの購入 (概算契約)」
- ・ 契約の相手方 株式会社コトブキ
  - ・ 契約金額 438,570,000円 (税込)
  - ・ 契約日 2024年5月16日
  - ・ 契約期間 2024年5月16日～2025年2月28日

- (38) 2025年日本国際博覧会 スクリーニング機器賃貸借
- ・ 契約の相手方 総合警備保障株式会社
  - ・ 契約金額 810,700,000円(税込)
  - ・ 契約日 2024年5月20日
  - ・ 契約期間 2024年5月20日～2025年11月30日
- (39) 2025年日本国際博覧会 舞洲・桜島地区会場外清掃委託業務
- ・ 契約の相手方 株式会社FUDOcorporation
  - ・ 契約金額 264,000,000円(税込)
  - ・ 契約日 2024年5月24日
  - ・ 契約期間 2024年5月24日～2025年11月30日
- (40) 2025年日本国際博覧会施設整備事業 PW北東工区(工事請負)(変更契約)
- ・ 契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA 共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
  - ・ 契約金額 29,650,023,700円(税込)
  - ・ 変更金額(増額) 1,845,404,000円(税込)
  - ・ 契約日 2024年5月28日
  - ・ 契約期間 2023年4月21日～2025年2月28日
- (41) 2025年日本国際博覧会 舞洲地区会場外駐車場整備工事(その1)(変更契約)
- ・ 契約の相手方 前田道路株式会社
  - ・ 契約金額 1,362,471,000円(税込)
  - ・ 変更金額(増額) 390,871,800円(税込)
  - ・ 契約日 2024年5月29日
  - ・ 契約期間 2023年8月4日～2026年3月19日
- (42) 賓客接遇業務
- ・ 契約の相手方 2025年日本国際博覧会 賓客接遇業務 共同事業体(代表構成員:株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル)
  - ・ 契約金額 510,112,284円(税込)
  - ・ 契約日 2024年5月31日
  - ・ 契約期間 2024年5月31日～2025年10月31日
- (43) 2025年日本国際博覧会 会場施設等維持補修業務
- ・ 契約の相手方 2025年日本国際博覧会 会場施設等維持補修共同企業体
  - ・ 契約金額 1,166,989,120円(税込)
  - ・ 契約日 2024年6月5日
  - ・ 契約期間 2024年6月5日～2026年4月30日
- (44) 2025年日本国際博覧会施設整備事業 PW西工区(工事請負)(変更契約)
- ・ 契約の相手方 竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体・株式会社昭和設計
  - ・ 契約金額 28,405,179,000円(税込)
  - ・ 変更金額(増額) 1,060,400,000円(税込)
  - ・ 契約日 2024年6月7日
  - ・ 契約期間 2023年4月18日～2025年2月28日
- (45) 大阪・関西万博メディアセンター内マスターコントロールルーム(整備業務)

- ・ 契約の相手方 株式会社NHKテクノロジーズ
- ・ 契約金額 216,104,032円(税込)
- ・ 契約日 2024年6月7日
- ・ 契約期間 2024年6月7日～2026年1月30日

(46) 大阪・関西万博メディアセンター内マスターコントロールルーム実施計画策定及び運営業務

- ・ 契約の相手方 株式会社NHKテクノロジーズ
- ・ 契約金額 222,795,968円(税込)
- ・ 契約日 2024年6月7日
- ・ 契約期間 2024年6月7日～2026年1月30日

(47) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業(PW北東工区)A03(建設工事)

- ・ 契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA 共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
- ・ 契約金額 822,961,047円(税込)
- ・ 契約日 2024年6月12日
- ・ 契約期間 2024年6月12日～2025年1月31日

(48) 2025年日本国際博覧会 テーマウィーク全体運営事務局及びアジェンダ2025 主催プログラム実施業務

- ・ 契約の相手方 株式会社博報堂
- ・ 契約金額 676,082,660円(税込)
- ・ 契約日 2024年6月13日
- ・ 契約期間 2024年6月13日～2026年1月31日

(49) 2025年日本国際博覧会 廃棄物管理業務委託

- ・ 契約の相手方 日本通運株式会社
- ・ 契約金額 1,784,883,071円(税込)
- ・ 契約日 2024年6月14日
- ・ 契約期間 2024年6月14日～2025年10月31日

(50) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業(休憩所他)トイレ5工事(建設工事)

- ・ 契約の相手方 株式会社西村工務店
- ・ 契約金額 158,092,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年6月20日
- ・ 契約期間 2024年6月20日～2025年1月17日

(51) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 PW北東工区(工事請負)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA 共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
- ・ 契約金額 29,851,446,900円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 201,423,200円(税込)
- ・ 契約日 2024年6月27日
- ・ 契約期間 2023年4月21日～2025年2月28日

(52) 2024年度途上国支援対象タイプC共同館CC館(仮称)の展示内外装施工及び運営準備業務

- ・ 契約の相手方 途上国支援対象タイプC共同館CC館(仮称)共同事業体
- ・ 契約金額 1,053,800,000円(税込)

- ・ 契約日 2024年6月28日
- ・ 契約期間 2024年6月28日～2025年3月31日

(53) 2024年度途上国支援対象タイプC共同館CE館(仮称)の展示内外装施工及び運営準備業務

- ・ 契約の相手方 途上国支援対象タイプC共同館CE館(仮称)共同事業体
- ・ 契約金額 1,278,200,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年6月28日
- ・ 契約期間 2024年6月28日～2025年3月31日

(54) 2024年度途上国支援対象タイプC共同館CS-1館(仮称)の展示内外装施工及び運営準備業務

- ・ 契約の相手方 途上国支援対象タイプC共同館CS-1館(仮称)共同事業体
- ・ 契約金額 1,128,600,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年6月28日
- ・ 契約期間 2024年6月28日～2025年3月31日

(55) 2025年日本国際博覧会 夢洲第1交通ターミナル運行情報サイネージ等管理システムサービス提供業務(システム開発)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 東京センチュリー・パナソニックコネクト・WillSmart・都築電気コンソーシアム
- ・ 契約金額 656,965,124円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 175,690,471円(税込)
- ・ 契約日 2024年7月1日
- ・ 契約期間 2023年12月28日～2025年12月31日

(56) 2025年日本国際博覧会会場で使用するカーボンニュートラルガス調達業務(単価契約)

- ・ 契約の相手方 大阪瓦斯株式会社
- ・ 契約金額 168,096,470円(税込)
- ・ 契約日 2024年7月8日
- ・ 契約期間 2024年9月1日～2025年12月31日

(57) 2025年日本国際博覧会 夢洲地区交通ターミナル等整備工事(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大成ロテック(株)・昭和(株)グループ
- ・ 契約金額 2,716,087,000円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 225,137,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年7月16日
- ・ 契約期間 2023年8月3日～2026年3月19日

(58) 2025年日本国際博覧会 ゲート前後・バックヤードサイン制作・設置等業務

- ・ 契約の相手方 TOPPAN株式会社
- ・ 契約金額 207,900,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年7月19日
- ・ 契約期間 2024年7月19日～2025年11月30日

(59) 国旗等の製作及び運営業務

- ・ 契約の相手方 株式会社アテナ

- ・ 契約金額 134,060,289円 (税込)
- ・ 契約日 2024年7月25日
- ・ 契約期間 2024年7月25日～2025年10月17日

(60) OOH等による入場チケット広報・プロモーション業務 (2024年度) 契約

- ・ 契約の相手方 Jコミ・jeky・JTA 共同企業体
- ・ 契約金額 224,938,000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年7月26日
- ・ 契約期間 2024年7月26日～2025年3月31日

(61) 2025年日本国際博覧会 夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等  
建築物の賃貸借(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大和リース株式会社
- ・ 契約金額 1,855,370,000円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 386,870,000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年7月29日
- ・ 契約期間 2023年11月10日～2026年1月31日

(62) 2025年日本国際博覧会 大屋根リング屋上緑化維持管理等業務

- ・ 契約の相手方 大和リース株式会社
- ・ 契約金額 429,000,000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年7月29日
- ・ 契約期間 2024年7月29日～2025年11月28日

(63) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 PW南東工区 (工事請負) (変更契約)

- ・ 契約の相手方 清水・東急・村本・青木あすなる共同企業体
- ・ 契約金額 25,706,736,000円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 2,042,906,800円 (税込)
- ・ 契約日 2024年7月31日
- ・ 契約期間 2023年4月19日～2025年2月28日

(64) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業テーマ館「いのちを高める」中島 P (付属  
工事)

- ・ 契約の相手方 フジタ・デザインアーク特定建設共同企業体 (代表構成員: 株式会社フジタ大阪支店)
- ・ 契約金額 329,670,000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年7月31日
- ・ 契約期間 2024年8月1日～2025年2月28日

(65) 情報通信インフラ整備業務(基本契約) (変更契約)

- ・ 契約の相手方 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
- ・ 契約金額 2,951,534,905円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 242,787,479円 (税込)
- ・ 契約日 2024年7月31日
- ・ 契約期間 2023年2月2日～2026年3月31日

(66) 2025年日本国際博覧会施設整備事業サイン工事

- ・ 契約の相手方 株式会社ノムラアークス

- ・ 契約金額 362,721,344円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月1日
- ・ 契約期間 2024年8月1日～2025年4月10日

(67) 会場内 (①東エリア、北エリア及び南東エリア) 清掃業務

- ・ 契約の相手方 2025年日本国際博覧会 会場内清掃共同企業体
- ・ 契約金額 1,076,335,229円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月1日
- ・ 契約期間 2024年8月1日～2025年10月31日

(68) 会場内 (②西エリア及び南エリア) 清掃業務

- ・ 契約の相手方 2025年日本国際博覧会 会場内清掃共同企業体
- ・ 契約金額 808,074,237円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月1日
- ・ 契約期間 2024年8月1日～2025年10月31日

(69) 2025年日本国際博覧会 未来社会ショーケース事業 フューチャーライフ万博「未来の都市」共通展示等工事(展示等工事)

- ・ 契約の相手方 株式会社日展
- ・ 契約金額 556,789,200円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月6日
- ・ 契約期間 2024年8月6日～2025年12月31日

(70) 2025年日本国際博覧会 会場外駐車場周辺道路等改良工事

- ・ 契約の相手方 株式会社NIPPON関西支店
- ・ 契約金額 152,504,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月8日
- ・ 契約期間 2024年8月8日～2026年2月27日

(71) 2025年日本国際博覧会 サイバーセキュリティ運用業務

- ・ 契約の相手方 日本サイバーディフェンス株式会社
- ・ 契約金額 107,800,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月8日
- ・ 契約期間 2024年8月8日～2025年12月31日

(72) 2025年日本国際博覧会 タイプC共同館(国際機関共同館・CS2館)共用部等整備業務

- ・ 契約の相手方 博報堂プロダクツ・日展共同企業体(代表構成員:株式会社博報堂プロダクツ)
- ・ 契約金額 133,838,100円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月14日
- ・ 契約期間 2024年8月14日～2025年11月30日

(73) 途上国支援PR施策

- ・ 契約の相手方 途上国支援対象国のPR施策業務共同企業体
- ・ 契約金額 704,274,120円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月20日
- ・ 契約期間 2024年8月20日～2025年3月31日

- (74) 大阪・関西万博の入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務
- ・ 契約の相手方 大阪・関西万博の入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務 EXP02025 共同企業体（代表構成員：株式会社電通）
  - ・ 契約金額 1, 051, 600, 000円（税込）
  - ・ 契約日 2024年8月23日
  - ・ 契約期間 2024年8月23日～2025年10月31日
- (75) 2025年日本国際博覧会施設整備事業（PW 北東工区）A4 8パビリオン（建設工事）  
変更契約（1回目）（変更契約）
- ・ 契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA 共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
  - ・ 契約金額 606, 757, 803円（税込）
  - ・ 変更金額（増額） 191, 947, 803円（税込）
  - ・ 契約日 2024年8月26日
  - ・ 契約期間 2024年4月1日～2024年11月30日
- (76) 2025年日本国際博覧会 電気供給施設運用等委託業務（変更契約③）
- ・ 契約の相手方 関西電力送配電株式会社 株式会社きんでん 株式会社ダイヘン電力供給グループ
  - ・ 契約金額 8, 937, 858, 046円（税込）
  - ・ 契約金額 125, 973, 646円（税込）
  - ・ 契約日 2024年8月30日
  - ・ 契約期間 2022年9月7日～2026年12月31日

## 9 資金の確保

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| (1) 寄附金収入 | 2, 207, 838, 900円 |
| 1 一般寄附金   | 9, 260, 000円      |
| 2 特別寄附金   | 2, 198, 578, 900円 |
- ※現物寄附は除く

- |              |    |
|--------------|----|
| (2) 補助金収入※   | 0円 |
| 1 国庫補助金      | 0円 |
| 2 地方公共団体補助金等 | 0円 |

※国、大阪府、大阪市へ補助申請済み。補助金収入額は検査合格後に確定するため、8月31日時点では0円にて記載。

## 報告事項 3

大阪・関西万博の機運醸成に関する件

# 最近の取り組み状況

○今秋の広報・プロモーションの方向性（次回の機運醸成委員会を10月上旬に開催予定）

第2期PR重点期間(9月～11月)に向けて、10月13日からの来場日時予約開始と超早割1日券販売終了(10/6)・パビリオン・イベント特別抽選予約(申込期間9/25～10/6)までを機運醸成・販売促進の機会として捉え、新たなコンテンツを見せて、入場券販売の加速化につなげていく。

【8月】

- ・新たなパンフレットが完成し、広く配布開始(多言語版は、9月上旬から順次配布)
- ・電通Gと連携した本格的SNSチームが始動

【9月】

- ・パビリオンや催事などに関するプレスリリースが多数見込まれるため、順次、SNSやHPでタイムリーに発信
- ・あわせて、既に関心のある層に対し、超早割1日券(特典抽選予約あり)が販売終了間近であることを発信してチケット購入を後押し

【10月】

- ・10月上旬から、新キービジュアル・新キャッチコピーでのポスター・サインージ・デジタル広告・テレビCMなどで発信
- ・開幕半年前となる10月13日にあわせて各種イベントを開催  
東京では、主としてメディア向けのイベントを開催し、来場日時予約開始、パビリオン・イベントの紹介などを通じて、話題性を追求
- ・あわせて、10月から来年3月にかけて、各地でキャラバンを実施

○その他の機運醸成・入場券販売促進のための継続的な取組事例

- ・入場券販売の促進(6月～)・・・「ミyakミyakぽん！」の実施・・・【参考1】  
⇒前売チケット購入者を対象としたプレゼント企画「ミyakミyakぽん！」を実施(6月、8月、10月)。  
7月9日に第一回、9月3日に第二回抽選当選者に通知。7月17日からミyakミyakぽん！ダンス動画を公開
- ・オフィシャルストア及びコラボ商品の拡大・・・【参考2】  
⇒【オフィシャルストア:計18店舗】【公式ライセンス商品:計約1,000種類以上】【コラボ商品:計約150種類】
- ・スペシャルサポーターの拡充⇒くまモン 6/17就任 伊原六花 7/4就任(ミyakミyakぽん！ダンスに挑戦)

# ミyakumiyakuぽん！

参考 1

## 「ミyakumiyakuぽん！」

▽対象 万博IDを登録し、対象購入期間（2023年11月30日から2024年10月6日まで）に入場チケットを保有する全ての方

▽抽選スケジュール 2024年10月6日までに3回に分けて抽選を行い、当選者を決定。

第1回：2024年6月17日（月）までに入場チケットを購入した方

第2回：2024年8月6日（火）までに入場チケットを購入した方

第3回：2024年10月6日（日）までに入場チケットを購入した方

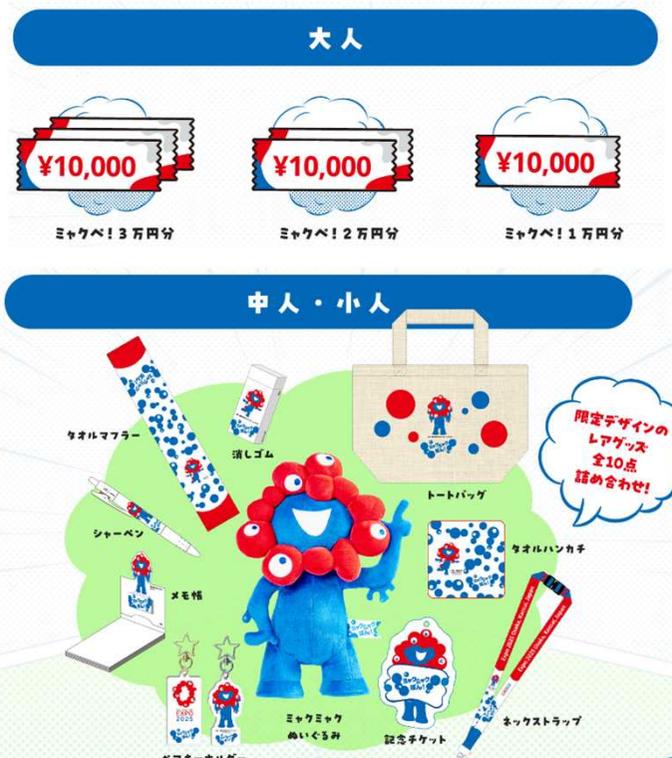
▽景品の内容 ※購入した入場チケットの年齢区分で景品の内容が変わる。

◆「大人」の入場チケットで当選

電子マネー「ミyakupe！」とNFT「ミyakun！」をプレゼント

◆「中人」「小人」の入場チケットで当選

「ミyakumiyakuぽん！」限定グッズ詰め合わせ（すべて非売品）をプレゼント



## 「ミyakumiyakuぽん！」のダンスを7月17日から公開

- ・ミyakumiyakuぽん！キャンペーンをさらに盛り上げる目的
- ・みんなで踊れる「ミyakumiyakuぽん！」のダンス動画を作成
- ・7月17日から協会公式YouTubeチャンネルで公開
- ・振付：日本を代表する振付師のakaneさん
- ・楽曲：ビートボクサー兼音楽プロデューサーとして活躍を広げるSO-SOさん



- オフィシャルストアは北海道から沖縄までの大手流通店舗や書店等で展開。
- オフィシャルストアを核に地域の機運を盛り上げ。大阪・関西万博の魅力や開催内容等を発信。
- コラボ商品や限定商品も含む多種多様な公式ライセンス商品を販売。

## 【オフィシャルストア】 計18店舗

(前回(6月)理事会以降の新規店舗情報)

- 大阪：ジュンク堂書店難波店(2024年6月22日オープン)
- 沖縄：ジュンク堂書店那覇店(2024年7月12日オープン)
- 広島：丸善広島店(2024年7月19日オープン)
- 兵庫：ジュンク堂書店三ノ宮駅前店(2024年7月27日オープン)
- 兵庫：大丸神戸店(2024年9月4日オープン)
- 東京：大丸東京店(2024年9月5日オープン)
- 愛知・名古屋エリア(2024年9月中旬ごろオープン予定)

## 【オフィシャルポップアップストア】

- 大阪：イオンモール大阪ドームシティ店(2024年8月6日～8月27日)
- 東京：ハンズ新宿店(2024年8月27日～9月27日)
- 名古屋：開設を調整中

※このほか期間限定のポップアップストアを全国各地で随時展開

## 【オフィシャルオンラインストア】

<https://expo2025shop.jp/> (2023年4月13日オープン)



## 【公式ライセンス商品】

計：約1,000種類以上の展開(色、サイズ展開含む)

例：ぬいぐるみ、アクリルスタンド、お菓子 など

## 【コラボ商品】

計：約150種類(色、サイズ展開含む)

例：阪神タイガース(7月5日発売)

キティほかサンリオキャラクターズ(7月12日発売)

読売テレビ「シノビー」(7月28日発売)

熊本県「くまモン」(秋ごろ発売で調整中)

その他、自治体のキャラクターコラボを調整中



## 報告事項 4

### イベントの現況の件

# イベントの現況について

## 報告事項① 一般参加催事の状況について

### ○ 2次募集について [2024年9月3日現在]

編成に余裕があるポップアップステージ、EXPOアリーナ「Matsuri」、フェスティバル・ステーション(仮称)について、5月31日から一般参加催事の第2次募集を開始。

[申込状況] (第1期分・第2期分)

本登録169件 (うち海外17件) (ポップアップステージ 91件、EXPOアリーナ「Matsuri」 25件、フェスティバル・ステーション(仮称)【体験型】 14件、【ステージ】 35件)

⇒ 選考委員による審査ののち、9月以降順次内定発出



\* 施設の空き状況がなくなり次第募集は終了になります。

### (参考) 1次募集の内定状況

- ・ 募集期間 2023年9月15日(金) ~ 2023年12月31日(日)
- ・ 応募総数 514件 (うち海外からの申込29件)
- ・ 内定通知 144件

# イベントの現況について

## 報告事項② 実施予定のイベント

### 1. 内定について

- ・催事を実施する場所、時期、期間を決める第二次催事カレンダー編成を実施し、2024年4月9日にイベント情報（第1弾）として102か国・地域、4国際機関のナショナルデー、スペシャルデー開催日を公表した。6月20日には第2弾として31か国のナショナルデーを、9月3日には第3弾として14か国のナショナルデーを追加公表した。
- ・公式参加者からの申込みを万博開催の半年前まで受け付けており、時期や期間などについて変更の可能性があるため、仮決定のものとして、各催事実施者に内定を通知。
- ・催事の内容については、各催事実施者から許諾を得た上、適宜発表。

### 2. 公式参加者（161か国・地域、9国際機関）の内定状況 【2024年9月3日時点】

- (1) ND/SD（ナショナルデー/スペシャルデー） **161者に内定**発出。
- (2) 公式参加者自主催事 **429件に内定**を発出。

### 3. 公式参加者以外の内定状況 【2024年9月3日時点】

- (1) シグネチャーイベント（テーマ事業プロデューサーが行う催事）…**15件に内定**。
- (2) 省庁連携催事（省庁が中心となって実施する催事）…38件の申込み、**38件に内定**。
- (3) 自治体参加催事（都道府県などが中心となって実施する催事）…45件の申込み、**45件に内定**。
- (4) 出展者参加催事（民間パビリオン出展者が実施する催事）…**10件に内定**。
- (5) 協会協力催事（協会より協力要請を受けた外部団体等が行う催事）
  - 在京、在版のメディアから44件（調整中も含む）の提案、**20件に内定**。
  - 会期前から機運醸成に携わっていた様々な事業者、各種団体から28件の提案、**20件に内定**。
  - コンテンツホルダーは、博覧会のテーマに合致し、来場者に共感いただけ、誘客力のあるコンテンツを人選。7件の提案、**2件に内定**。

# イベントの現況について

## (参考) 現在のイベントカレンダー状況

- ・現在、主要なイベント施設に関しては、**90%強の使用率**で調整中。
- ・残りの約10%の調整枠に関しては、公式参加者からの要望や東京メディア、コンテンツホルダ等の協会協力催事の相談枠として確保、調整中。
- ・現状空きがあるのは、ポップアップステージ（5か所×4回転×184日間 3,680枠のうち約1,800枠）
- ・新しく空地を活用することになる新施設を今後編成。主には、公式参加者と一般参加催事の2次募集の受け皿となるが、他者へも案内する方向

### 【主要イベント施設の状況】

施設名	イベント開催日	設営・メンテ日	調整中
EXPOホール「シャインハット」	125日間	43日間	16日間
EXPOナショナルデーホール「レイガーデン」	122.5日間	16.5日間	45日間
EXPOアリーナ「Matsuri」	123日間	47日間	14日間
EXPOメッセ「WASSE」	115日間	52.5日間	16.5日間
ギャラリーWEST	135日間	36日間	9日間
ギャラリーEAST	141日間	41日間	2日間
ポップアップステージ（5か所）	※約2,000枠のイベント依頼を整理中。約半分ほどの空き状況		
フェスティバル・ステーション(仮称)	※今後使用者を募集		

# イベントの現況について

## 報告事項② 実施予定のイベント（第3弾発表分から一例）

### ◆公式参加者が行う国際色豊かなイベント

- ・【東南アジア諸国連合（ASEAN）事務局】  
（4月28日、5月9日、6月9日、7月7日8日、8月26日、9月10日  
ポップアップステージ南）
- ・【オーストラリア】  
（9月3日・EXPOナショナルデーホール）
- ・【スリランカ】  
（9月27日・EXPOナショナルデーホール）

### ◆各イベントの主催者が行うイベント

- ・「東北絆まつりのパレード・展示イベント等」  
【東北六県・東北絆まつり実行委員会、東北観光推進機構】  
（6月14～15日・EXPOアリーナ）
- ・「超歌舞伎〈CHO-KABUKI〉 Powered by IOWN  
『今昔饗宴千本桜 Expo2025 ver.』」【日本電信電話株式会社】  
（5月24～25日・EXPOホール）
- ・「未来づくりロボットWeek」【経済産業省】  
（9月13～19日・EXPOメッセ）
- ・「Japan Expo Paris in Osaka 2025」  
【Japan Expo Paris in Osaka 実行委員会】  
（4月26～27日・EXPOアリーナ）



（提供：東南アジア諸国連合（ASEAN）事務局）



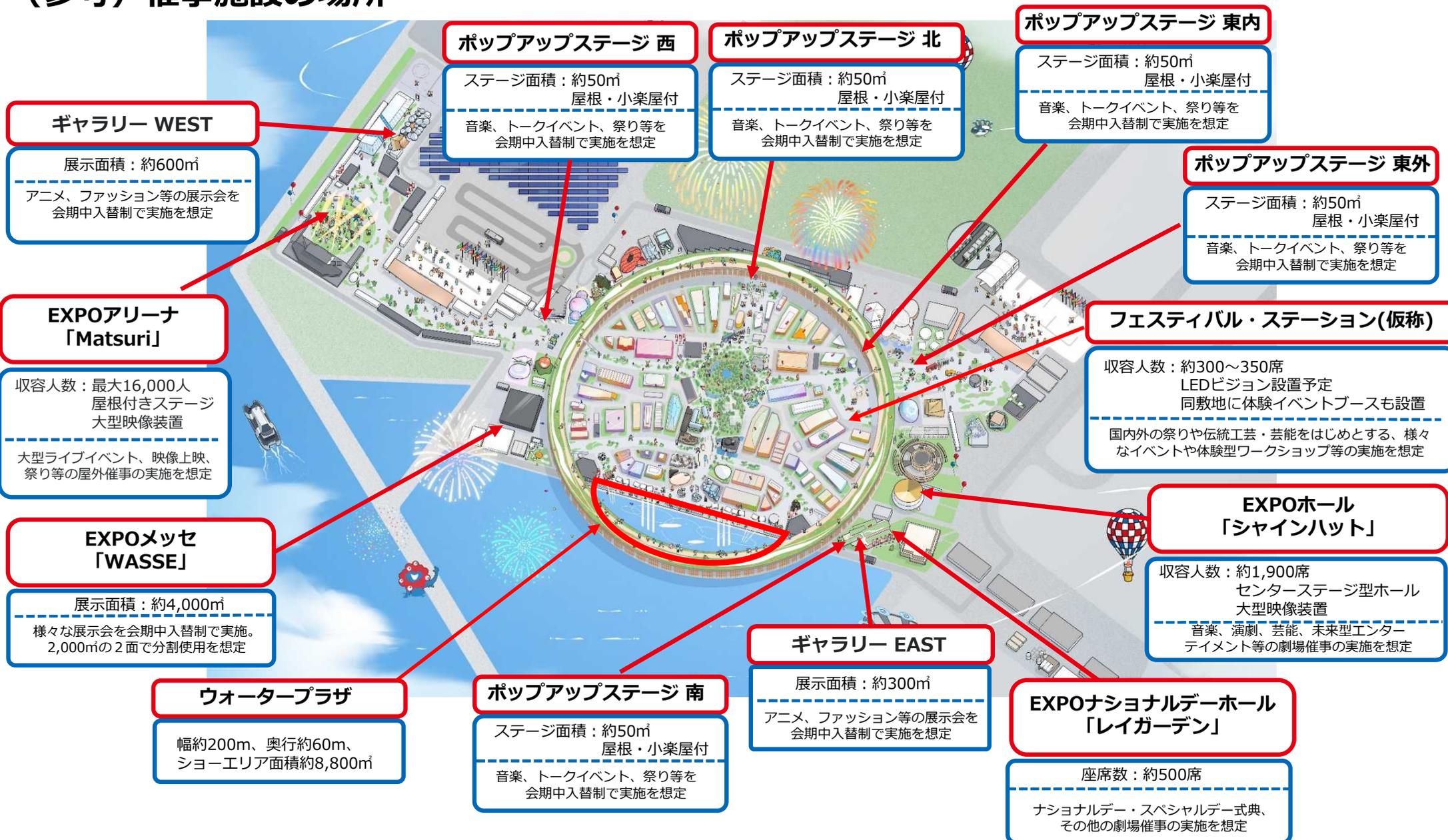
（supported by NTT）



（提供：経済産業省）

# イベントの現況について

## (参考) 催事施設の場所



## 報告事項 5

会場内・外周バス乗車料金の件

# 会場内・外周バス乗車料金について

●記載のとおり、会場内・外周バス乗車料金について、理事会に報告する。  
バスの運行はOsakaMetroの協賛で実施する事業であるが、費用がかさむことから、乗車料金収入によりバス運行費等の一部を賄いたいとの申し出があり、了承するものである。

## ①案件名称：

2025年日本国際博覧会 会場内・外周バス乗車料金の件

## ②案件概要：

会場内・外周バス乗車料金は、会場内の外周道路を走行し自動運転・自動給電の実証実験を行う外周バスに乗車する来場者の乗車料金として設定。

バスの運行はOsakaMetroの協賛で実施する事業であり、OsakaMetroへの乗車料金収入により、OsakaMetroのバス運行費等の一部を賄うものである。

## ③乗車料金：

400円/回、1,000円/日

(愛知万博の会場内を周遊する ترامム料金500円/回を参考に、OsakaMetroから申し出があり、協会が了承。なお、来場者から料金を徴収しない場合には、運行頻度が30～60分と来場者が自由に乗れないケースも想定され、運行頻度2.5～5.0分で料金を徴収する方が適正と判断した。)

## ④期間：

2025年4月13日から2025年10月13日の会期中

## ⑤徴収方法：

バス乗車時に停留所にて徴収する。



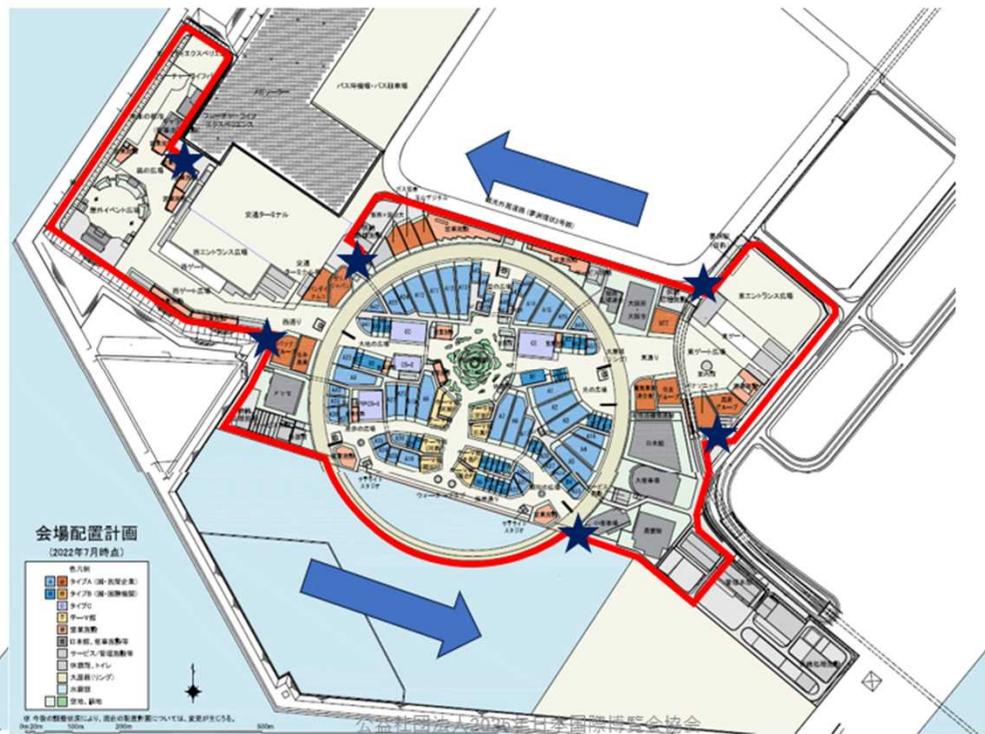
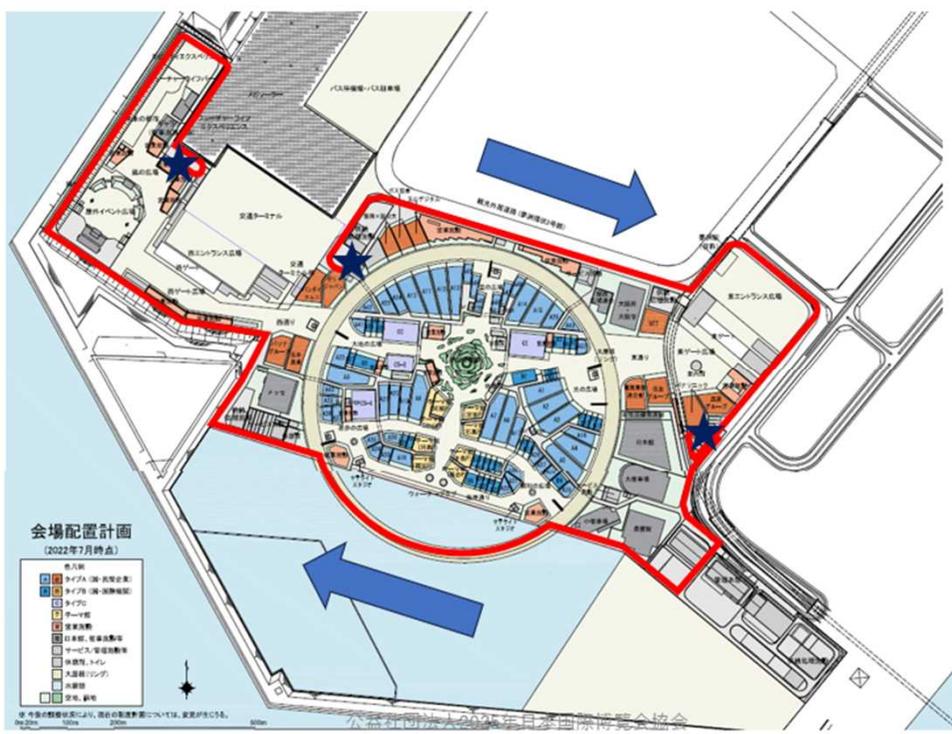
# 会場内・外周バス乗車料金について

参考資料

- 会場内の外周道路を周回するバスを運行する。
- カーボンニュートラルの観点からEV（電気）バスを導入し、未来社会ショーケース事業の一環として走行中給電や自動運転レベル4相当の実証実験を行う。
- 右ルート、左ルートの二系統、1周4km、開場時間内 2.5～5分間隔
- 大型バス（定員50名）8台、小型バス（定員20名）12台が走行する予定

	西ゲート	東ゲート	東広場	小催事場	西通り	風の広場
右回り	● 始点	(通過)	●	(通過)	(通過)	● 終点

	風の広場	西通り	小催事場	東広場	東ゲート	西ゲート
左回り	● 始点	●	●	●	●	● 終点



## 報告事項 6

桜島駅シャトルバスの準備状況の件

# 桜島駅シャトルバスの準備状況について

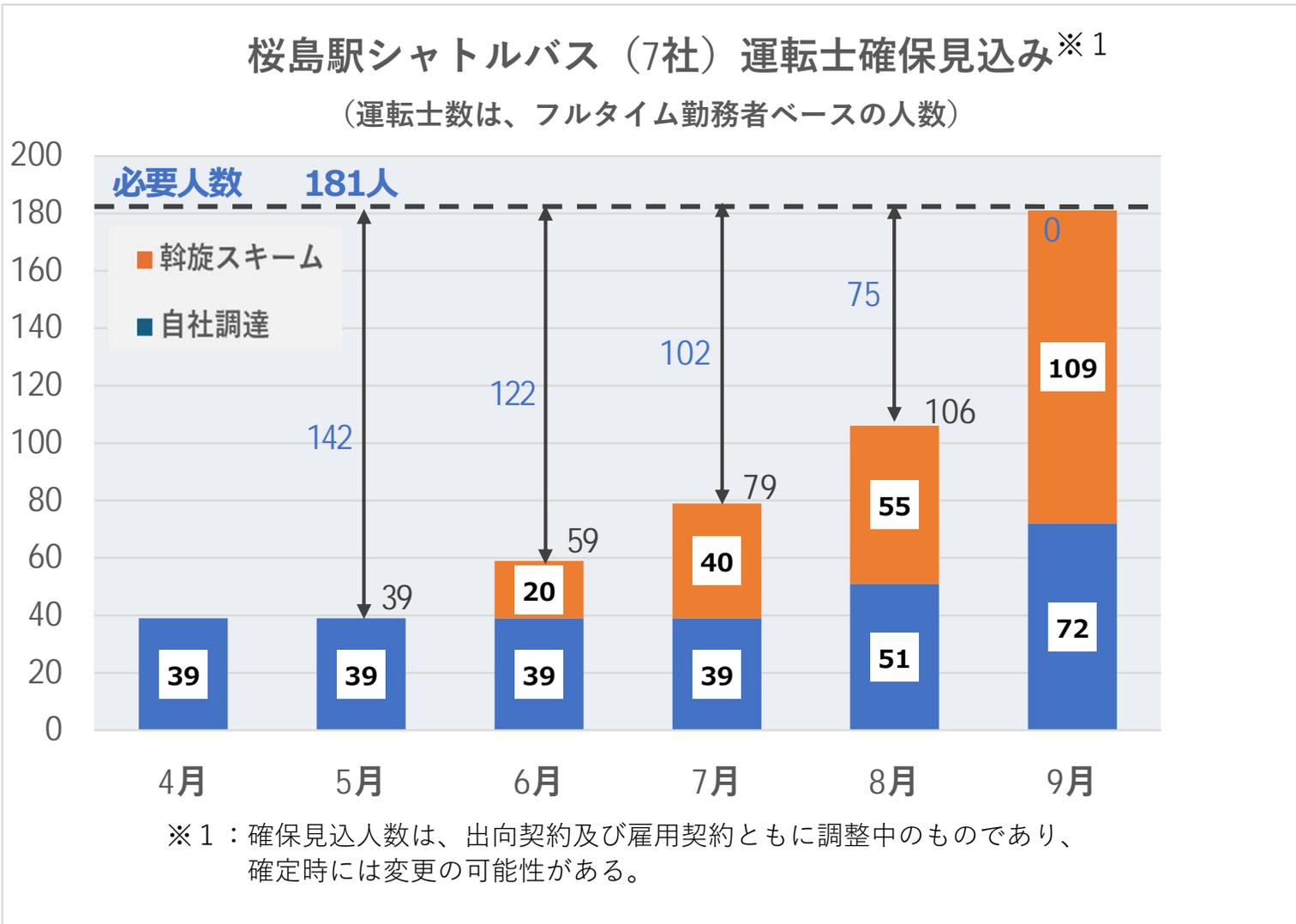
●記載のとおり、桜島駅シャトルバスの運行に関する準備状況として、運転士確保状況と事前決済優先乗車およびバリアフリーに配慮した事前予約制度の導入を、理事会に報告する。

項目	内容
案件名称	桜島駅シャトルバスの準備状況について
案件概要	<p>&lt;①運転士確保について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○桜島駅シャトルバスの運転士については、各バス事業者における募集と、博覧会による斡旋により必要な要員の確保を進めている。</li><li>○斡旋スキームについては、9月13日に第1号案件の合意書が調印となり、その他の会社についても契約に向けた協議を進めており、9月末には、バス事業者による募集と併せて、必要な運転士確保の目途が立つ見込み。</li></ul> <p>&lt;②バリアフリーに配慮した事前予約制の導入について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○桜島駅シャトルバスについては、来場者による混雑のため、接続する鉄道事業者や沿線の集客施設より鉄道の一般利用者に対する影響、また、障がい者の方々より車いすやベビーカーを利用される方の乗車が困難となることなどの懸念が寄せられている。</li><li>○特に、朝の時間帯においては、混雑が想定されることから、桜島駅シャトルバスの8～10時台に事前決済した方の優先乗車制度を導入し乗換円滑化による混雑の緩和を図るとともに、車いすやベビーカーを利用される方については、終日事前予約できることとし、安全かつ円滑に利用できる環境を実現する。</li></ul>
期間	2025年4月13日から2025年10月13日まで（万博開催期間）

# 桜島駅シャトルバスの準備状況について

## ① 運転士確保について

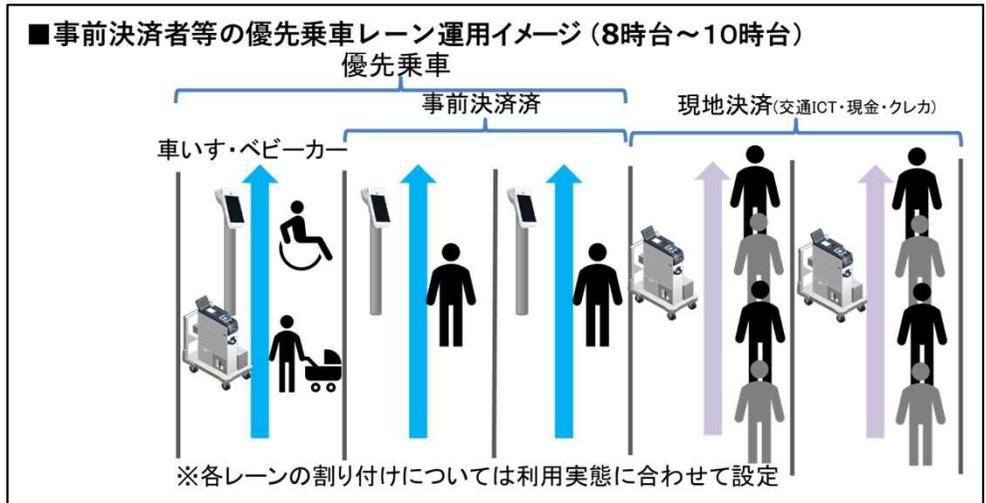
○桜島駅シャトルバスの運行事業者7社のうち3社が運転士斡旋スキーム活用。(9月13日に第1号案件合意書調印)  
○自社調達と斡旋スキームの活用により、9月末には運転士確保の目途が立つ見込み。



# 桜島駅シャトルバスの検討状況について

## ② バリアフリーに配慮した事前予約制の導入について

- 桜島駅シャトルバスルートは朝の時間帯は混雑により、来場者や車いす・ベビーカーを利用される方の乗車が困難となる懸念。
- 桜島駅シャトルバスの8～10時台に事前決済をした方の優先乗車制度を導入し乗換円滑化による混雑緩和を図るとともに、車いすやベビーカーを利用される方については、終日事前予約できることとし、安全かつ円滑に利用できる環境を実現。



## 報告事項 7

公式参加者による運営委員会等の件

## 報告事項 8

### 海外パビリオンの出展状況の件

# 海外パビリオンの出展状況（2024年9月9日現在）



（注1）2024年9月9日現在で見込まれる出展状況を示すものであり、出展準備の進展や様々な事情変化等により、今後追加・変更があり得る。

（注2）地図内の丸番号は「施設番地」を指す。施設番地とは、会場内のパビリオンや催事施設、ショップその他来場者が利用する施設が所在する場所をわかりやすく表示するために設定したもの。施設番地のアルファベットは各ゾーン名称（C：コネクティングゾーン、S：セービングゾーン、P：エンパワーリングゾーン）を示す。

# 海外パビリオン出展一覧（2024年9月9日現在）

## 【コネクティングゾーン】

C01	ネパール
C02	ルクセンブルク大公国
C03	ドイツ連邦共和国
C04	大韓民国
C05	<コモンズ-F>（2か国）
	アルメニア共和国
	カザフスタン共和国
C07	アゼルバイジャン共和国
C09	イラン・イスラム共和国
C10	モナコ公国
C11	トルコ共和国
C12	タイ王国
C13	スペイン王国
C14	サウジアラビア王国
C15	オーストラリア連邦
C16	インドネシア共和国
C17	インド共和国
C18	ウズベキスタン共和国
C19	セルビア共和国
C20	バングラデシュ人民共和国
C21	セネガル共和国
C22	エジプト・アラブ共和国
C23	<コモンズ-B>（24か国）
	エチオピア連邦民主共和国
	ガイアナ協同共和国
	ガンビア共和国
	コートジボワール共和国
	ザンビア共和国
	シエラレオネ共和国
	ジブチ共和国
	ジャマイカ
	ジンバブエ共和国

セントビンセント及びグレナディーン諸島
ソマリア連邦共和国
タンザニア連合共和国
中央アフリカ共和国
ツバル
ドミニカ共和国
ナウル共和国
ハイチ共和国
パラグアイ共和国
東ティモール民主共和国
フィジー共和国
ベナン共和国
ミクロネシア連邦
モーリタニア・イスラム共和国
レソト王国

## 【セービングゾーン】

S01	<コモンズ-C>（10か国）
	イスラエル国
	ウルグアイ東方共和国
	ガボン共和国
	グアテマラ共和国
	クロアチア共和国
	サンマリノ共和国
	スロバキア共和国
	スロベニア共和国
	パナマ共和国
	モンテネグロ
S02	チリ共和国
S03	チュニジア共和国
S04	カンボジア王国
S05	アルジェリア民主人民共和国

S06	ラトビア共和国
	リトアニア共和国
S07	欧州連合（EU）
S08	ベルギー王国
S09	イタリア共和国
	バチカン
S11	シンガポール共和国
S12	ブルガリア共和国
S13	オランダ王国
S14	<コモンズ-D>（25か国・地域）
	アンティグア・バーブーダ
	カメルーン共和国
	ギニア共和国
	キューバ共和国
	コンゴ民主共和国
	サントメ・プリンシペ民主共和国
	スーダン共和国
	赤道ギニア共和国
	タジキスタン共和国
	トーゴ共和国
	ナイジェリア連邦共和国
	パキスタン・イスラム共和国
	パレスチナ
	ブータン王国
	ブルキナファソ
	ベリーズ
	ホンジュラス共和国
	マーシャル諸島共和国
	マダガスカル共和国
	マリ共和国

（注）パビリオンの正式名称を示すものではない。

# 海外パビリオン出展一覧（2024年9月9日現在）

	南スーダン共和国 モルドバ共和国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国 リベリア共和国		ソロモン諸島 トリニダード・トバゴ共和国 トンガ王国 バヌアツ共和国 パプアニューギニア独立国 パラオ共和国 バルバドス ブルンジ共和国 ボリビア多民族国 マラウイ共和国 モーリシャス共和国 ルワンダ共和国	P29	<国際機関館>（5国際機関） アフリカ連合委員会(AUC) イーター国際核融合エネルギー機構 (ITER) 国際科学技術センター(ISTC) 太陽に関する国際的な同盟 (ISA) 東南アジア諸国連合(ASEAN)事務局
S15	オマーン国			P30	国際連合 (UN)
S16	ハンガリー			P31	国際赤十字・赤新月運動
S20	ポーランド共和国			P34	バーレーン王国
S21	ルーマニア			P35	トルクメニスタン
S22	英国（グレートブリテン及び北アイルラ ンド連合王国）			P36	アイスランド スウェーデン王国 デンマーク王国 ノルウェー王国 フィンランド共和国
S23	アンゴラ共和国			P37	マルタ共和国
	【エンパワーリングゾーン】	P04	ヨルダン	P38	チェコ共和国
P01	アイルランド	P05	ペルー共和国		
P02	マレーシア	P06	ボツワナ共和国		
P03	<コモンズ-A>（28か国） イエメン共和国 ウガンダ共和国 エスワティニ王国 ガーナ共和国 北マケドニア共和国 ギニアビサウ共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 コソボ共和国 コモロ連合 サモア独立国 スリナム共和国 スリランカ民主社会主義共和国 セーシェル共和国 セントクリストファー・ネイビス セントルシア	P07	ギリシャ共和国		
		P08	モザンビーク共和国		
		P09	フィリピン共和国		
		P11	アメリカ合衆国		
		P12	フランス共和国		
		P15	ベトナム社会主義共和国		
		P16	エルサルバドル共和国		
		P17	カタール国		
		P18	アラブ首長国連邦		
		P19	カナダ		
		P20	ポルトガル共和国		
		P21	コロンビア共和国		
		P22	スイス連邦		
		P23	オーストリア共和国		
		P26	ブラジル連邦共和国		
		P27	クウェート国		
		P28	中華人民共和国		

(注) パビリオンの正式名称を示すものではない。

## 報告事項 9

### 防災実施計画の策定の件

# 防災実施計画の策定について

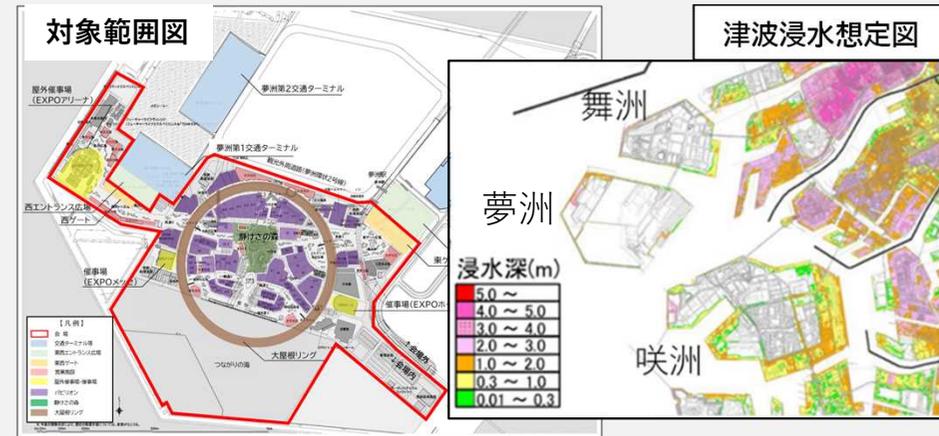
会期中に、災害から外国人・高齢者・子ども・身体等に障がいをもつ方をはじめ、全ての来場者の安全を確保し、安心して訪れることができる博覧会の実現のため、防災実施計画を策定。

## 防災基本計画

令和5年12月 策定  
令和6年9月 改訂

### 【主な記載事項】💡どこで、何をする！？

- 計画の対象範囲
- 災害想定と被害想定
- 事前対策・体制
- 災害時における協会内各部局の役割



## 防災実施計画

令和6年9月 策定

### 【主な記載事項】💡どうやってやる！？

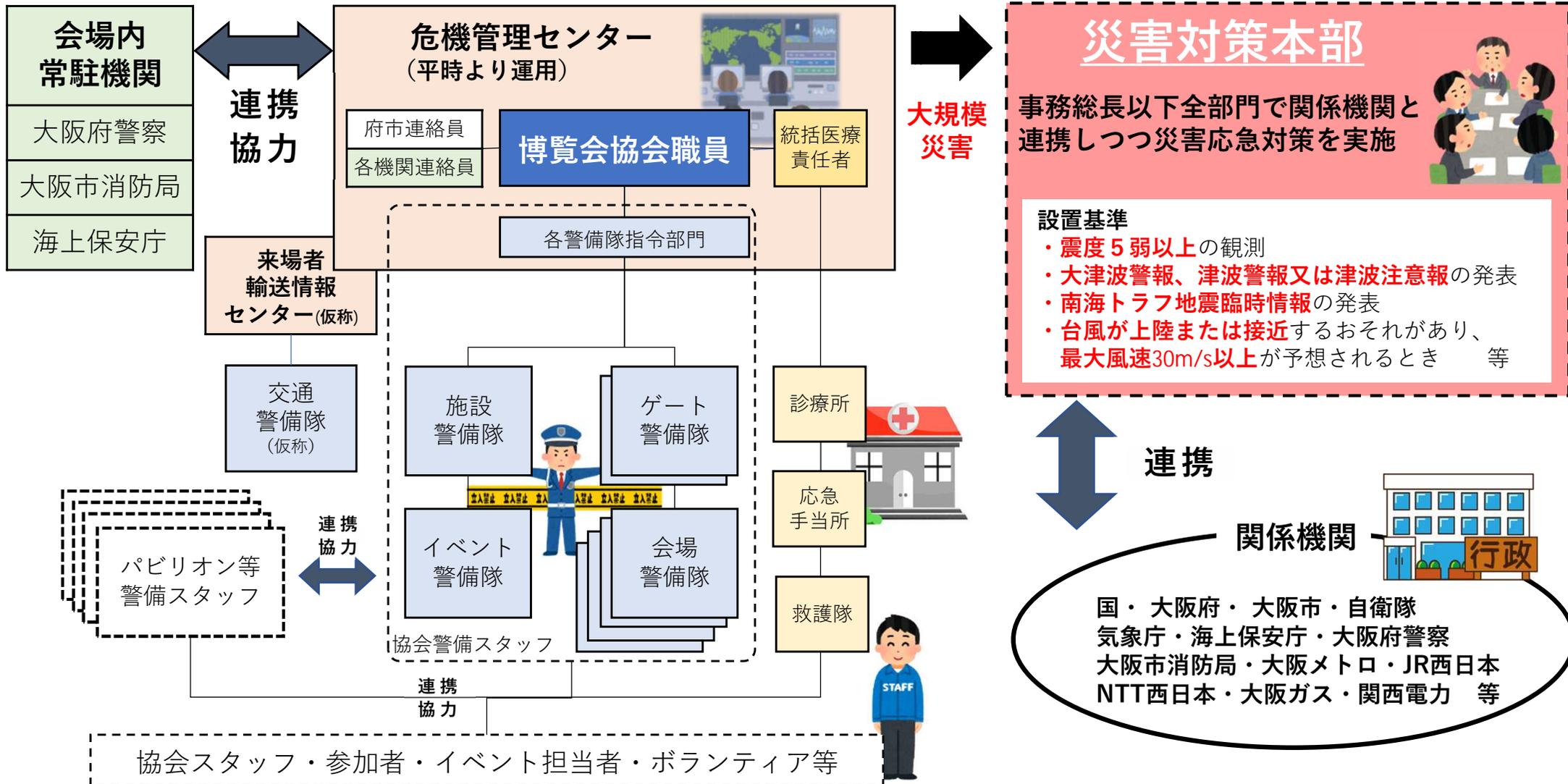
- 災害時における組織体制
- 危機管理センターの運用
- 関係機関との連携・役割分担
- 災害想定ごとの対策

### 防災基本計画を前提とした対策を記載



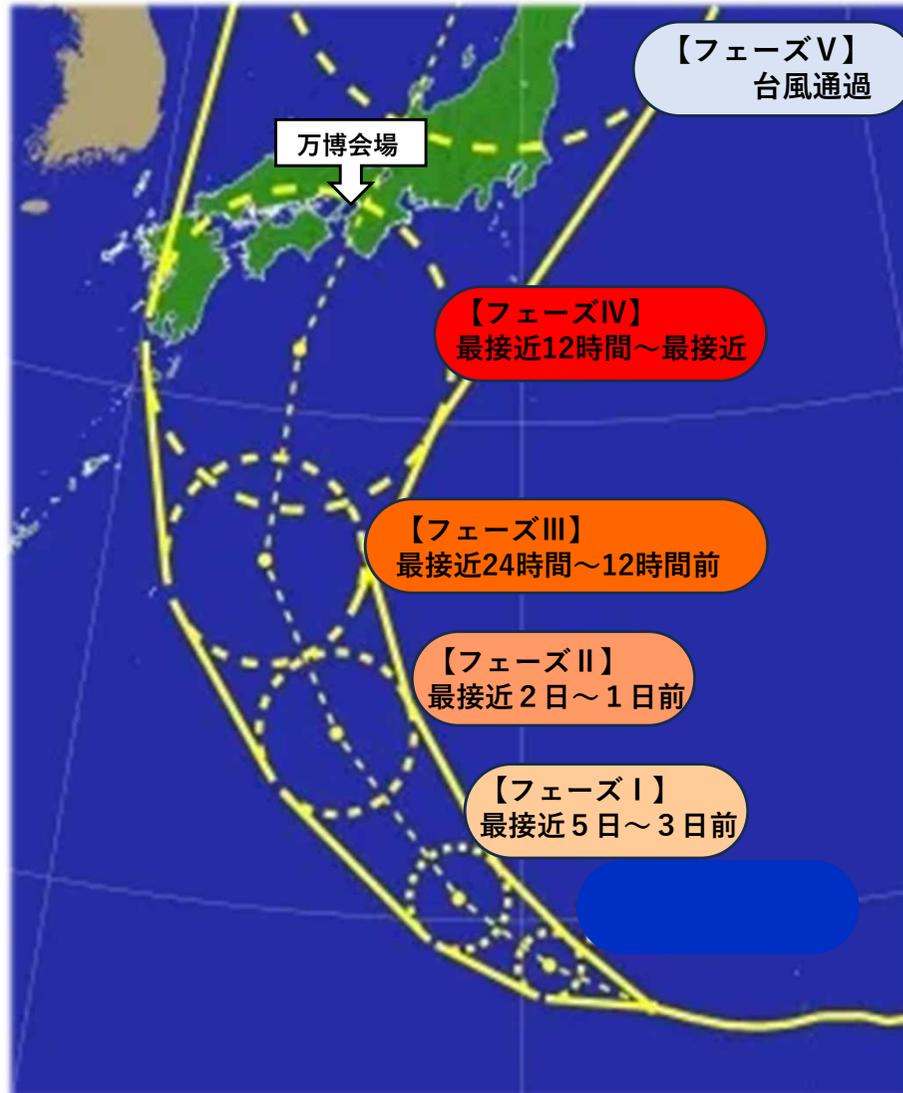
# 組織体制等（危機管理センター等）

平時より危機管理センターにて情報収集。大規模災害時等は災害対策本部を設置し関係機関と連携した応急対策を実施。



# 台風への対応

台風接近の場合、万博の安全な運営の可否について、気象情報等により閉場等を判断。



- 【フェーズⅠ】**  
 最接近5日～3日前
  - ▶ 気象庁による台風情報等を収集
- 【フェーズⅡ】**  
 最接近2日～1日前
  - ▶ 気象台が行う台風説明会への参加
  - ▶ 営業内容の変更や営業時間の短縮、閉場等の対応を検討
- 【フェーズⅢ】**  
 最接近24時間～12時間前
  - ▶ 強風対策（テント・パラソルの除去等）
  - ▶ 巡回による危険個所の把握等
- 【フェーズⅣ】**  
 最接近12時間～最接近
  - ▶ 警戒活動（建物・設備等の被害確認等）
- 【フェーズⅤ】**  
 台風通過
  - ▶ 復旧作業等営業再開に向けた措置

※ 時間は目安

気象情報収集



対応検討



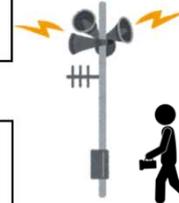
営業判断



強風対策



警戒活動



営業再開に向けた措置



# 地震・津波への対応

大規模地震発生時の来場者の安全確保から帰宅支援までを5段階のフェーズに区分し、とるべき対応・手順を明確化。

## 地震発生

### 主な対策

#### フェーズⅠ 安全の確保

- 身を守る行動を呼びかけ
- 負傷者の把握、施設の被害確認
- 応急救護活動

#### フェーズⅡ 救援・安心の提供

- 来場者の避難誘導・待機
- 会場内施設の安全確認
- 公共交通機関及び道路の状況把握

#### フェーズⅢ 環境の変化・改善

- 一時滞在施設への誘導
- 保温シート等の備蓄物資配布
- 食料・飲料水の配布開始

#### フェーズⅣ 環境の安定化

- 一時滞在者の支援
- 食料・飲料水等の備蓄物資の継続的な配布

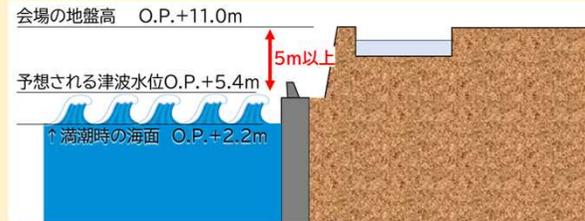
#### フェーズⅤ 帰宅

- 交通情報の提供等、帰宅支援
- 平時の来場者輸送を行うバス事業者への協力要請

公共交通機関一部運転再開・道路一部啓開の状況により、帰宅開始

### 津波想定

会場は高上げされており、満潮時の津波に対し、5 m以上の余裕がある。



### ✓ 応急救護活動

組織体制のもと、関係機関と連携した応急救護活動を実施。

### ✓ 一時滞在施設の確保

夢洲に加え、咲洲・舞洲において一時滞在施設を確保。

### ✓ 滞在者への配慮

要配慮者へは、避難時や一時滞在時など、可能な限り、必要な対応を実施。

### 大阪府・大阪市との連携強化

備蓄物資・一時滞在施設の確保・帰宅時のバス等代替輸送の確保等については、平時から大阪府・大阪市と連携強化を図り、緊急時に備える。



南海トラフ地震臨時情報（調査中、巨大地震注意、又は巨大地震警戒）が発表された場合は、国、自治体及び交通機関と調整・連携し対応について検討する。

# 水・食料等物資の備蓄

協会として、60万食分の調達、会場内食料の活用を含め、発災後3日間（72時間）分の備蓄を確保。大阪府・市からの物資の夢洲内保管の協力も得ることで、備蓄量を増強。また、協会の備蓄食料の調達にあたり、アレルギー対策及び宗教的要素を考慮。



物資の支援要請

地震等が発生し、想定外の状況により備蓄品の不足が予測される場合、大阪府・大阪市に対し救援物資の提供を要請。

夢洲外

協会の備蓄

主な備蓄品目と数量	
品目	数量
主食（アルファ米等）	600,000 食
飲料水（500mL程度）	1,900,000 本
幼児用ミルク	5,000 ㍓
敷物	15,000 枚
保温シート	150,000 枚
簡易トイレ	1,950,000 枚
トレットペーパー（200m程度）	17,000 本
おむつ（小児/大人用）	112,000 枚
生理用品	88,000 枚
救急セット	100 箱

会場内飲食店への協力要請



府市の備蓄



勤務者の備蓄



○防火・防災等に関するガイドライン(24年5月)  
○公式参加者の商業活動に関するガイドライン(23年8月)  
災害時の来場者への飲食物の提供について依頼

夢洲内